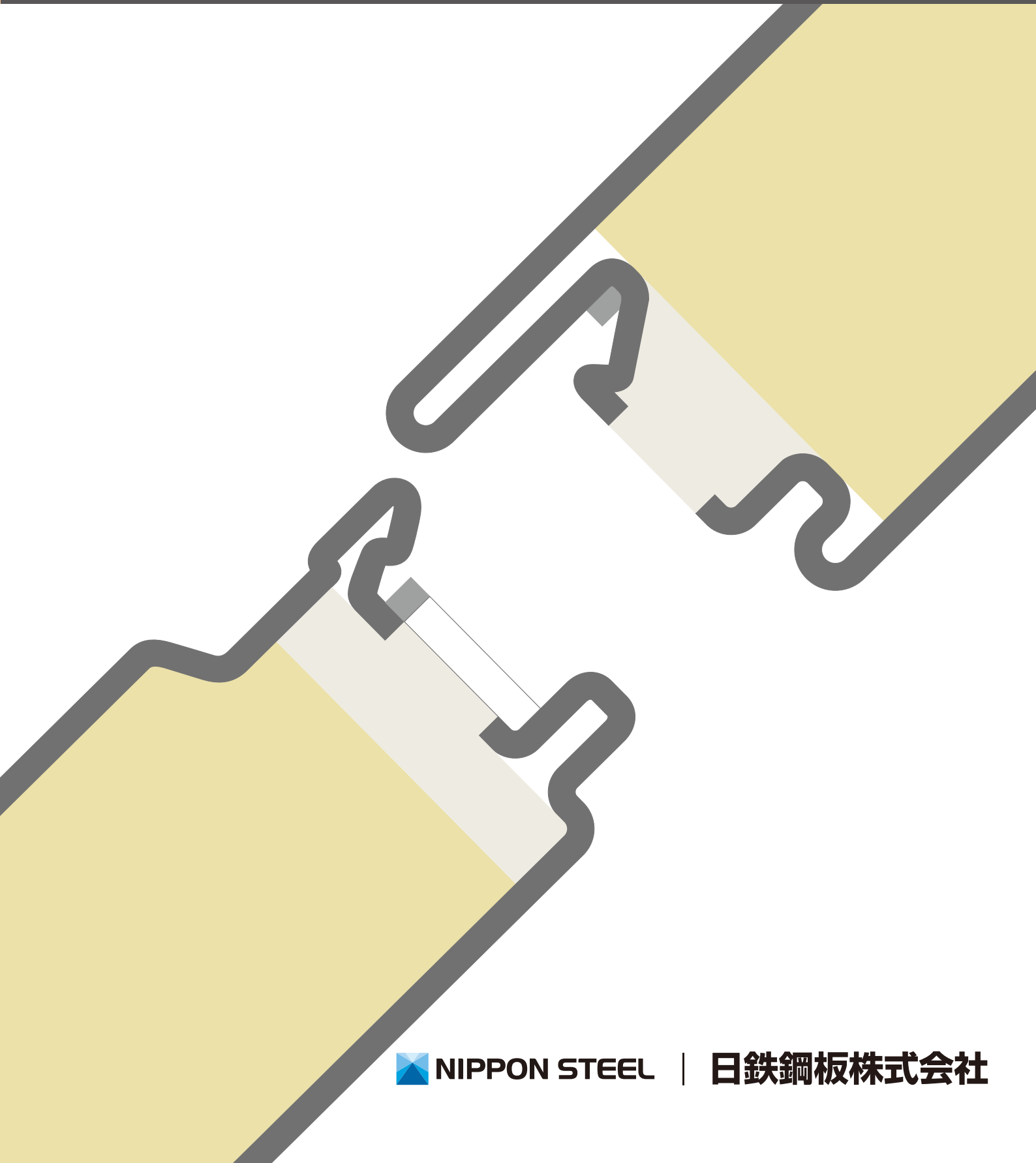
耐火断熱壁パネル

# 耐火イソバンドPro®

## 施工資料　2025年5月版



NIPPON STEEL | 日鉄鋼板株式会社

目次

# 1.製品


1. 製品仕様 …… 2
(1)形状・寸法 …… 2
(2)標準仕様 …… 3
(3)標準色 …… 3


# 2.計画


1. 工事の流れ …… 6
耐火イソバンド Pro 工事 …… 6
(1)施工計画・施工図等の作成 …… 8
※パネルの割付上の留意事項 …… 8
(2)鋼板の発注・パネルの発注 …… 10
(3)搬入・荷下ろし …… 10
※取扱注意事項 …… 11
(4)下地の確認 …… 13
(5)耐火イソバンド Pro の施工 …… 13
2. 工具の準備 …… 14
3. 安全作業の確認 …… 15


# 3.施工・横張り


1. 純正部材 …… 18
(1)横張り用 …… 18
(2)ビス・パッキン類 …… 22
2. 部材の取付 …… 24
(1)墨出し …… 24
※割付墨の墨出し寸法 …… 25
(2)水切の取付 …… 26
(3)捨て板とスターターの取付 …… 27
(4)シーリングテープの取付 …… 28
(5)入隅塞ぎ板の取付 …… 29
(6)出隅の取付 …… 30
(7)TW 水切 C(後付タイプ)の取付 …… 32
(8)TW 出隅 C(後付タイプ)の取付 …… 33
3. パネルの取付 …… 34
(1)目地シール D の取付 …… 34
(2)パネルの切り欠き …… 34
(3)パネルの建て込み …… 36
(4)縦ジョイント部の施工 …… 37
4. 各部の仕舞 …… 40
(1)縦ジョイント部の仕舞 …… 40
※横目地シーリングの注意点 …… 41
(2)入隅の仕舞 …… 42
(3)出隅の仕舞 …… 43
(4)笠木の仕舞 …… 44


# 4.施工・縦張り


1. 純正部材 …… 46
(1)縦張り用 …… 46
(2)ビス・パッキン類 …… 48
2. 縦張りの施工 …… 49
(1)墨出し …… 49
(2)水切の取付 …… 50
(3)塞ぎ板の取付 …… 51
(4)パネルの建て込み …… 52
(5)足元部の仕舞 …… 54
(6)入隅の仕舞 …… 55
(7)出隅の仕舞 …… 57
(8)笠木の仕舞 …… 59


# 5.施工後の注意 …… 60

## 注意

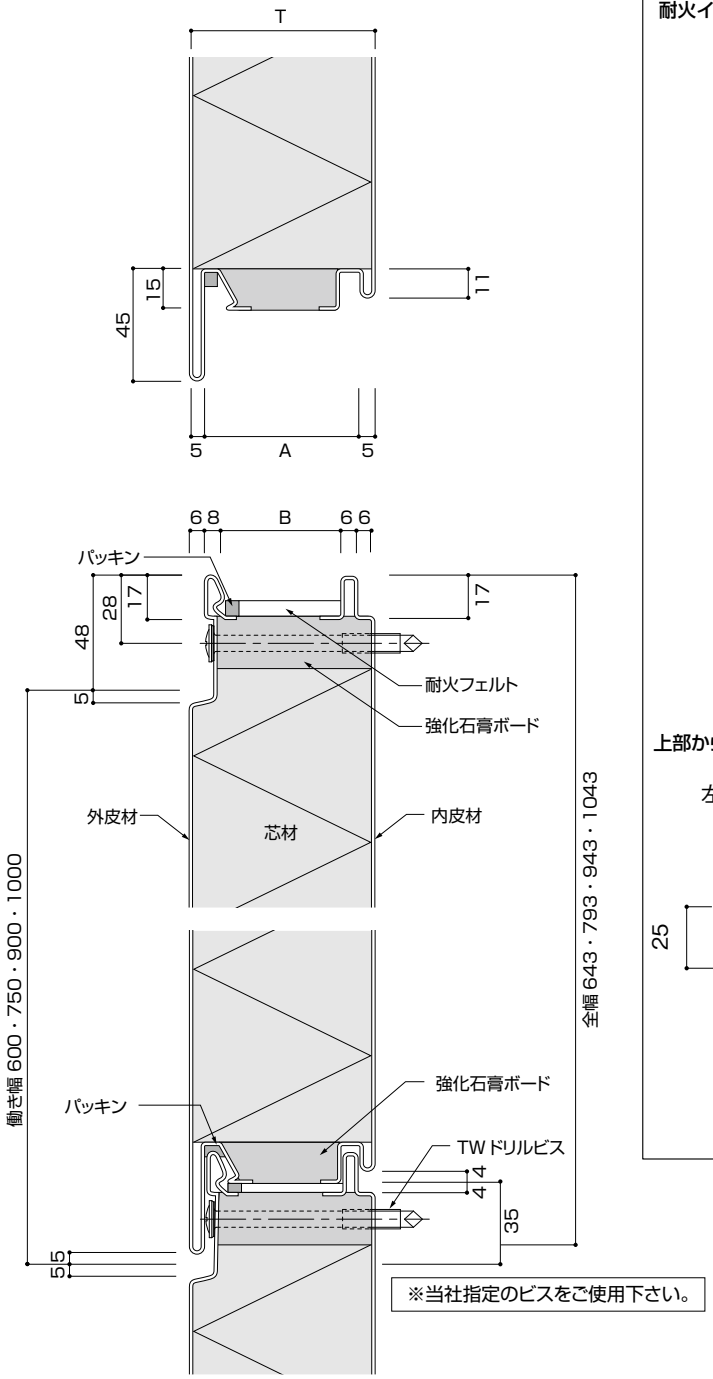

お願いとご注意 …… 61

# 1

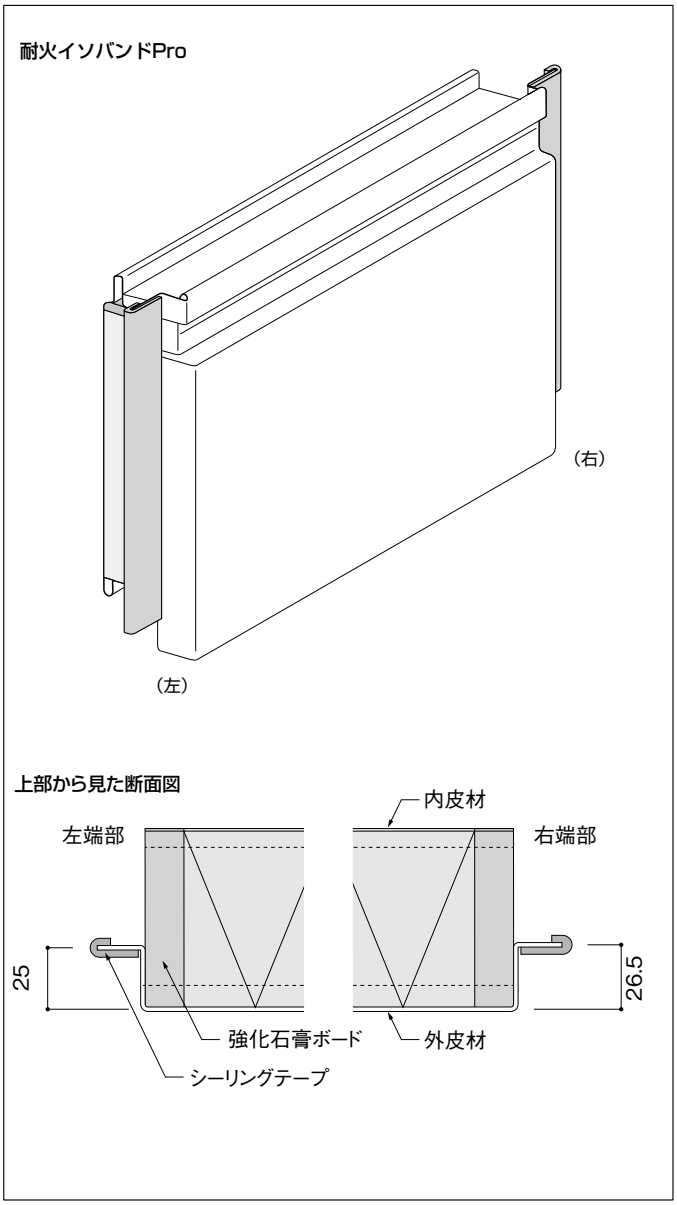
# 製品

# 1.製品仕様

## （1）形状・寸法




※当社指定のビスをご使用下さい。




| 製品名 | 製品厚：T | A | B |
|---|---|---|---|
| 耐火イソバンドPro | 50 | 40 | 24 |
| | 75 | 65 | 49 |

## (2) 標準仕様

| 製品名 | 芯材 | 製品厚(mm) | 質量(kg/m²) | 働き幅(mm) | 形状 | 製品長さ | 外皮材 | 内皮材 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 耐火イソバンドPro | ロックウール | 50 | 19 | 600<br>750<br>900<br>1000 | フラット | 0.8～9.0m<br>ご指定寸法で受注生産いたします。 | フッ素系塗装SGL<br>ポリエステル系塗装SGL<br>(0.5mm)※1 | ポリエステル系塗装GL<br>(0.5mm) |
| | | 75 | 24 | | | | | |

※1　日射条件により表面に微妙な凹凸が見える場合があります。

## (3) 標準色

■標準色と近似マンセル値および日塗工番号

| 表面材 | | 色番号 | 名称 | 近似マンセル値※2 | 日塗工番号(参考)※3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 外皮材※4 | フッ素系塗装SGL | 0F321S | シルバーFS | (1.2PB6.2 / 0.4) | — |
| | | 0EM18S | ゴールドメタリックFS | (1.4GY6.6 / 0.4) | — |
| | | 0F301S | ガンメタリックグレーFS | (0.5YR4.5/ 0.0) | — |
| | | 0F201S | コーラルホワイトFS | 7.4GY8.7 / 0.3 | LN-87 |
| | ポリエステル系塗装SGL | 0371PS | シルバーPS | (1.1PB6.9 / 0.2) | — |
| | | 0621PS | サンドホワイトPS | 1.3GY7.8 / 0.7 | L35-85A |
| | | 0701PS | アイボリーPS | 2.4Y8.4 / 1.4 | L22-85C |
| | | 0721PS | オフホワイトPS | 6.3GY8.6 / 0.2 | LN-87 |
| 内皮材 | ポリエステル系塗装GL | 0721WA | オフホワイト | 8.8GY8.6 / 0.2 | LN-87 |

※2 メタリック色の色調はマンセル値で表現できません。(　)内数値は色差計によるメタリック色計測値をそのまま表示しています。
※3 2021L版より参考値として日塗工番号を記載していますが、実際の色相とは多少異なりますのでご注意下さい。
※4 塗装ガルバリウム鋼板JIS G 3322：2019に定められる4～6類クラス(遮熱鋼板)の日射反射率(40%以上)を有しています(ガンメタリックグレーを除く)。
注)　標準色以外をご検討の場合はご相談下さい。

# 2

# 計画

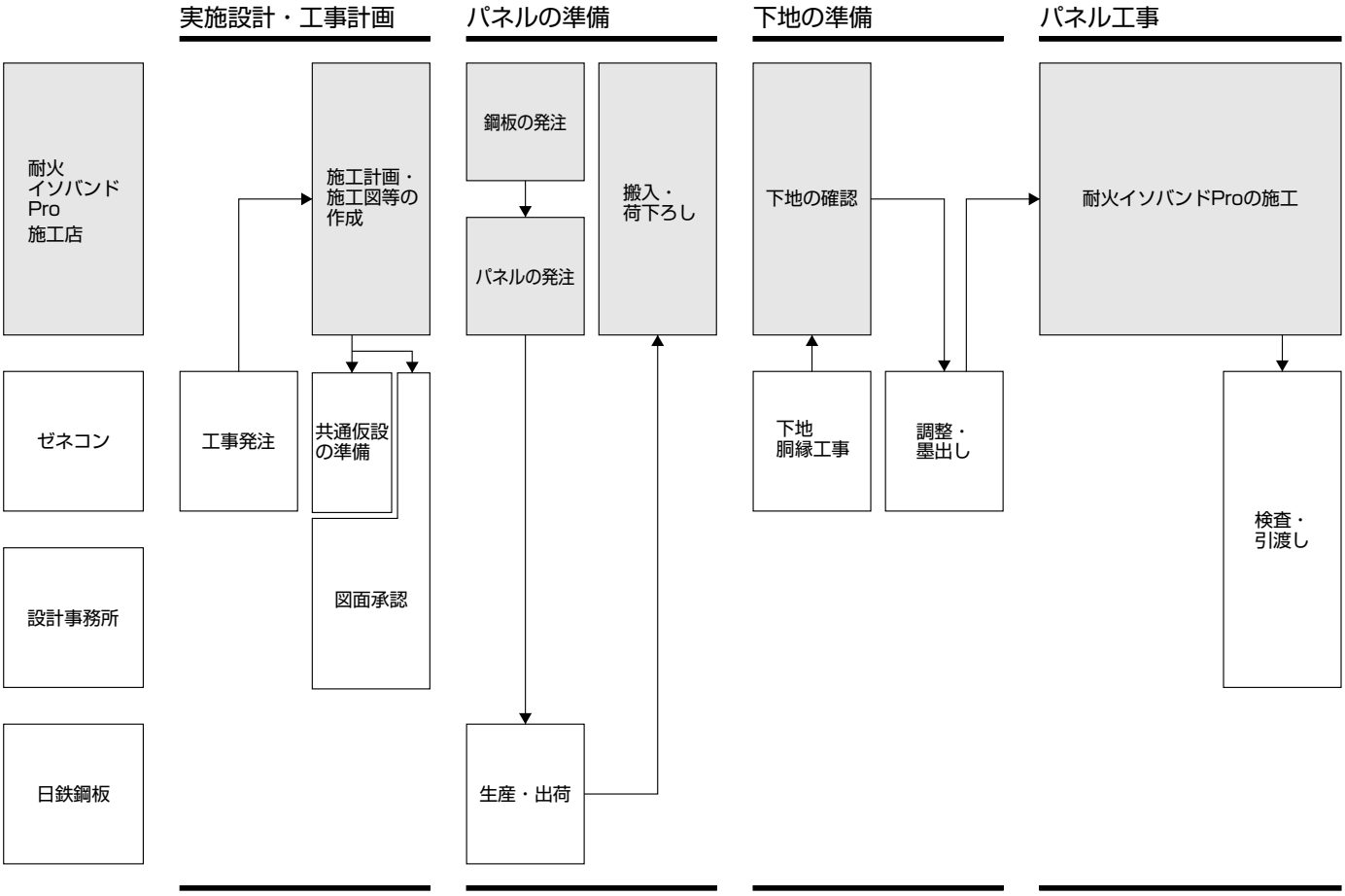
# 1.工事の流れ

## 耐火イソバンドPro工事

建物をつくりあげるには、種々の工事の積み上げが必要となります。さらに、それらが秩序だって運営されなければなりません。複雑に込み入った建築工事現場において、無理なく合理的に工事を運営していくためには、外装工事の予定と内容を知っておくだけではなく、関連する工事の内容と進行状況をよく理解して、あらかじめ対策を立てておく必要があります。
また、現場の取合い面から、耐火イソバンドProの施工に部分的な変更の必要が生じたり、関連工事との調整が必要になった場合など、現場での変更は関連工事との連絡が重要になりますから、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ることが大切です。



## 耐火イソバンドPro工事の流れ



# 工事前の確認事項

| | |
|---|---|
| 工期・工程 | 工事の確認 |
| 工法 | 足場工法・無足場工法(高所作業車・ゴンドラ等) |
| 使用部位 | 外壁・屋根・軒天・パラペット裏・内装 |
| 使用材料 | |
| 作業条件 | 夜間作業の有無 |
| 荷揚げ | 揚重機器(クレーン・タワークレーン)荷揚げ条件<br>●材料は車上渡し<br>●梱包は最大値で2.5ton・巾約1m×高さ1.5m×長さ9m<br>●荷卸し側でユニック車を用意し荷卸しをする場合は納品梱包のサイズ/重量を確認の上決定する事 |
| 搬入条件<br>搬入車両 | 現場周辺状況・現場内搬入経路・交通規制<br>時間・車両規制・台数<br>●時間帯交通規制・大型車の進入の可否・道路巾等要確認<br>●道路占有許可・通行許可書の必要の有無<br>●指定搬入経路の有無<br>●待機場所 |
| 材料置き場<br>下図1.参照 | 置き場の確保(平置き・屋根上置き・屋上置き・屋内)<br>※屋根置きの場合は屋根耐力を確認する事<br>市街地のオフィスビル等の場合は、一回の納品量・取り込み場所等確認 |

| | |
|---|---|
| 足場<br>下図2,3<br>参照 | 足場の有無・外部足場条件<br>外足場<br>●枠組み足場の場合は外壁パネル外面より300～400mm程度離し、二層毎に墜落安全保護を設ける<br>●材料取り込み口の確保<br>●足場の架設高さはベビーウインチの吊り代を考慮し、外壁天端より1.5m程度高くする<br>●ベビーウインチ取付用のパイプ、クランプ等の準備<br>●足場控えは法令に従い正しくとる<br>※高層や目隠しネット使用の場合は仮設メーカーへの確認必要<br>●足場控え取り外し後は防水テープを貼り復旧する |
| 支給材 | 重機・電源・バタ角材・足場板・養生シート・その他 |
| 別途工事 | 別途内容の詳細 |
| 付帯施設 | 宿泊の有無・作業員詰所・駐車場 |
| 廃材処理 | 残材処理<br>●パネル梱包スキッドは現場処分(通いパレットでは無い) |
| その他 | 朝礼集合時間・新規入場教育の要領・他 |
| 下地組精度 | パネル仕上り精度に応じた、下地組の精度目標設定依頼 |

図１　パネル搬入・荷揚げ・材料仮置き

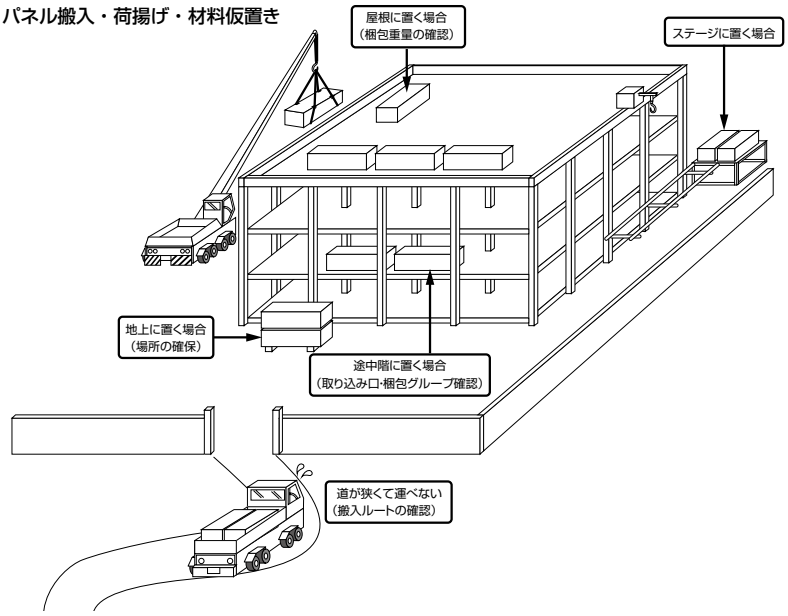
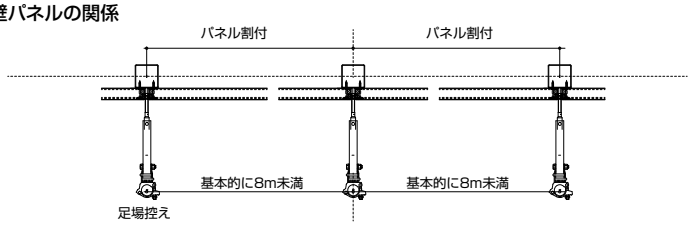
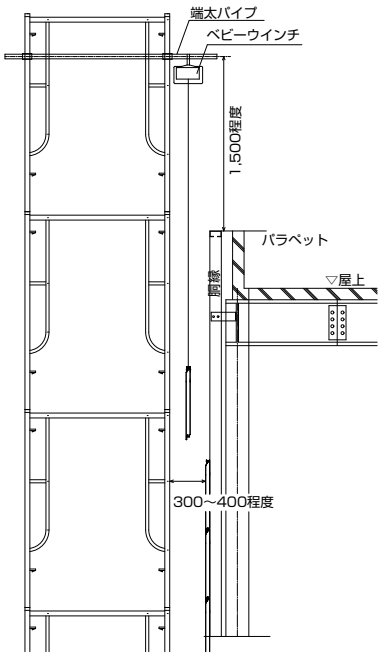



図２　足場控えと外壁パネルの関係




■耐火イソバンド Pro …足場控え取り外し後、貫通部分のパネル短辺目地には防水テープ(片面)を貼り、短辺シーリングテープを復旧。

図３　パネル作業性を確保した外足場配置

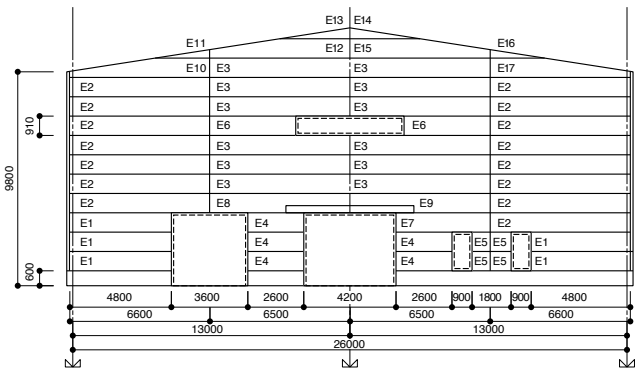


## (1)施工計画・施工図等の作成

受注した施工店では設計図書をもとに、工事実施に必要な施工図や工事計画などを作成し、ゼネコン・設計事務所に提出します。

割 付 図：元請けの割付に沿って具体的に割り付ける。
納まり図：取合いの不明な部分は納まり図をつくり、確認する。
数 量 表：パネルの寸法、種類、数量を拾う。
工事計画：施工に必要な日程、関連工事との取合いなどについて計画。

割付図(横張りの例)



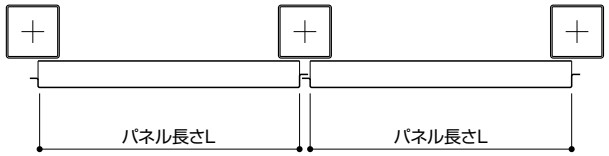

**パネルは現場で容易に切断を行えますが、工期短縮や美しい仕上がりのため以下の事に留意し、できるだけ現場加工のないよう合理的な割付設計を心がけて下さい。**

## ※パネルの割付上の留意事項

### ●耐火イソバンド Pro のパネル長さのとり方

端部箱折りタイプのパネル長さのとり方は下図の通りになります。

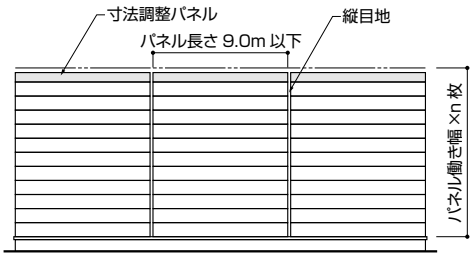
耐火イソバンド Pro(端部箱折りタイプ)



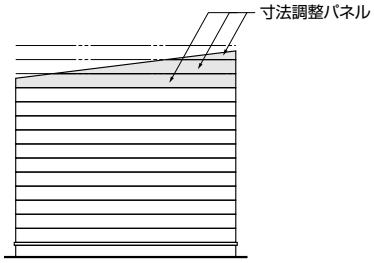

## 横張り

### ●縦目地の配置

パネル長さごとに横継ぎの縦目地が配置されます。できるだけ同一長さのパネルで、割り付けて下さい。



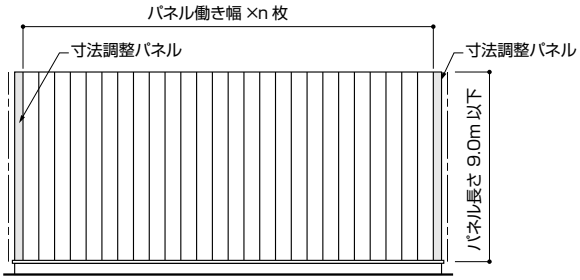

横張りの壁面上部に寸法調整パネルがでた場合、パネル幅の1/3 以上を残すように配慮して下さい。




## 縦張り

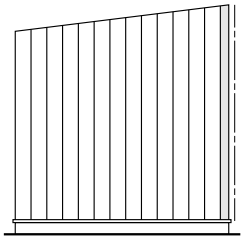
### ●縦張りの配置

左右の寸法調整パネルはなるべく同一幅になるように割り付けて下さい。




### ●寸法調整パネル

出隅、入隅などのコーナー部で、幅詰めの寸法調整パネルが出た場合、パネル幅の 1/3 以上を残すようにして下さい。

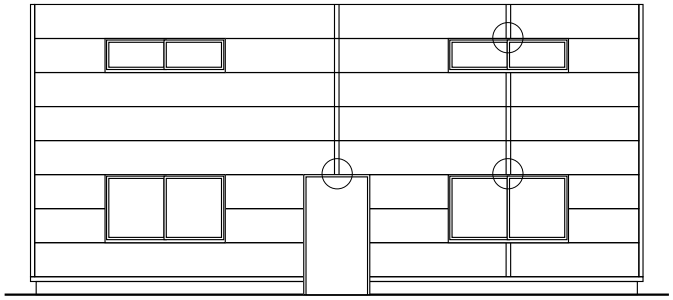


## 横張り

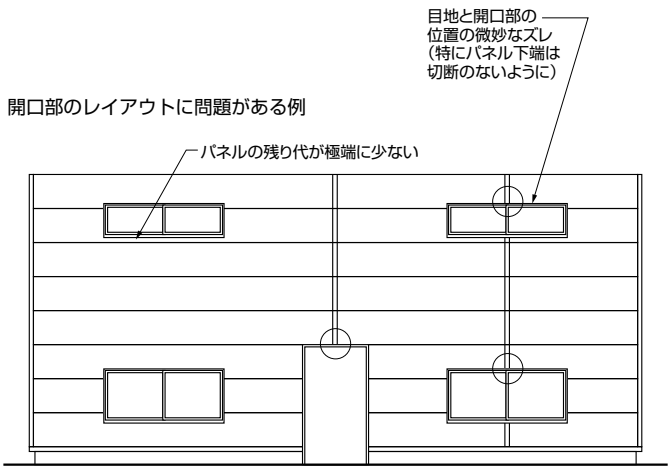
### ●開口部・キャッチパンの配置

開口部の納まり代をパネルの働き幅モジュールに合わせるように配慮して下さい。パネルの残り代が極端に少なくなったり、両側から切り欠くような開口部の配置はさけて下さい。

開口部のレイアウトが適切な例



開口部のレイアウトに問題がある例




◯ キャッチパン配置箇所

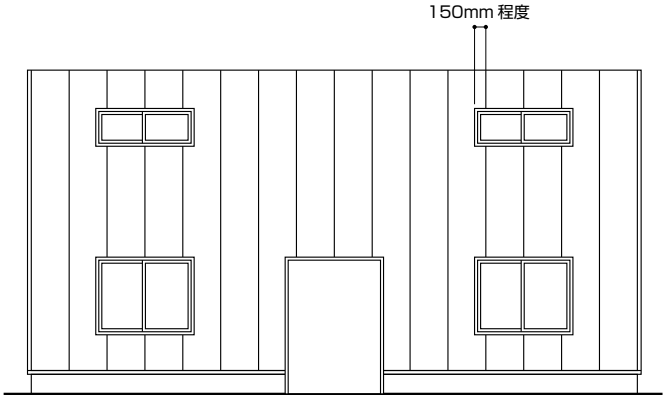
## 縦張り

### ●開口部の配置

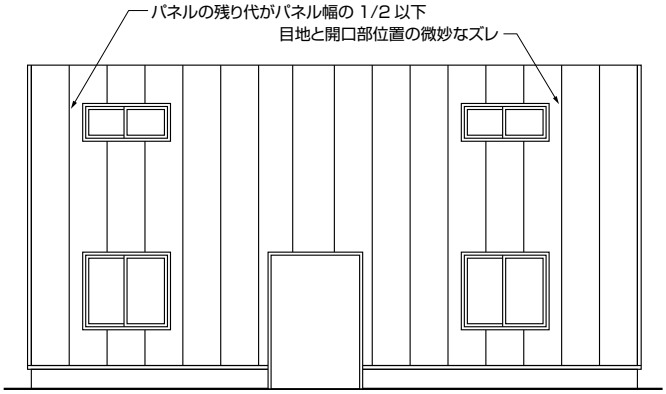
縦張りの場合、開口部の幅寸法を納まり代を含めて耐火イソバンドProの働き幅モジュールに合わせるように配慮して下さい。
パネル嵌合目地とサッシ縦目地はずらして配置して下さい。

パネルの残り代が極端に少なくなったり、両側から切り欠くような、開口部の配置は避けて下さい。

開口部のレイアウトが適切な例



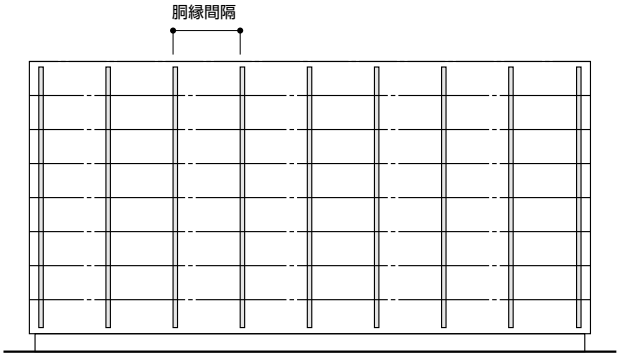

開口部のレイアウトに問題のある例



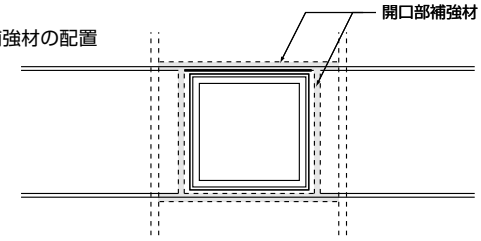
●胴縁の配置

胴縁間隔は、設計基準速度圧によるものと防火構造や耐火構造など法的規制によるもののうち、いずれか狭い方になります。

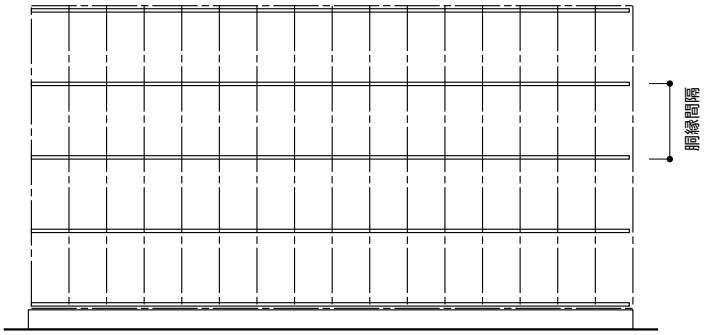
また、開口部では荷重をパネルだけで受け持つことはできないので、開口部の周囲には、必ず十分な強度の補強材を配置して下さい。

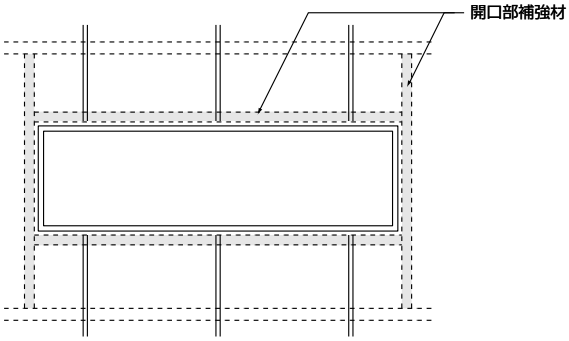



開口部補強材の配置




●縦張りの横胴縁の割付け




## (2)鋼板の発注・パネルの発注

工事に必要なパネル、標準部材の種類、寸法、色、数量などを明記して、販売店に発注して下さい。

## (3)搬入・荷下ろし

工事工程に従って、耐火イソバンド Pro を現場に搬入します。

耐火イソバンド Pro は車上渡しなので、クレーンは受け取り側でご用意下さい。

搬入されたパネルの種類、寸法、色、数量を荷いたみの有無と併せてただちにチェックをして下さい。

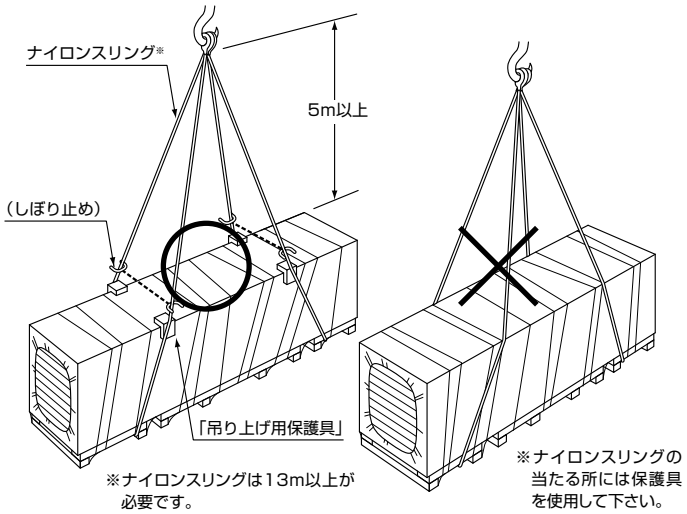
荷下ろしには、吊り上げ用保護具およびナイロンスリングを用意して、ナイロンスリングが直接製品に当たらないように、吊り上げ用保護具の上から吊り上げて下さい。

仮置きする場合は十分な養生をして下さい。

(P.11～12 参照)

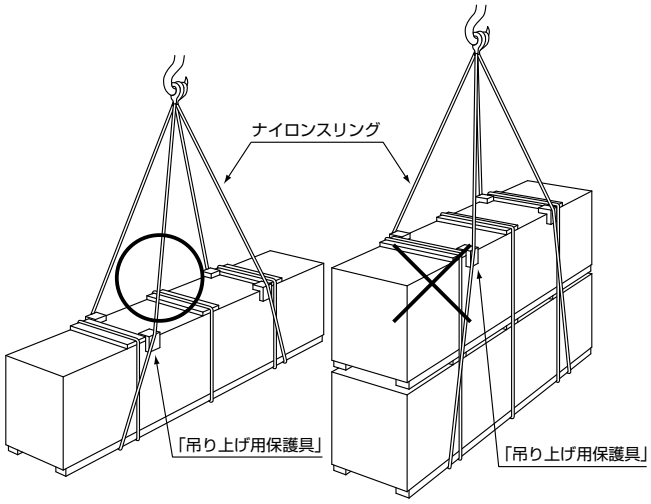
## ※取扱注意事項

①ナイロンスリングが直接製品に当たらないようにして下さい。

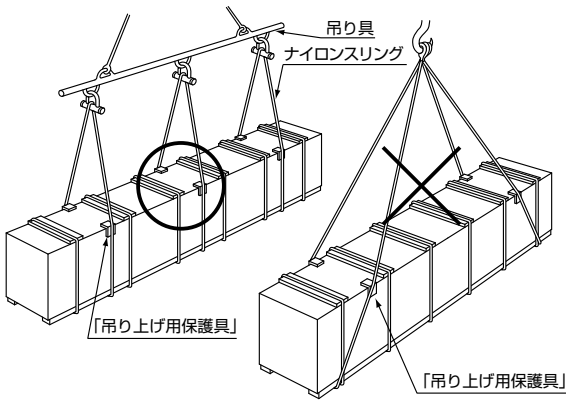



※「吊り上げ用保護具」には、パネル製品の梱包材を転用しないで下さい。

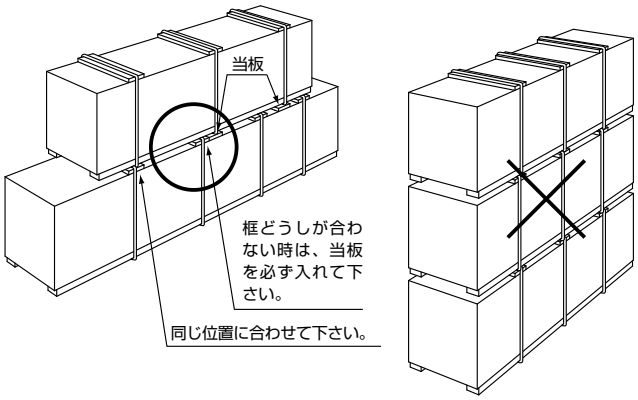
②製品の2段吊りはやめて下さい。



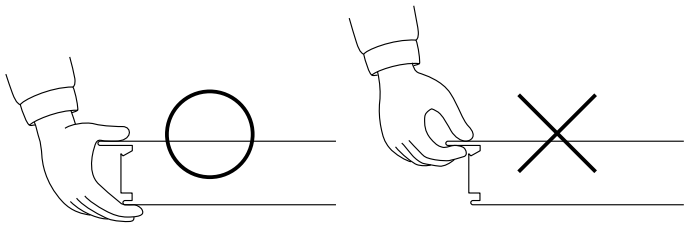

③長尺の場合は吊り具を用意して、3点吊りを行って下さい。



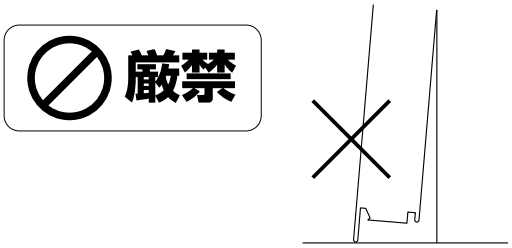

④積み置きは框どうしを合わせ、3段積みはやめて下さい。



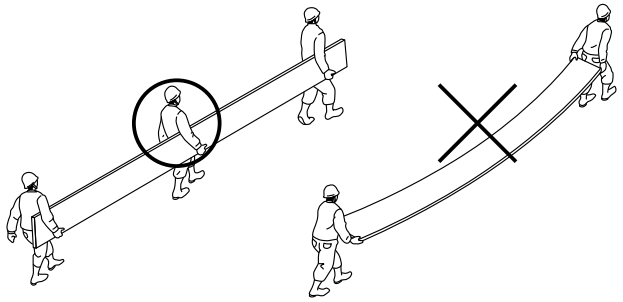

⑤突起部分だけを持たないで下さい。



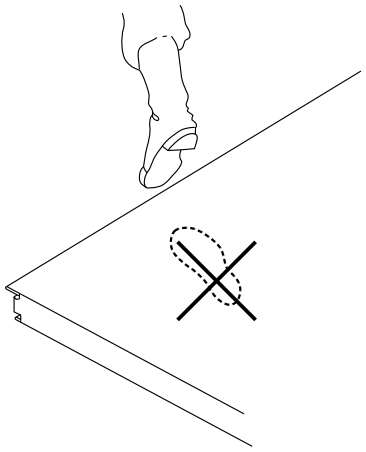
⑥製品を壁に立てかけないで下さい。



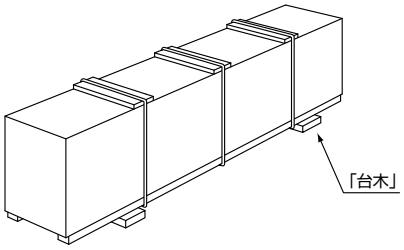
⑦パネルは横担ぎで運搬して下さい。
また、パネルの両端を持って持ち上げると折損する場合がありますので必ず中央部も支えて下さい。



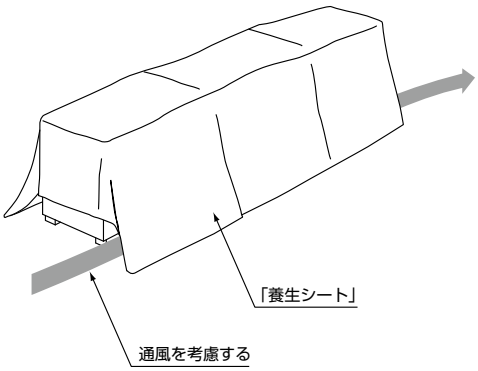
⑧砂や泥のついた履き物でパネルなどを踏まないで下さい。



⑨地面に不陸がある場合は、台木を敷いて水平な状態で保管して下さい。




⑩仮置きした梱包および役物副資材は、養生シートを掛けて保管して下さい。この場合、通風等を考慮して下さい。




⚠ ナイロンスリングの選定にあたっては梱包荷重に見合うものを選定して下さい。

⚠ 保護フィルムには静電気が発生していることがありますので、取り除く際には手袋をはめる等、注意をして下さい。

⚠ パネル切断時に発生する端面のバリは完全に除去できず残存していることがありますのでご注意下さい。

⚠ 除去した梱包資材や保護フィルムが風で飛散しないようとりまとめて廃棄して下さい。

## （4）下地の確認

下地の胴縁組に不陸があると、良好な仕上がりは得られません。パネル施工の前に下地を充分にチェックし、不陸や部材の抜けがある場合にはゼネコンに連絡して修正してもらいます。

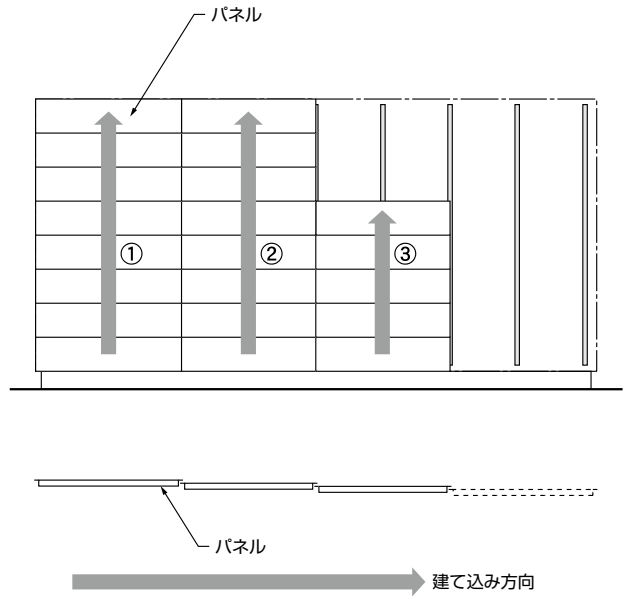
※外壁パネルの外観平坦度を確保するためには、左右方向の隣接胴縁の出入精度は、5mm以内（胴縁転び含む）を目標にお願いいたします。なお、上下胴縁継手では、1mm以内として下さい。

## （5）耐火イソバンドProの施工

耐火イソバンドProの横張り施工では壁面に向かって左側から右側に縦ジョイント部を重ねていく重ね逃げの工法が標準となりますので、ご注意下さい。
なお、各部納まりの施工についてはP.17から始まる「施工」の項をご参照下さい。



横張りの施工手順




※パネル施工途中で降雨が想定される場合、縦目地部を含む最上部を、養生テープ等で簡易止水し、パネル内部への雨水流入を防止してください(仮設笠木)。

※床コンクリート等からのアルカリ性の水が製品にかからないようにしてください。化学反応により変色する場合があります。

# 2.工具の準備

■施工前に下の工具類（市販品）を現場の状況に合わせて準備して下さい。

| | | |
|---|---|---|
| 巻尺 | 電動ドリル | カジヤ |
| 曲尺 | 電動スクリュードライバー | 金切ばさみ（えぐり刃または柳刃） |
| ピアノ線18番線 | 電気コード | つかみばさみ |
| チョークライン | リベッター | ジグソー |
| シャコマン | バイスプライヤー | ナイロンスリング<br>13m以上 |
| 水準器 | 電動丸鋸切 | 吊り具 |
| 目地調整治具<br>（パネル目地引っかけタイプ） | | |

# 3.安全作業の確認

■高所作業においては、特に踏み抜きや滑落しないように注意して下さい。労働安全関連法規を厳守するとともに、安全作業の徹底に努めて下さい。

## ①安全装備

正しい服装と保護具(ヘルメット・命綱など)を着装して下さい。

## ②安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理および安全についての注意事項の確認をして下さい。

## ③施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況について緊密な連絡を取って下さい。

## ④高所作業の安全対策

敷板（足場板）および滑落防止用ストッパー・安全ネットなどの設置により屋上での作業や材料置き場の安全確保に努めて下さい。また、水に濡れた鋼板上を歩行する場合、滑落事故に注意して下さい。

## ⑤安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては、漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。また、それらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

## ⑥災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

## ⑦気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

# 3

# 施工・横張り

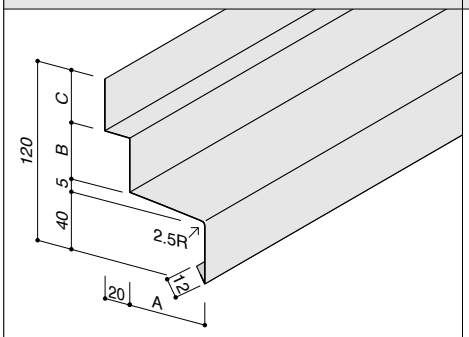
# 1.純正部材

（⚠ 当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。
他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。）

## （1）横張り用

（単位：mm）

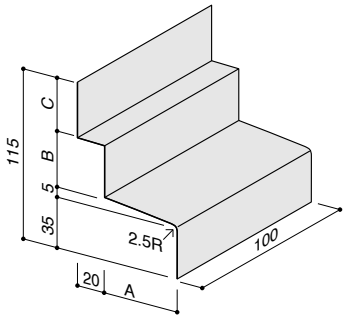
コードNo.　MZ210・MZ211
名　称　TW水切A




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C |
| MZ210 | 50 | 50 | 38 | 37 |
| MZ211 | 75 | 75 | 13 | 62 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

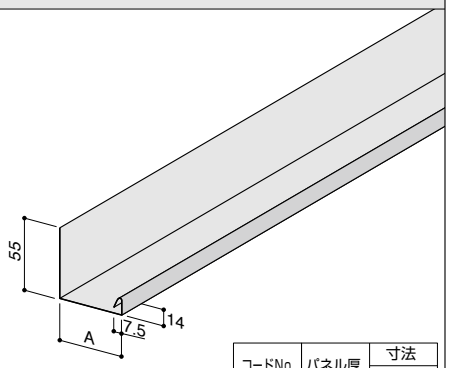
コードNo.　MZ212・MZ213
名　称　TW水切A当板




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C |
| MZ212 | 50 | 50 | 38 | 37 |
| MZ213 | 75 | 75 | 13 | 62 |

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

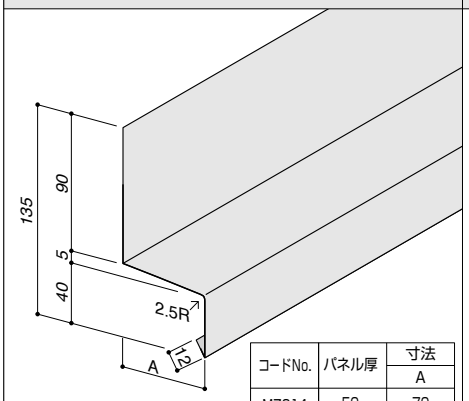
コードNo.　ST030・ST031
名　称　TWスターターA




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| ST030 | 50 | 45 |
| ST031 | 75 | 70 |

板厚：0.8mm
長さ：3000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

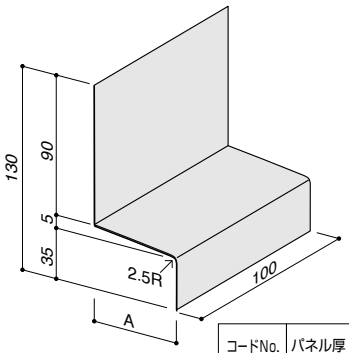
コードNo.　MZ214・MZ215
名　称　TW水切B




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| MZ214 | 50 | 70 |
| MZ215 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

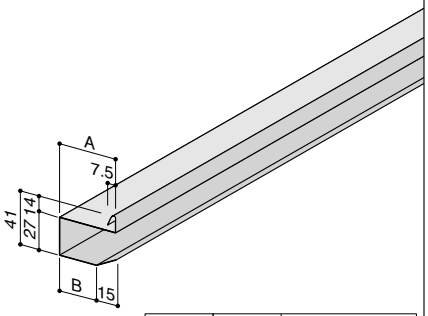
コードNo.　MZ216・MZ217
名　称　TW水切B当板




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| MZ216 | 50 | 70 |
| MZ217 | 75 | 95 |

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

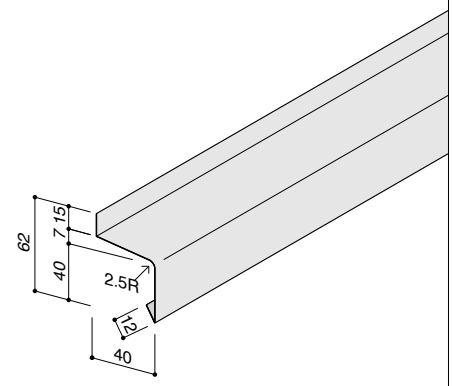
コードNo.　ST032・ST033
名　称　TWスターターB




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | |
|---|---|---|---|
| | | A | B |
| ST032 | 50 | 44 | 28 |
| ST033 | 75 | 69 | 53 |

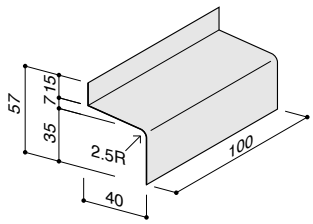
板厚：0.8mm
長さ：3000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　MZ218
名　称　TW水切C



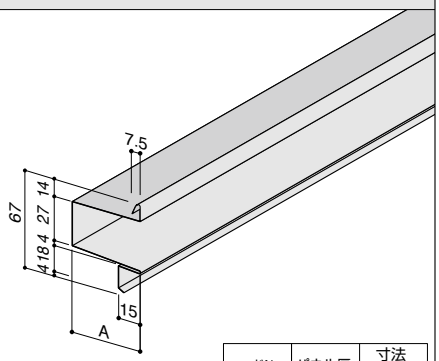

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

コードNo.　MZ219
名　称　TW水切C当板




板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　ST034・ST035
名　称　TWスターターC

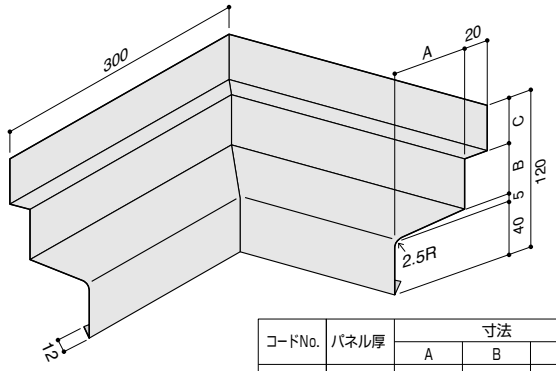



| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| ST034 | 50 | 44 |
| ST035 | 75 | 69 |

板厚：0.8mm
長さ：3000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

（単位：mm）

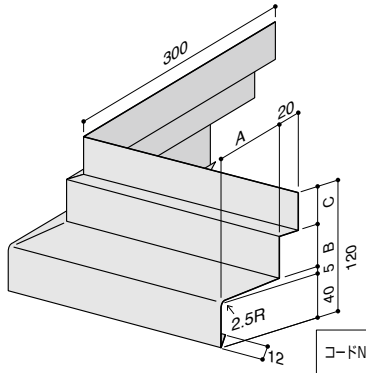
コードNo.　RM060・RM061
名　称　TW入隅コーナー水切A




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C |
| RM060 | 50 | 50 | 38 | 37 |
| RM061 | 75 | 75 | 13 | 62 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

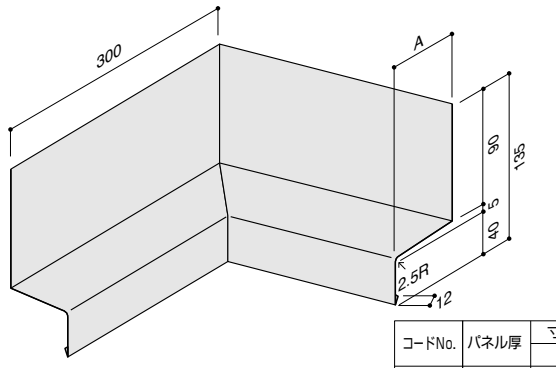
コードNo.　RM062・RM063
名　称　TW出隅コーナー水切A




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C |
| RM062 | 50 | 50 | 38 | 37 |
| RM063 | 75 | 75 | 13 | 62 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

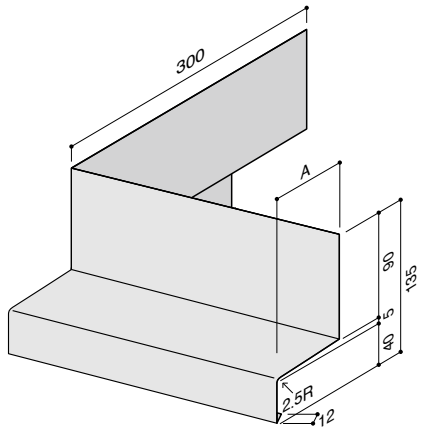
コードNo.　RM064・RM065
名　称　TW入隅コーナー水切B




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| RM064 | 50 | 70 |
| RM065 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

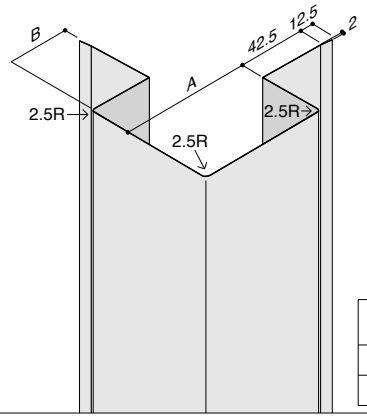
コードNo.　RM066・RM067
名　称　TW出隅コーナー水切B




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| RM066 | 50 | 70 |
| RM067 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

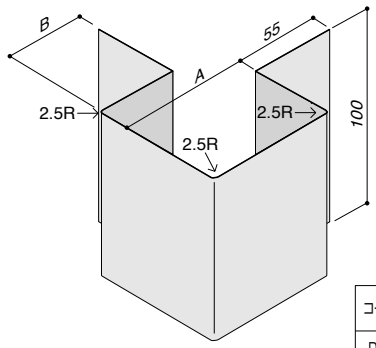
コードNo.　DE140・DE141
名　称　TW出隅BN




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | |
|---|---|---|---|
| | | A | B |
| DE140 | 50 | 75 | 52 |
| DE141 | 75 | 100 | 77 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

コードNo.　DE142・DE143
名　称　TW出隅BN当板

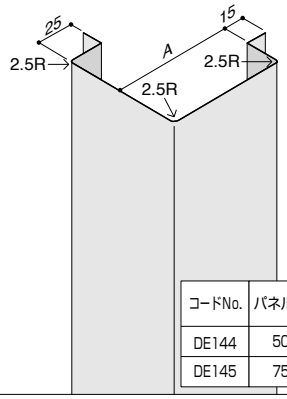



| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | |
|---|---|---|---|
| | | A | B |
| DE142 | 50 | 73 | 52 |
| DE143 | 75 | 98 | 77 |

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

（単位：mm）

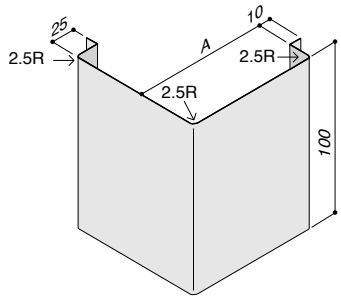
コードNo.　DE144・DE145
名　称　TW出隅CN




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| DE144 | 50 | 75 |
| DE145 | 75 | 100 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

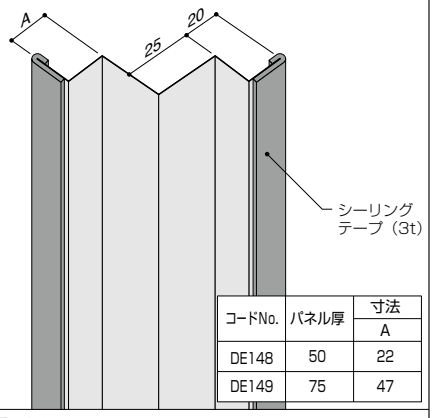
コードNo.　DE146・DE147
名　称　TW出隅CN当板




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| DE146 | 50 | 73 |
| DE147 | 75 | 98 |

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　DE148・DE149
名　称　TW出隅CN固定下地

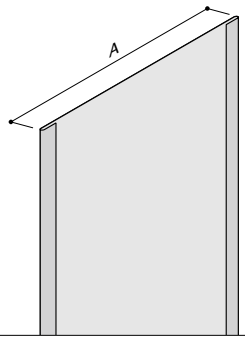



| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| DE148 | 50 | 22 |
| DE149 | 75 | 47 |

板厚：0.8mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

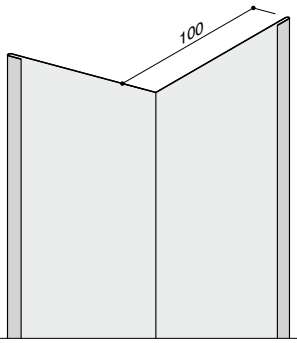
コードNo.　TA034・TA035
名　称　捨て板

| コードNo. | 目地幅 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| TA034 | 20・25 | 100 |
| TA035 | 30 | 150 |




原板：ポリエステル系塗装GLまたはSGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

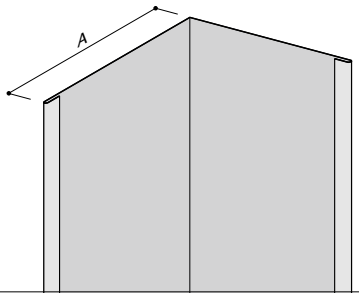
コードNo.　TA038
名　称　出隅塞ぎ板




板厚：0.5mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

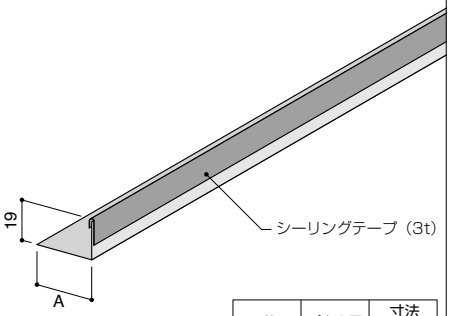
コードNo.　TA084・TA085・TA086
名　称　入隅塞ぎ板A

| コードNo. | 寸法 |
|---|---|
| | A |
| TA084 | 110 |
| TA085 | 135 |
| TA086 | 150 |




原板：ポリエステル系塗装GL
板厚：0.5mm　長さ：4000mm
注）色相はパネル内皮色と同色をご指定下さい。

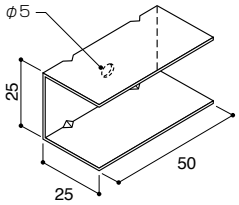
コードNo.　TA090・TA091
名　称　TW端部固定下地




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| TA090 | 50 | 24 |
| TA091 | 75 | 49 |

板厚：0.8mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　TA092
名　称　自重受けA

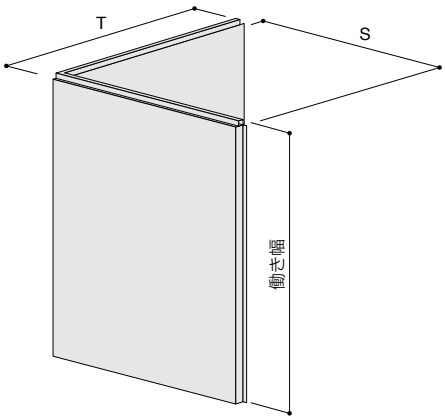


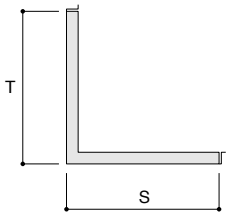

注1）パネル厚75mmのみ使用。
注2）原板、塗装有無、色相については当社にて任意に選定します。

材質：ガルバリウム鋼板またはSGL鋼板
板厚：1.2mm
長さ：50mm

（単位：mm）

コードNo.　下表参照
名　称　TW直角コーナーパネル



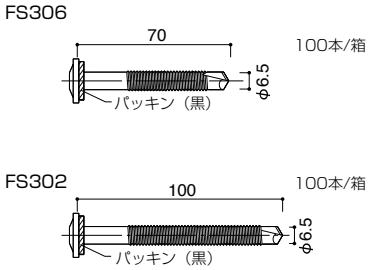

| コードNo. | パネル厚 | 働き幅 | 長さ(S·T) |
|---|---|---|---|
| RP400 | 50 | 600 | 200 ~ 800 |
| RP401 | | 750 | |
| RP402 | | 900 | |
| RP403 | | 1000 | |
| RP404 | 75 | 600 | |
| RP405 | | 750 | |
| RP406 | | 900 | |
| RP407 | | 1000 | |

※但し、SとTの合計が800～1600であること

表面材：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
注1）コーナーパネルについては別送のため、別途運賃が必要となります。

## (2) ビス・パッキン類

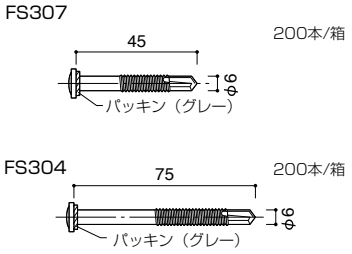
コードNo.　FS306・FS302
名　称　TWドリルビス（嵌合・平面用）




| コードNo. | パネル厚 |
|---|---|
| FS306 | 50 |
| FS302 | 75 |

材質：スチール　表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
注）取り付け用ビットは1箱に1本入っています。
※イソバンドBL-H/BL用のビットは流用できません。

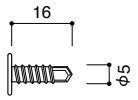
コードNo.　FS307・FS304
名　称　TWドリルビス（縦目地用）




| コードNo. | パネル厚 |
|---|---|
| FS307 | 50 |
| FS304 | 75 |

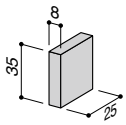
材質：スチール　表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
注）取り付け用ビットは1箱に1本入っています。
※イソバンドBL-H/BL用のビットは流用できません。

コードNo.　FS135
名　称　フラットビス



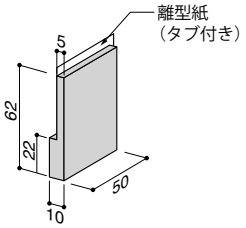

500本/箱
材質：スチール
表面処理：亜鉛浸漬被覆処理

コードNo.　PK046
名　称　目地シールD（8×25×35）



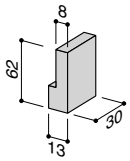

90個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK047
名　称　目地シールE（10×50×62）



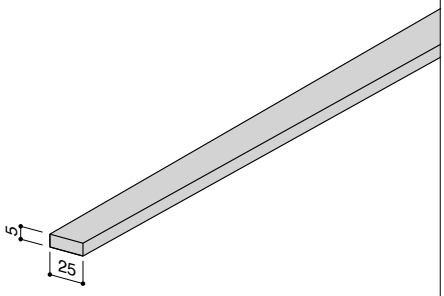

100個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK044
名　称　目地シールC（13×30×62）



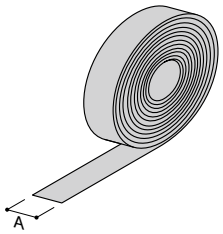

100個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK040
名　称　シーリングテープ（5×25）




長さ：10m
材質：発泡ポリウレタン

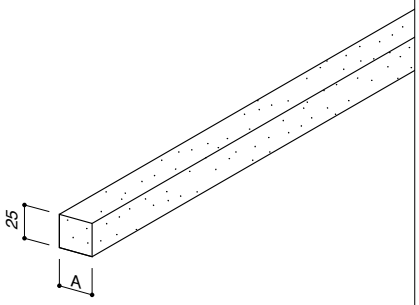
コードNo.　HJ002・HJ003
名　称　アルミテープ




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| HJ002 | 50 | 75 |
| HJ003 | 75 | 100 |

長さ：20m

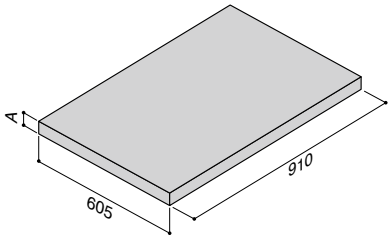
コードNo.　CF511・CF512
名　称　耐火フェルト




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| CF511 | 50 | 25 |
| CF512 | 75 | 50 |

材質：人造非晶質繊維
長さ：7320mm

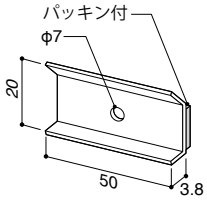
コードNo.　HJ004・HJ005
名　称　ロックウールボード




| コードNo. | 寸法 |
|---|---|
| | A |
| HJ004 | 50 |
| HJ005 | 75 |

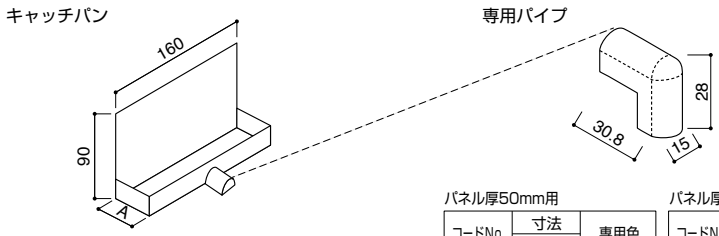
50mm　6枚/梱包
75mm　4枚/梱包

コードNo.　FS305
名　称　TW補強座金




材質：スチール
表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
板厚：1.2mm

コードNo.　PK203・PK204・PK205・PK206
名　称　キャッチパン




パネル厚50mm用

| コードNo. | 寸法 | 専用色 |
|---|---|---|
| | A | |
| PK203 | 43 | ライトグレー |
| PK204 | | ホワイト |

パネル厚75mm用

| コードNo. | 寸法 | 専用色 |
|---|---|---|
| | A | |
| PK205 | 68 | ライトグレー |
| PK206 | | ホワイト |

注）必ず専用パイプとセットで使用して下さい。

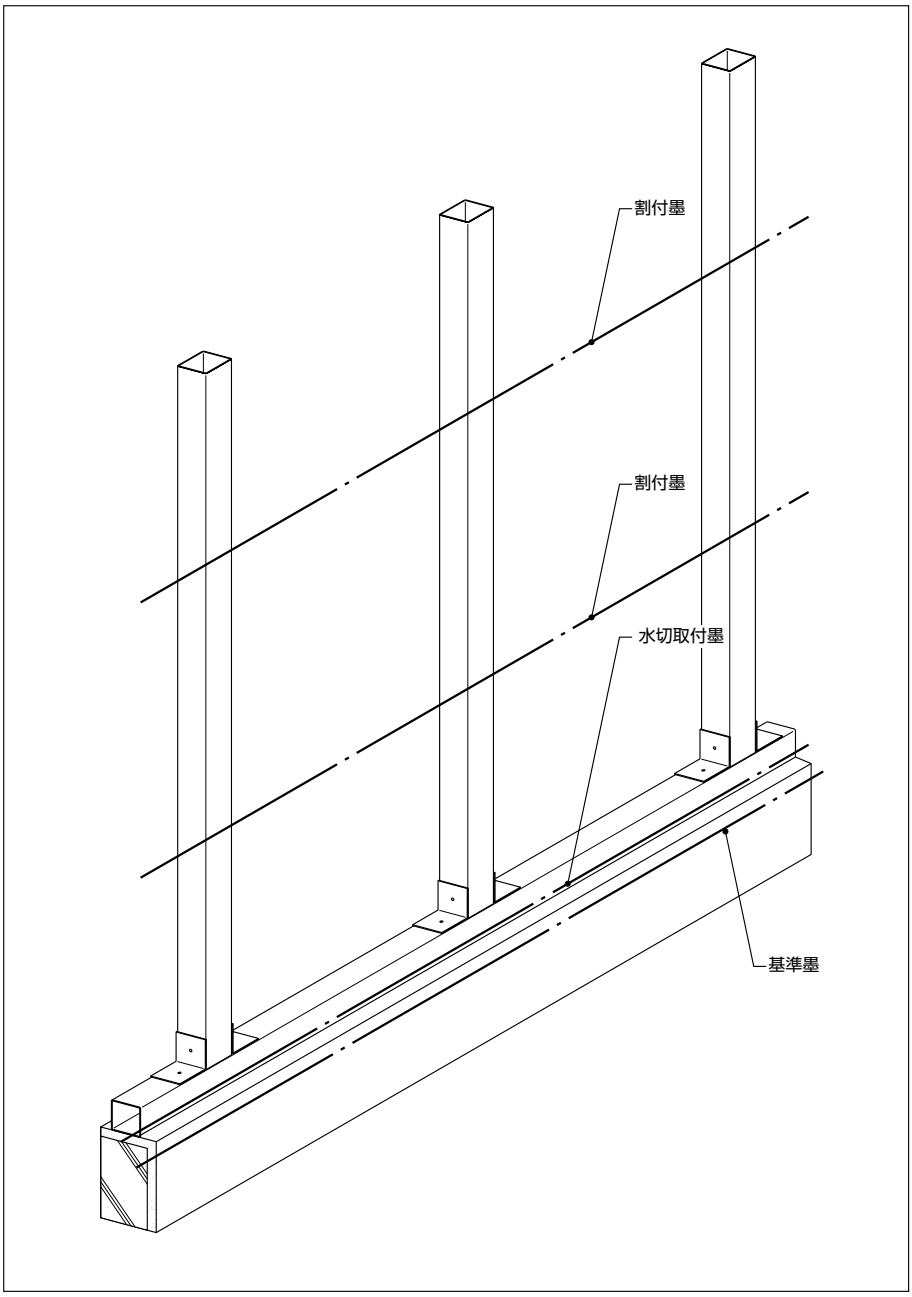
注1）キャッチパンの先端に取り付けて使用して下さい。
注2）使用するシーリングに合わせて色を選択して下さい。

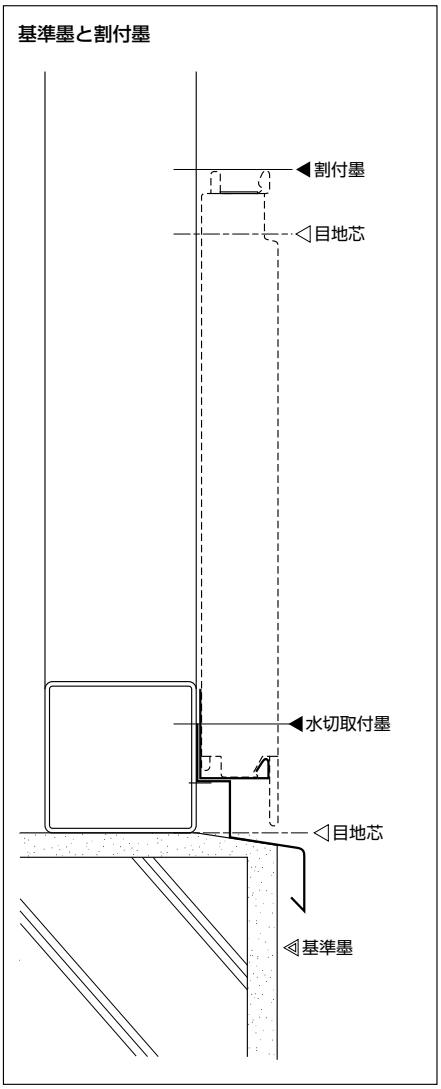
材質：樹脂

# 2.部材の取付

## （1）墨出し

基準墨に従って、パネルの割付墨を下地胴縁等に正確に打って下さい。基準墨はゼネコン担当者に依頼して下さい。




POINT

◆現場割付の確認

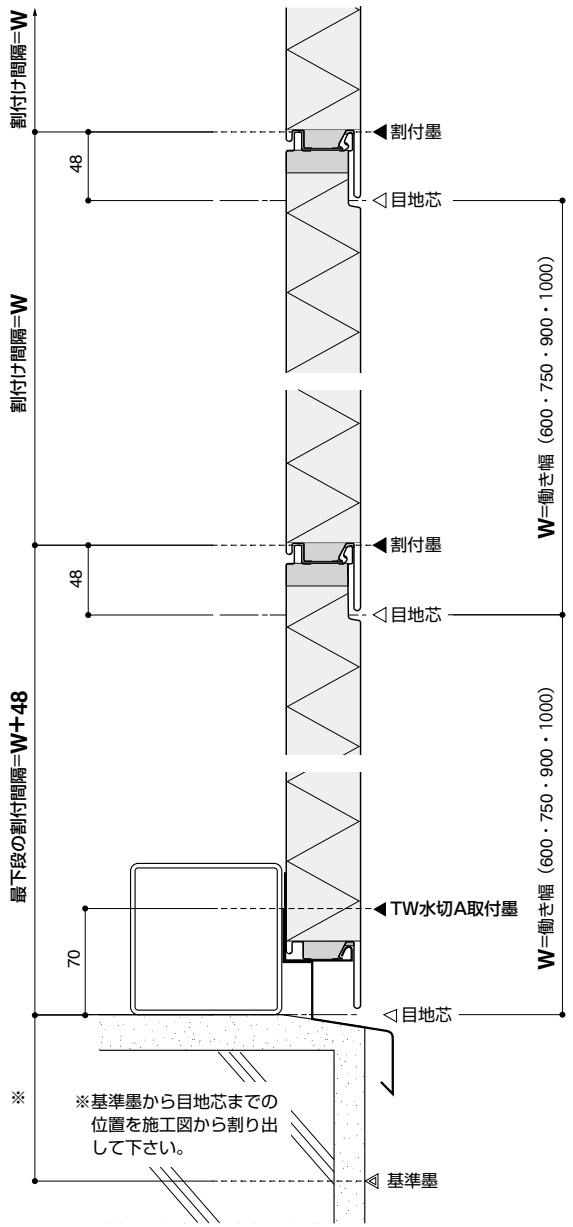
・施工図通りに施工できるか

（施工図に変更の必要がある場合には、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ます。）

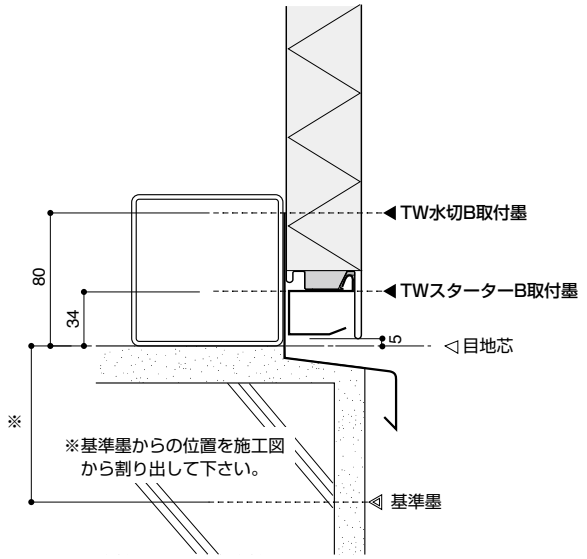
## ※割付墨の墨出し寸法

割付墨は耐火イソバンド Pro の施工においてとても重要です。水切の種類によって、水切取付墨の位置が異なるので注意して下さい。

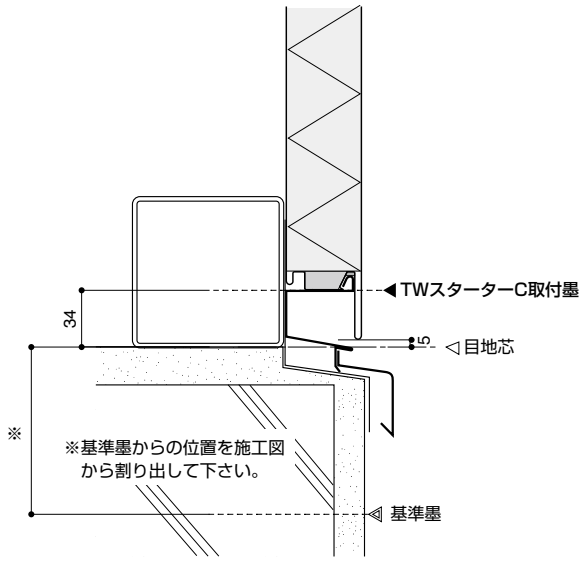
TW水切Aの場合




TW水切Bの場合

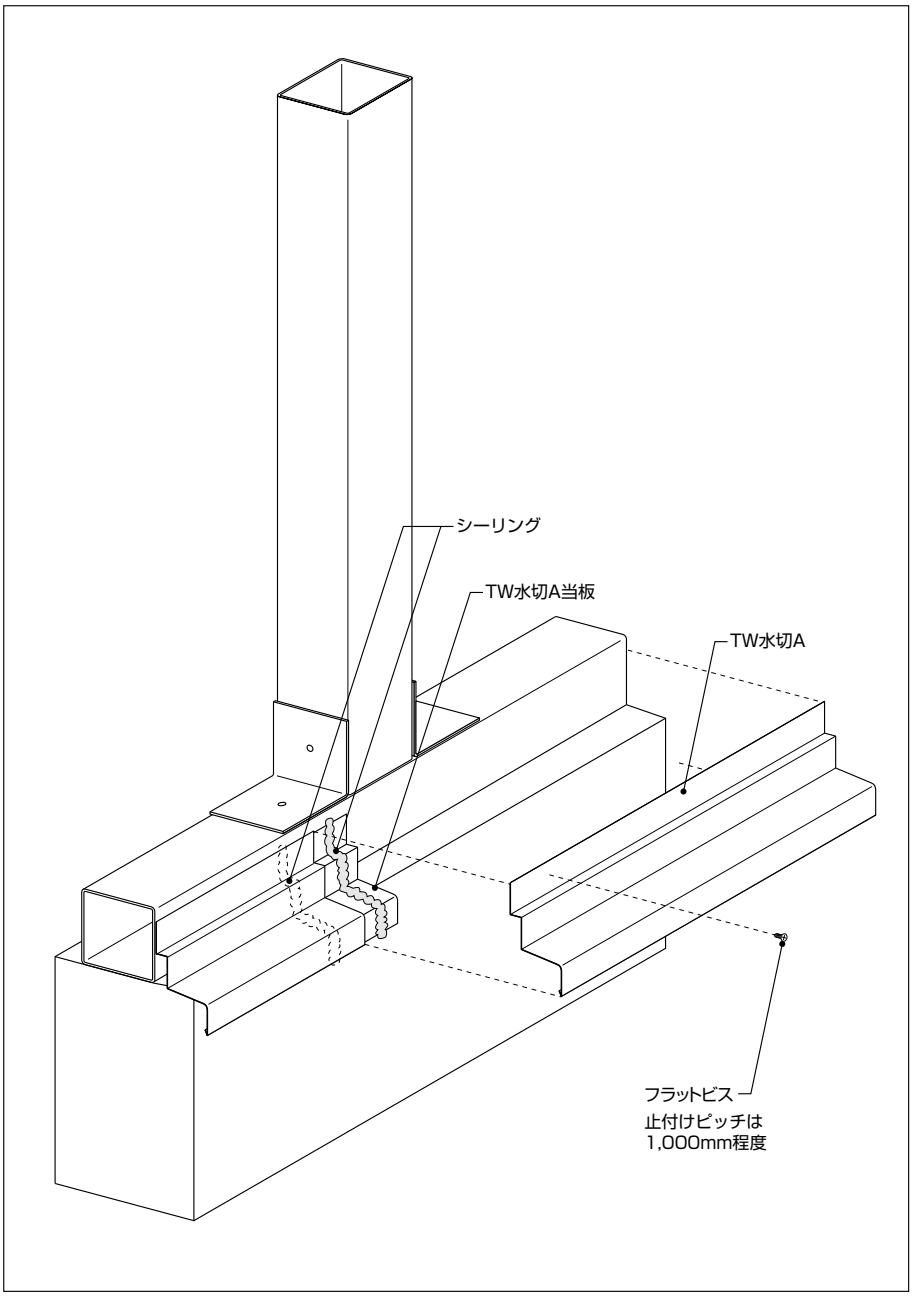



TW水切C（後付けタイプ）の場合

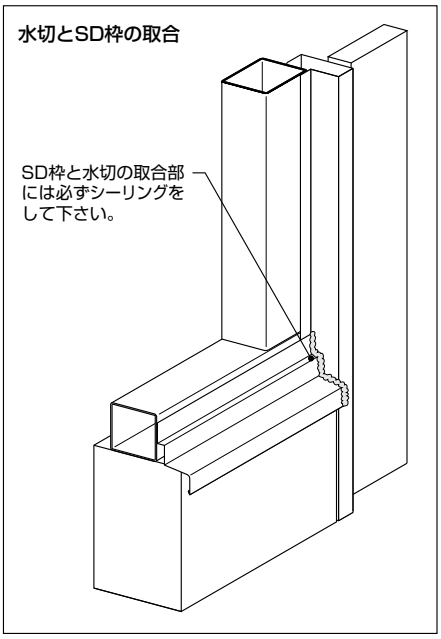


## （2）水切の取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

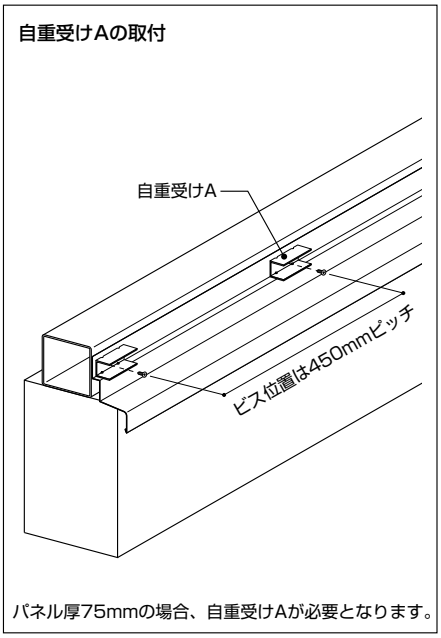
打たれた墨に従って、水切を取り付けます。ジョイント部は当板にシーリングをして
ジョイントして下さい。




**水切とSD枠の取合**




**自重受けAの取付**




パネル厚75mmの場合、自重受けAが必要となります。

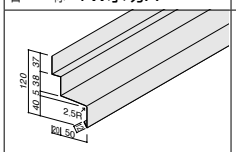
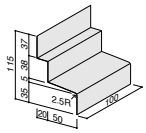
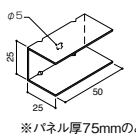
### POINT

◆シーリングの確認

・当板にシーリングを施したか

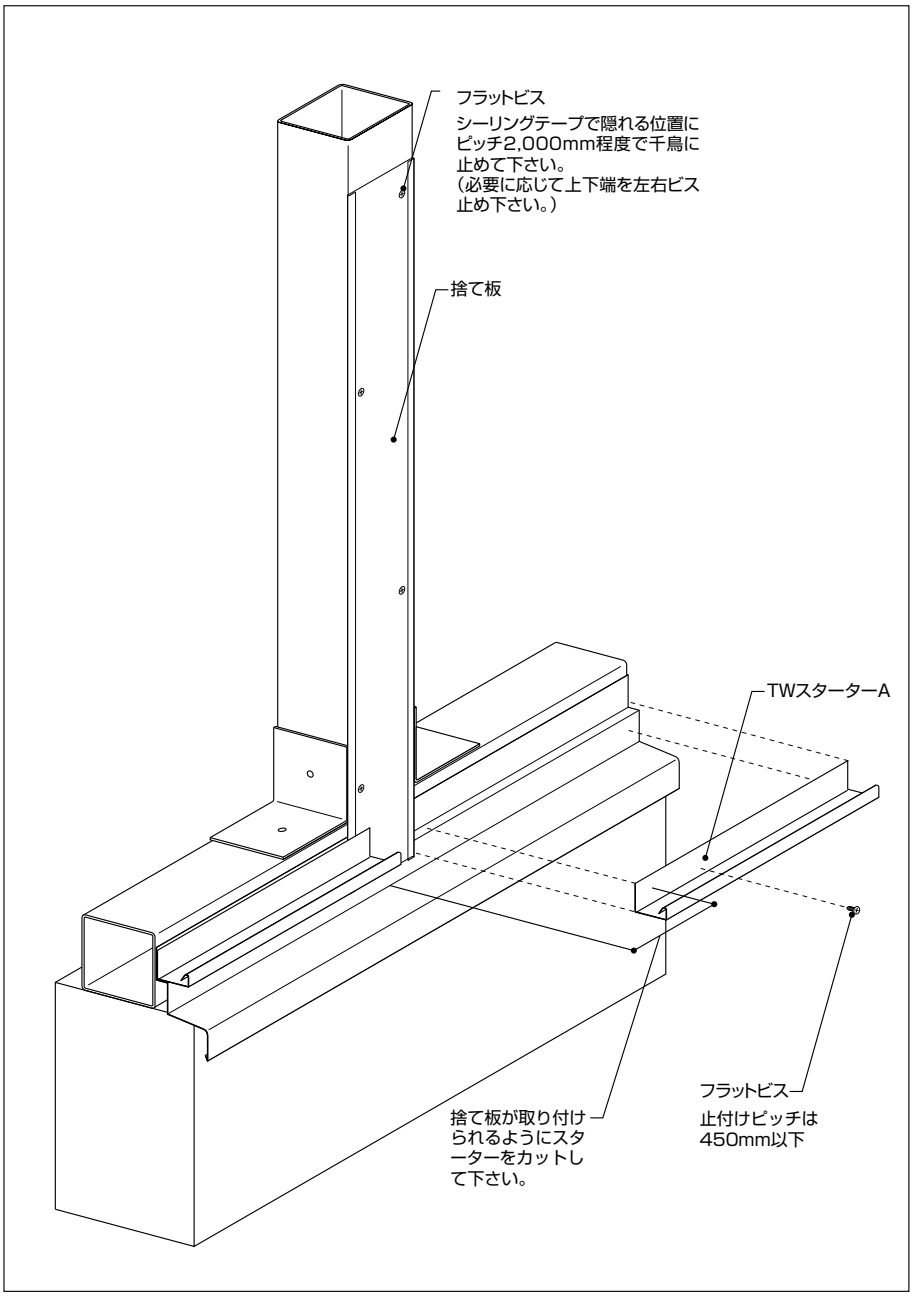
### 純正部材

（単位：mm）

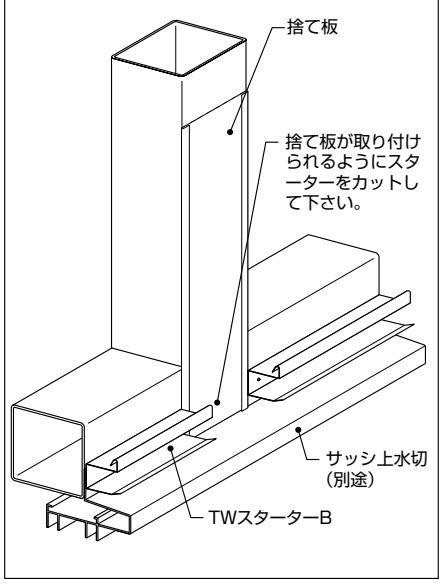
| コードNo. MZ210<br>名　称 TW水切A | コードNo. MZ212<br>名　称 TW水切A当板 | コードNo. TA092<br>名　称 自重受けA | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|
|  |  |  <br>※パネル厚75mmのみ使用 | |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 板厚：1.2mm　長さ：50mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## (3) 捨て板とスターターの取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

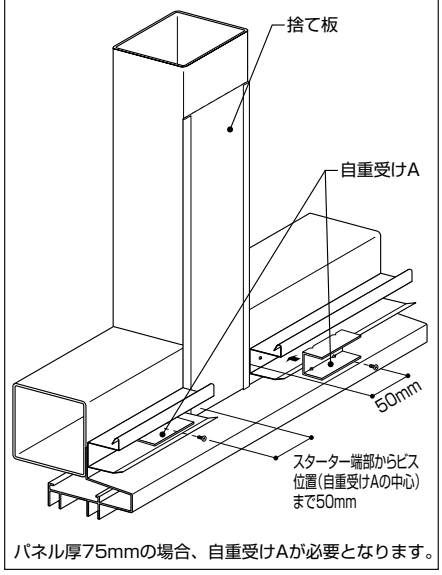
パネルの縦ジョイント部に捨て板をフラットビスで取り付けます。次に、スターターをフラットビスで固定します。縦ジョイントの位置では捨て板が直接水切の上にくるようにスターターをカットして取り付けて下さい。




サッシ上の取合




自重受けAの取付



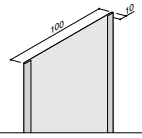
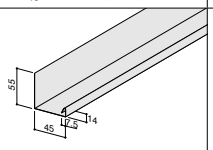
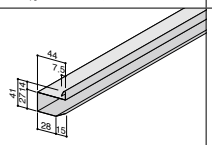
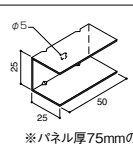

パネル厚75mmの場合、自重受けAが必要となります。

POINT

◆スターターの確認
- ・縦ジョイント部捨て板の取り付け位置でスターターをカットしたか
- ・ビスピッチは450mm以下か

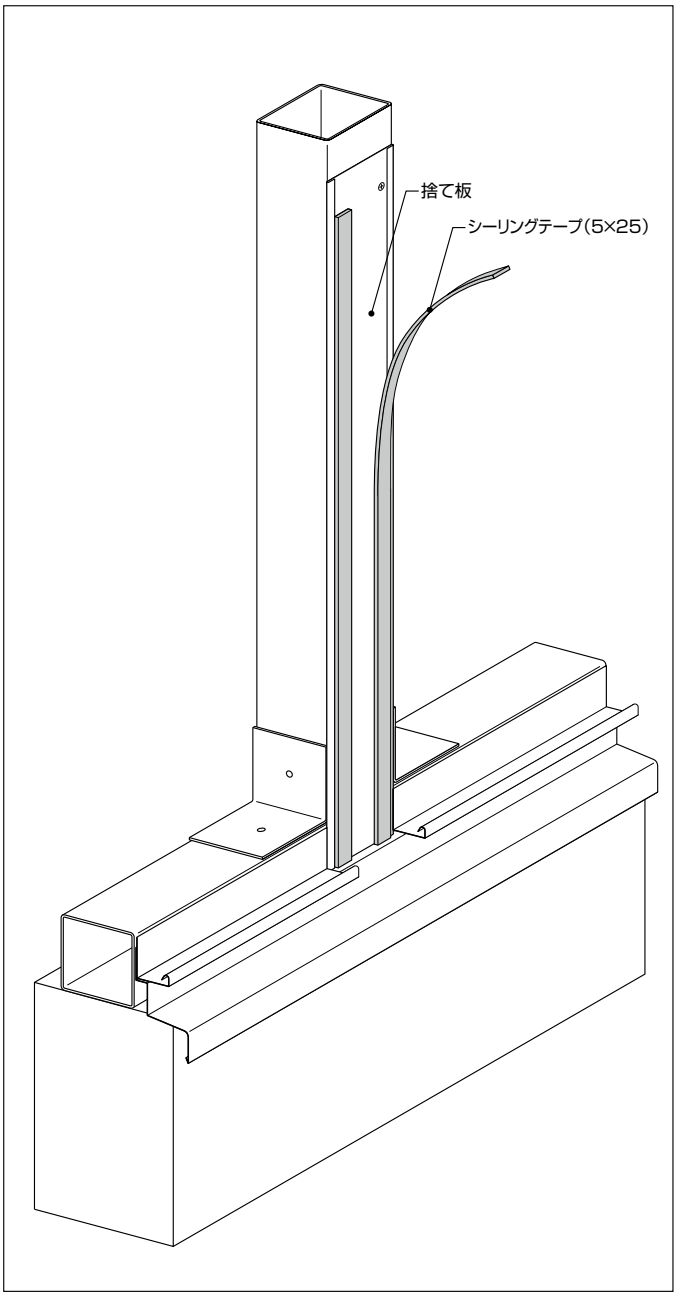
### 純正部材

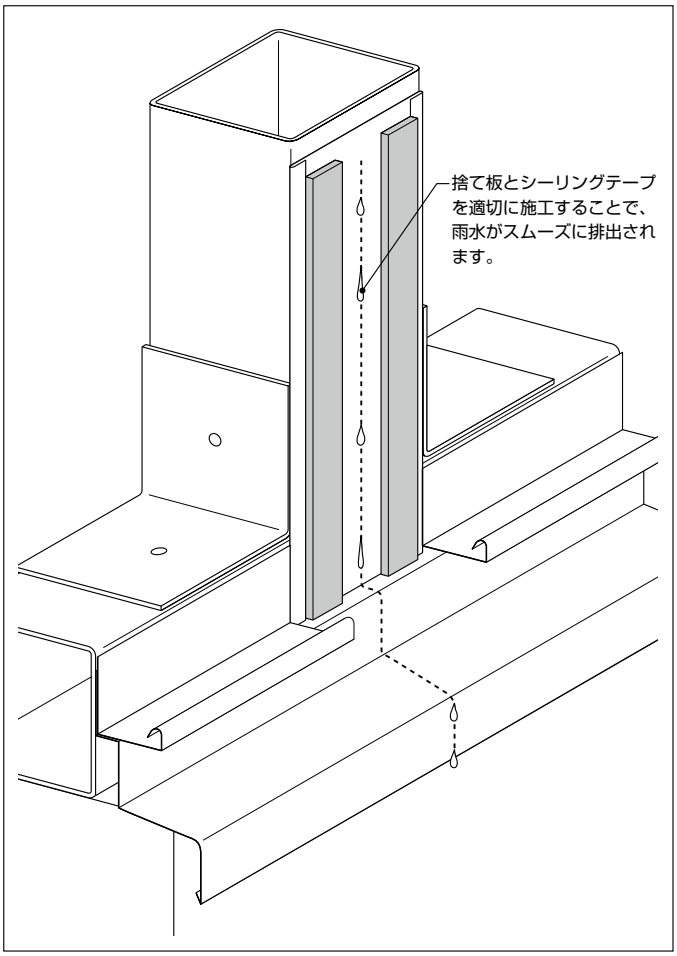
（単位：mm）

| コードNo. TA034<br>名　称 捨て板 | コードNo. ST030<br>名　称 TWスターター A | コードNo. ST032<br>名　称 TWスターターB | コードNo. TA092<br>名　称 自重受けA | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  <br>※パネル厚75mmのみ使用 | |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.8mm　長さ：3000mm | 板厚：0.8mm　長さ：3000mm | 板厚：1.2mm　長さ：50mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （4）シーリングテープの取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

シーリングテープを2列、捨て板の上に貼り付けます。




POINT

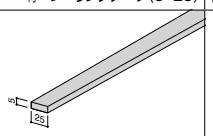
◆捨て板の確認

・捨て板が水切の上に重なっているか

・シーリングテープの取り付け忘れはないか

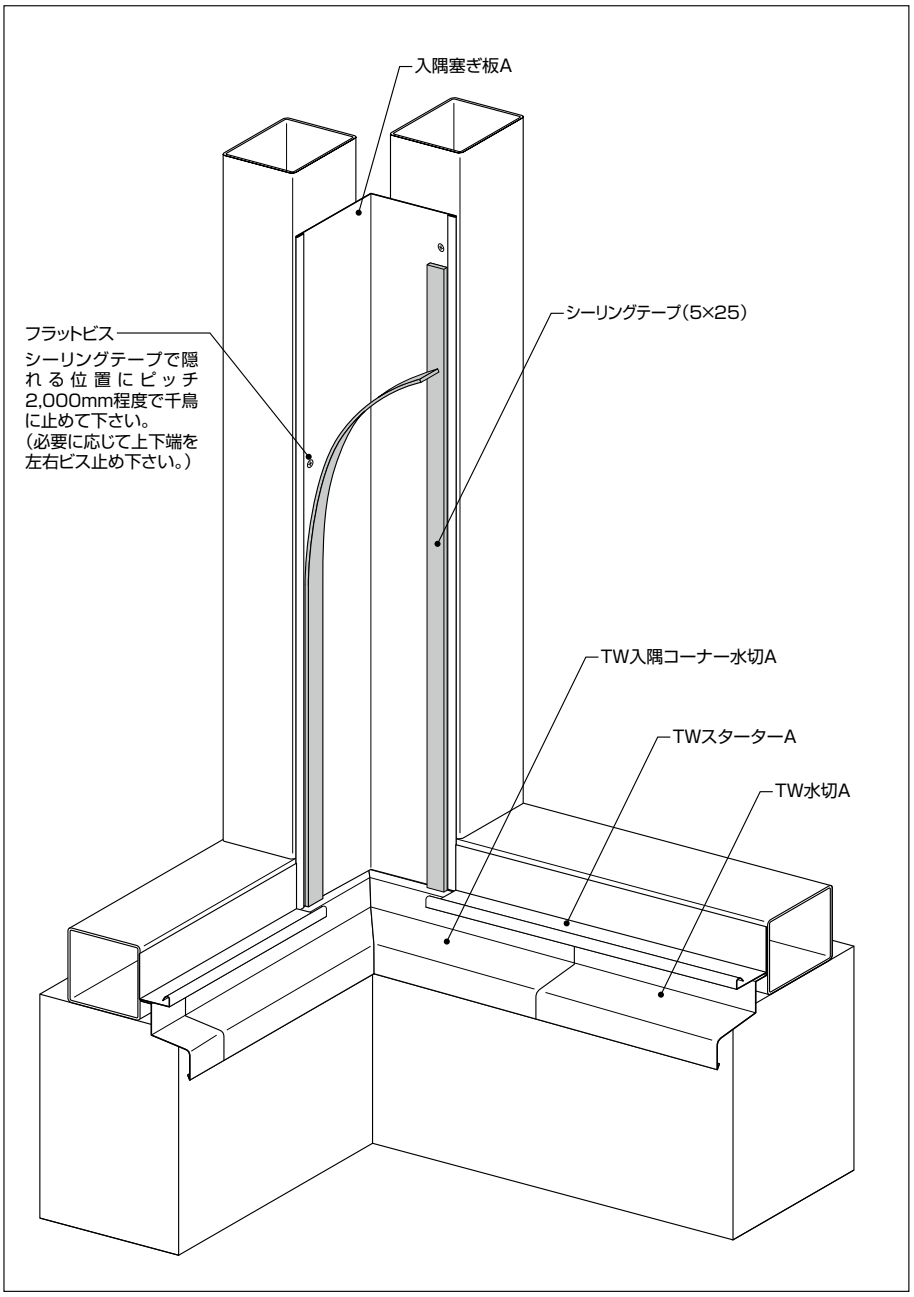
### 純正部材

（単位：mm）

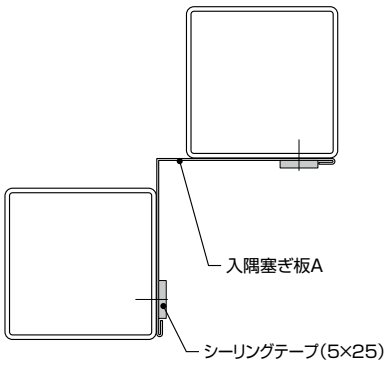
| コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|
|  | |
| 長さ：10m | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （5）入隅塞ぎ板の取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

入隅コーナー水切の上に入隅塞ぎ板を取り付け、シーリングテープを入隅塞ぎ板の上に
2列貼り付けます。




入隅部断面図




POINT

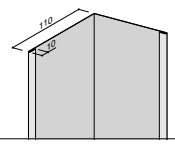
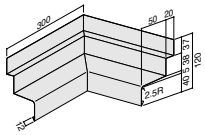
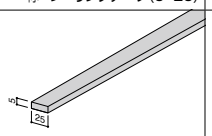
◆入隅塞ぎ板の確認

・塞ぎ板が水切の上に重なっているか

・シーリングテープの取り付け忘れはないか

### 純正部材

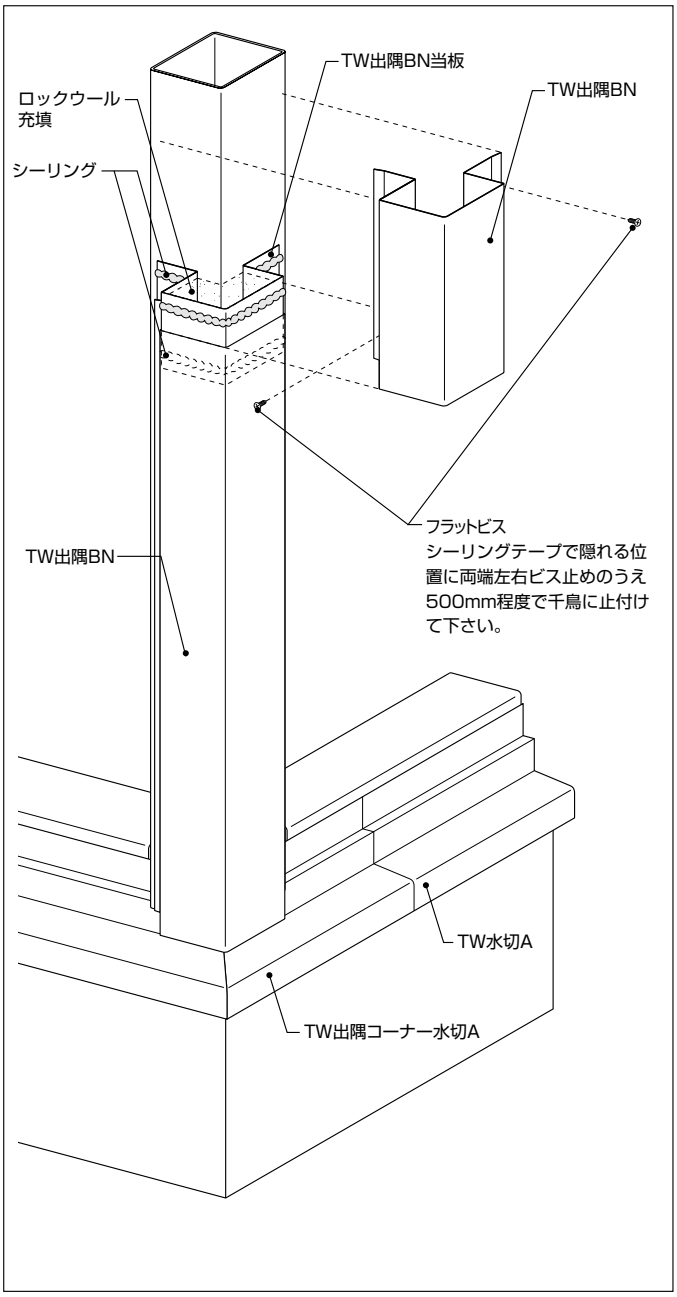
（単位：mm）

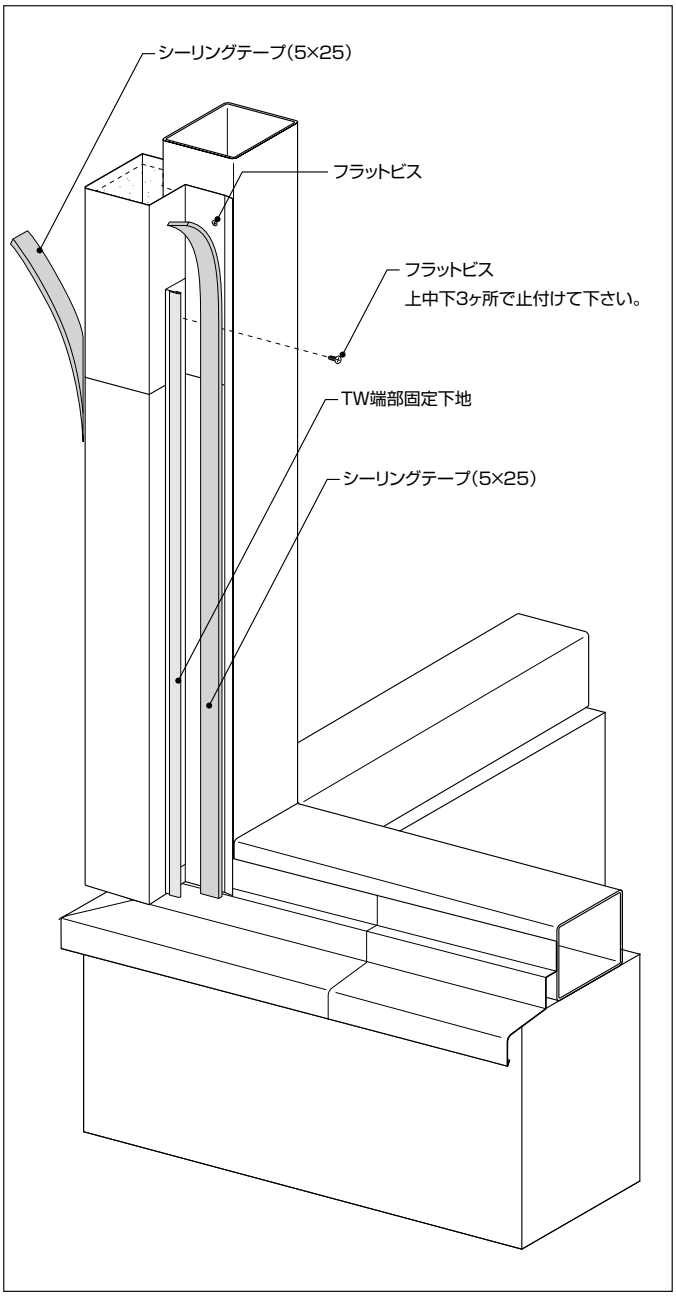
| コードNo. TA084<br>名　称 入隅塞ぎ板A | コードNo. RM060<br>名　称 TW入隅コーナー水切A | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|
|  |  |  | |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm | 長さ：10m | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （6）出隅の取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

出隅を取り付けます。ジョイント部は当板にシーリングをしてジョイントして下さい。また、出隅の隙間には必要に応じてロックウールを充填して下さい。

次に、シーリングテープを貼り付け、端部固定下地を取り付けます。



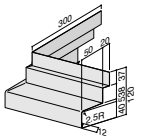
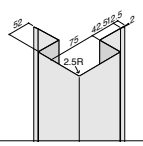
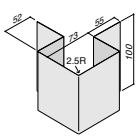
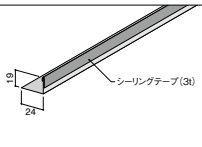
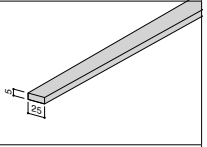




POINT

◆出隅の確認
- ·出隅が水切の上に重なっているか
- ·当板にシーリングを施したか
- ·シーリングテープの取り付け忘れはないか

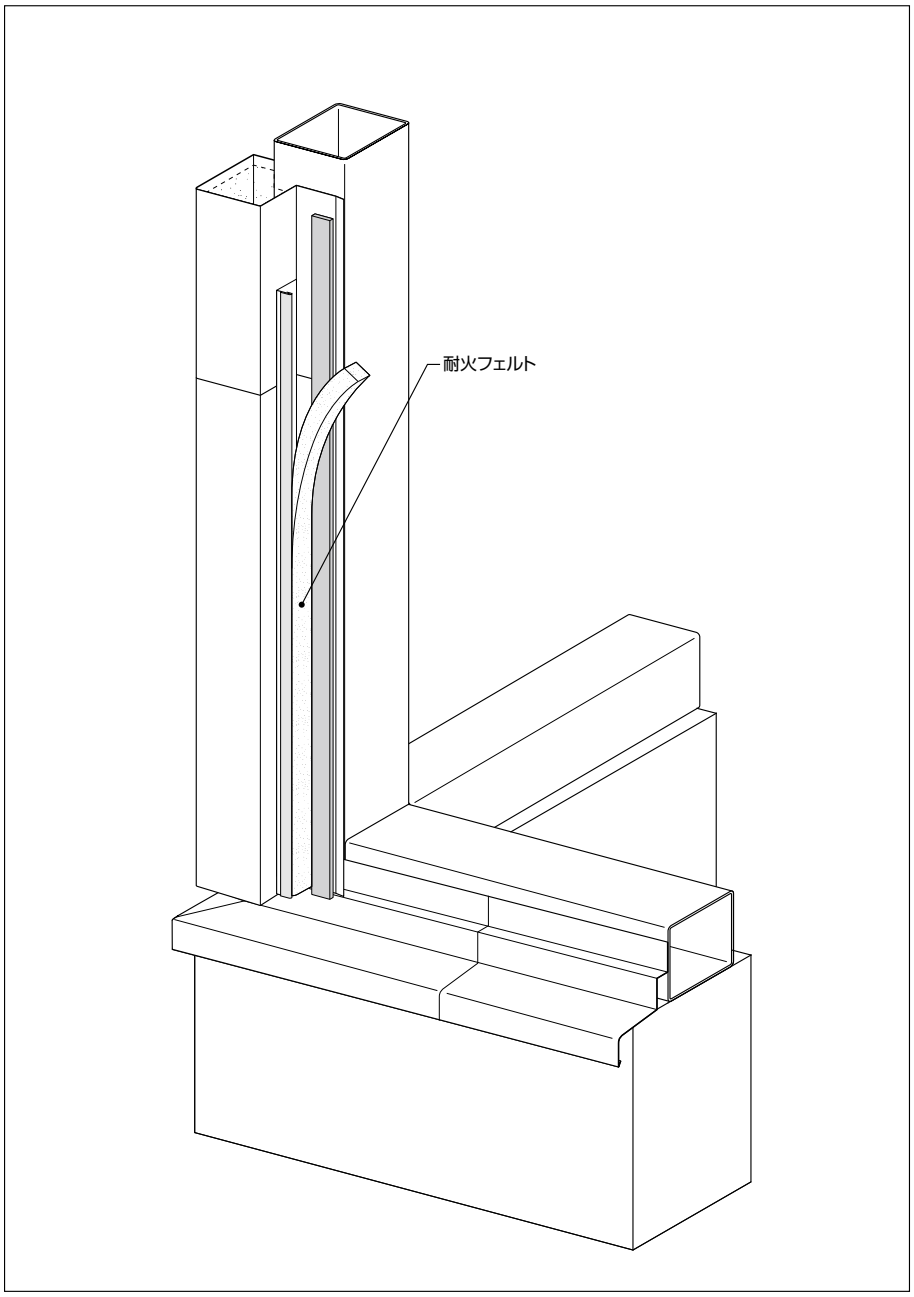
### 純正部材

（単位：mm）

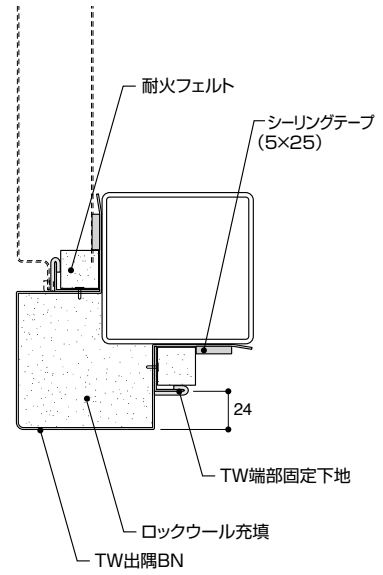
| コードNo. RM062<br>名　称 TW出隅コーナー水切A | コードNo. DE140<br>名　称 TW出隅BN | コードNo. DE142<br>名　称 TW出隅BN当板 | コードNo. TA090<br>名　称 TW端部固定下地 | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 板厚：0.5mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 板厚：0.8mm　長さ：4000mm | 長さ：10m |

（※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

端部固定下地と出隅の間には耐火フェルトを挿入します。




出隅部断面図





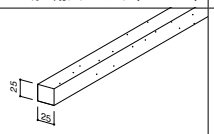
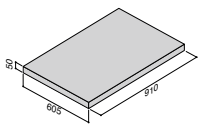

POINT

◆耐火フェルトの確認

・充填忘れはないか

## 純正部材

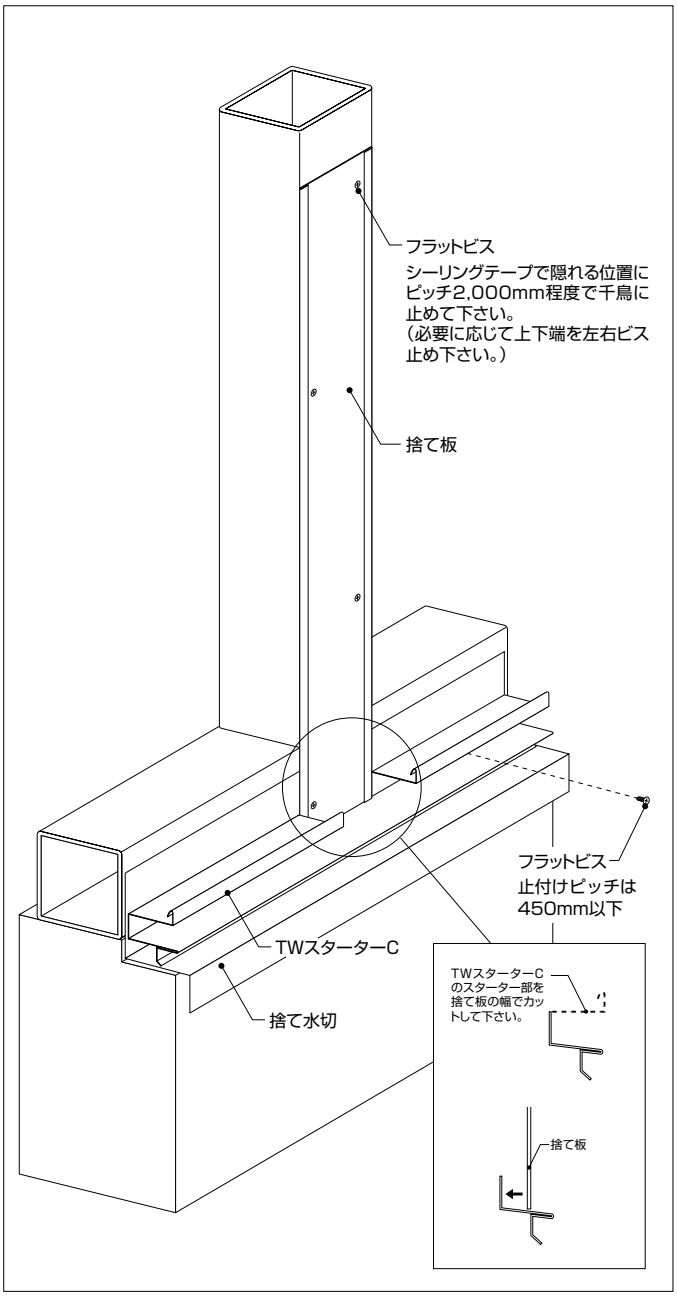
（単位：mm）

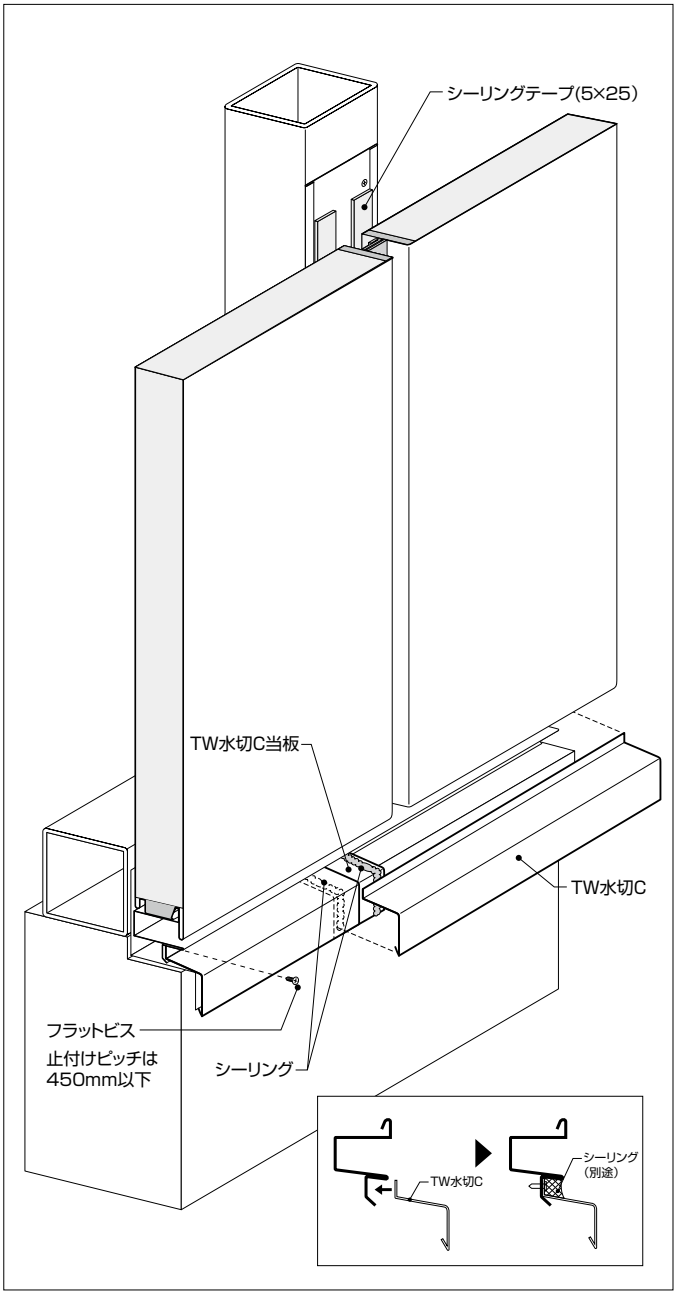
| コードNo. CF511<br>名　称 耐火フェルト(25×25) | コードNo. HJ004<br>名　称 ロックウールボード | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|
|  |  | |
| 長さ：7320mm | | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （7）TW水切C（後付タイプ）の取付

（※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。
75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

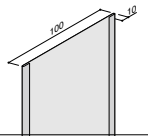
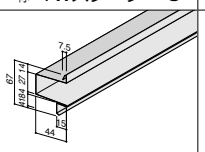
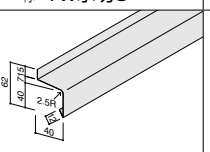
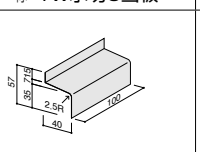
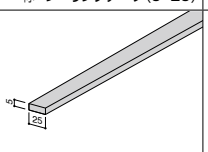
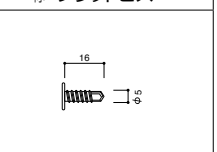
後付けタイプの水切では、スターター部材を先に取り付けて、TW水切Cはパネル施工後にスターター部材と連結するように固定します。




### 純正部材

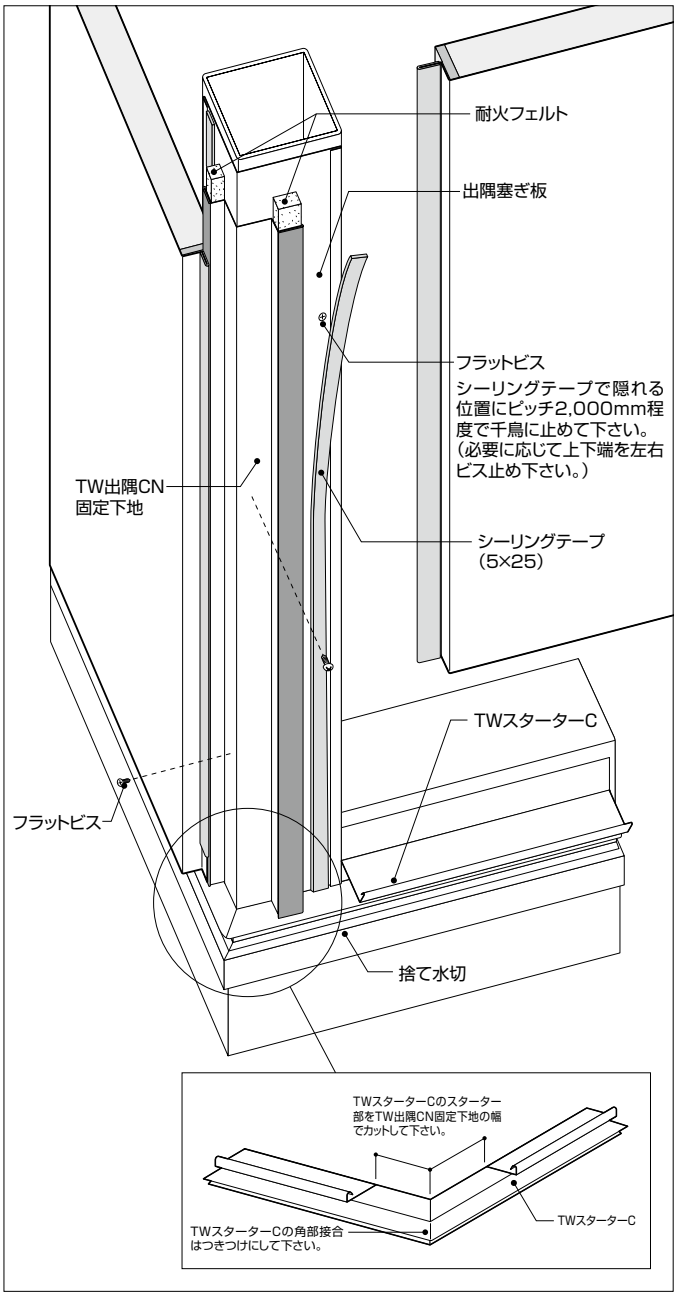
（単位：mm）

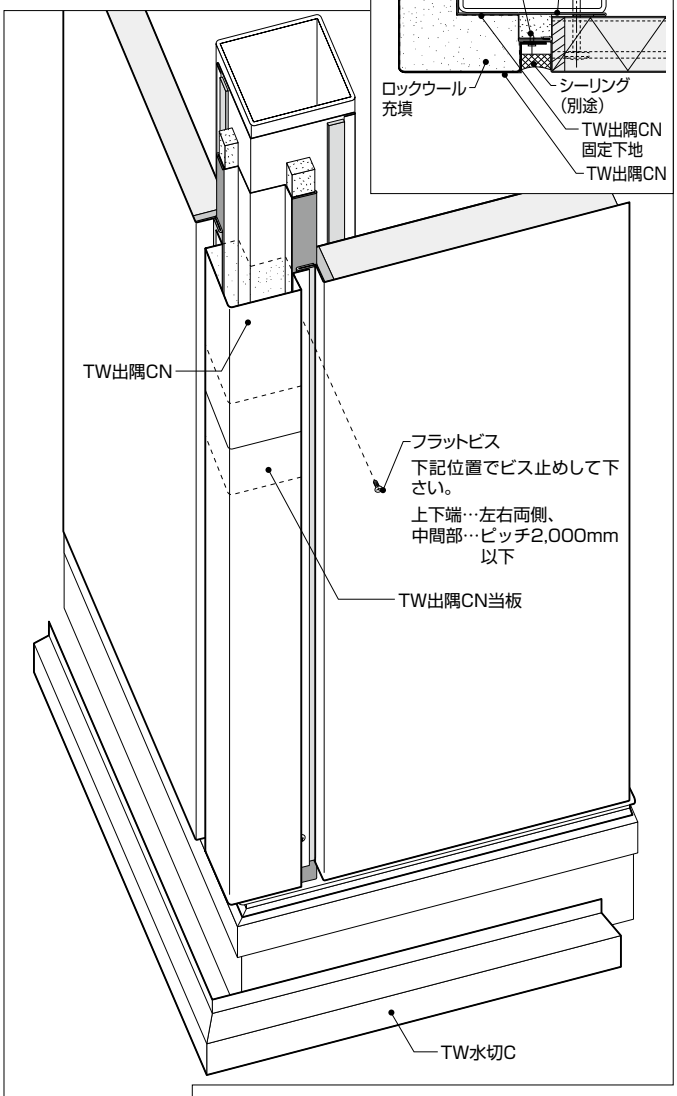
| コードNo. TA034<br>名　称 捨て板 | コードNo. ST034<br>名　称 TWスターター C | コードNo. MZ218<br>名　称 TW水切C | コードNo. MZ219<br>名　称 TW水切C当板 | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.8mm　長さ：3000mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 長さ：10m | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

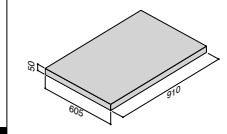
## （8）TW出隅C（後付タイプ）の取付

（※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

TW出隅CもTW水切Cと同様に、固定下地を先に取り付けて、
パネル施工後に固定下地と連結します。

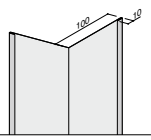
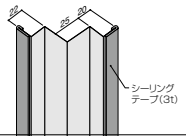
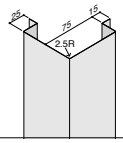
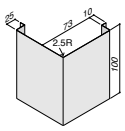
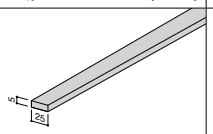
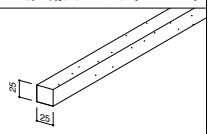



| コードNo. HJ004<br>名　称 ロックウールボード | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|
|  | |
| | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

### 純正部材

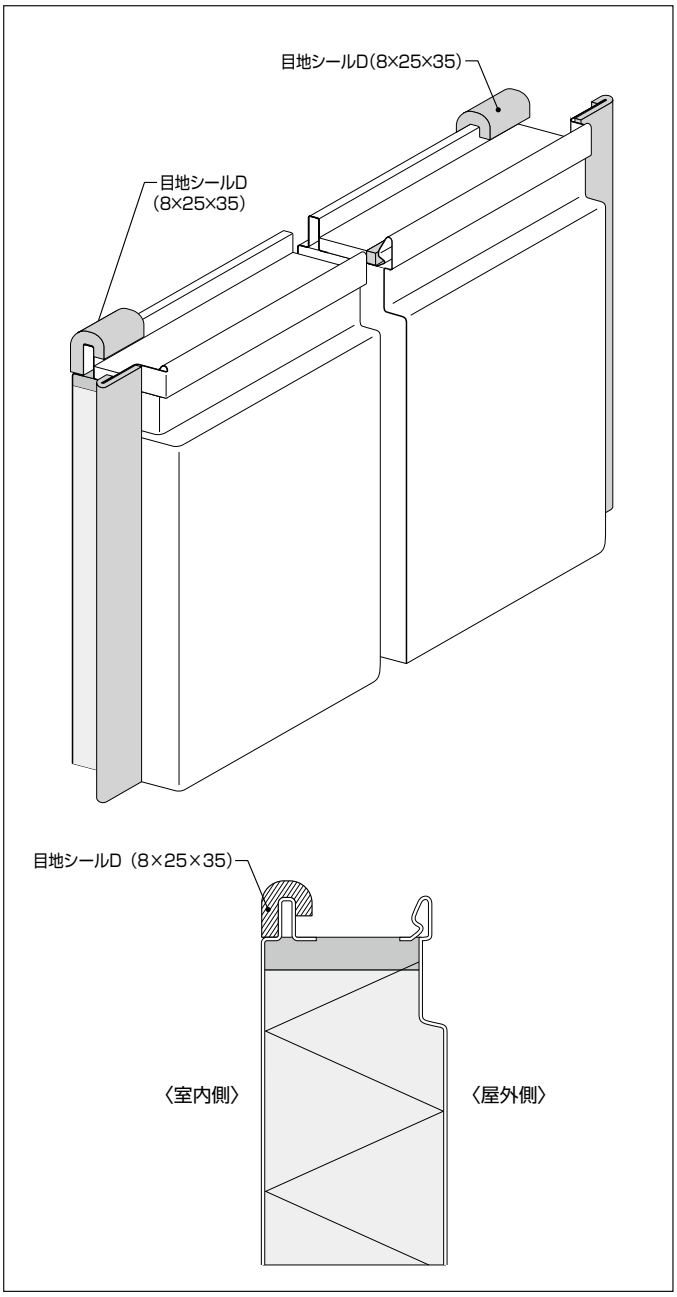
（単位：mm）

| コードNo. TA038<br>名　称 出隅塞ぎ板 | コードNo. DE148<br>名　称 TW出隅CN固定下地 | コードNo. DE144<br>名　称 TW出隅CN | コードNo. DE146<br>名　称 TW出隅CN当板 | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. CF511<br>名　称 耐火フェルト(25×25) |
|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.8mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 長さ：10m | 長さ：7320mm |

# 3.パネルの取付

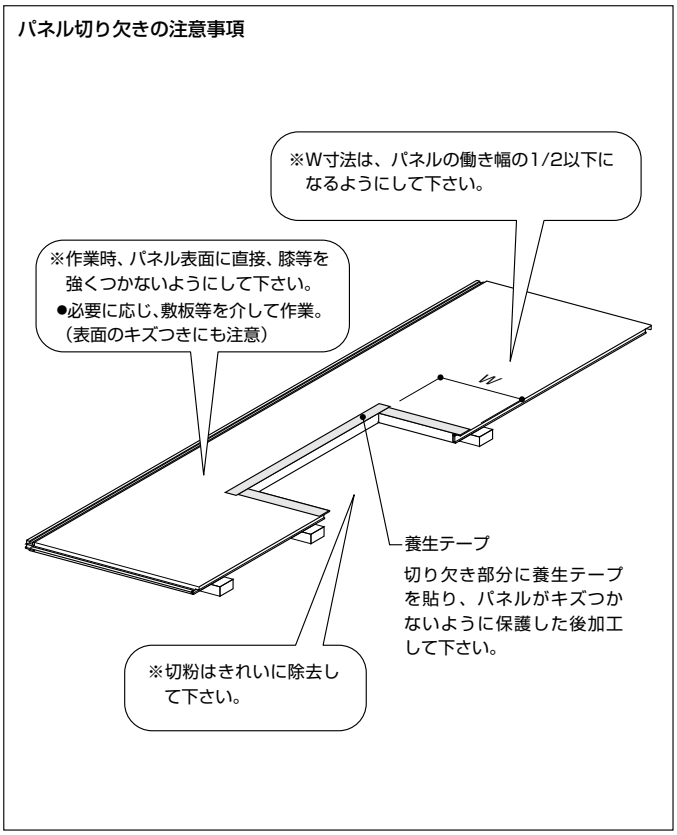
## （1）目地シールDの取付

目地シールDを取り付けます。

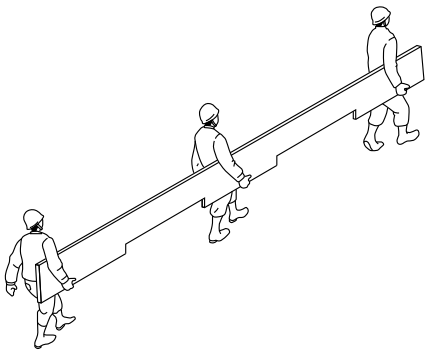



## （2）パネルの切り欠き

開口部、庇部等の取り合いで切り欠き加工が必要な場合は建て込み前に行って下さい。




※切り欠いたパネルは強度が低下していますので運搬時、建て込み時にはパネルの折れに注意して下さい。



POINT

◆目地シールの確認

・取り付け位置は正しいか

・取り付け忘れはないか

POINT

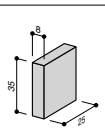
◆切り欠き加工の確認

・位置、寸法は正しいか

・切粉はきれいに除去したか

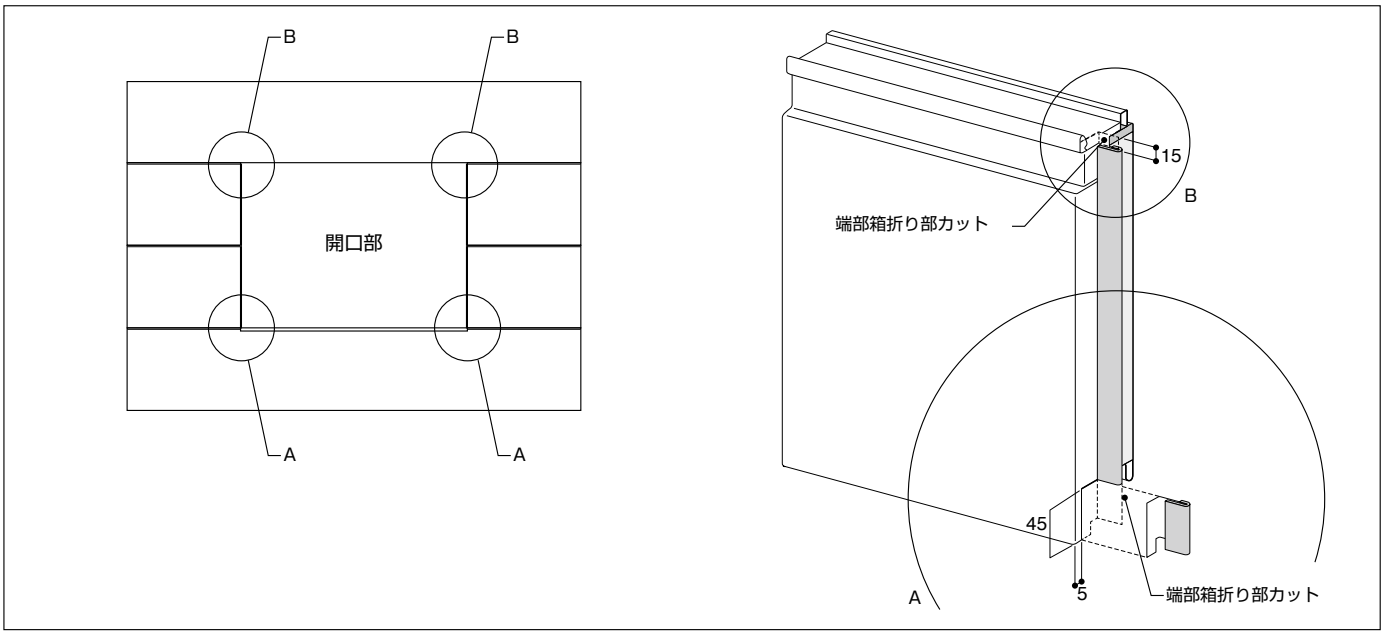
**純正部材**（単位：mm）

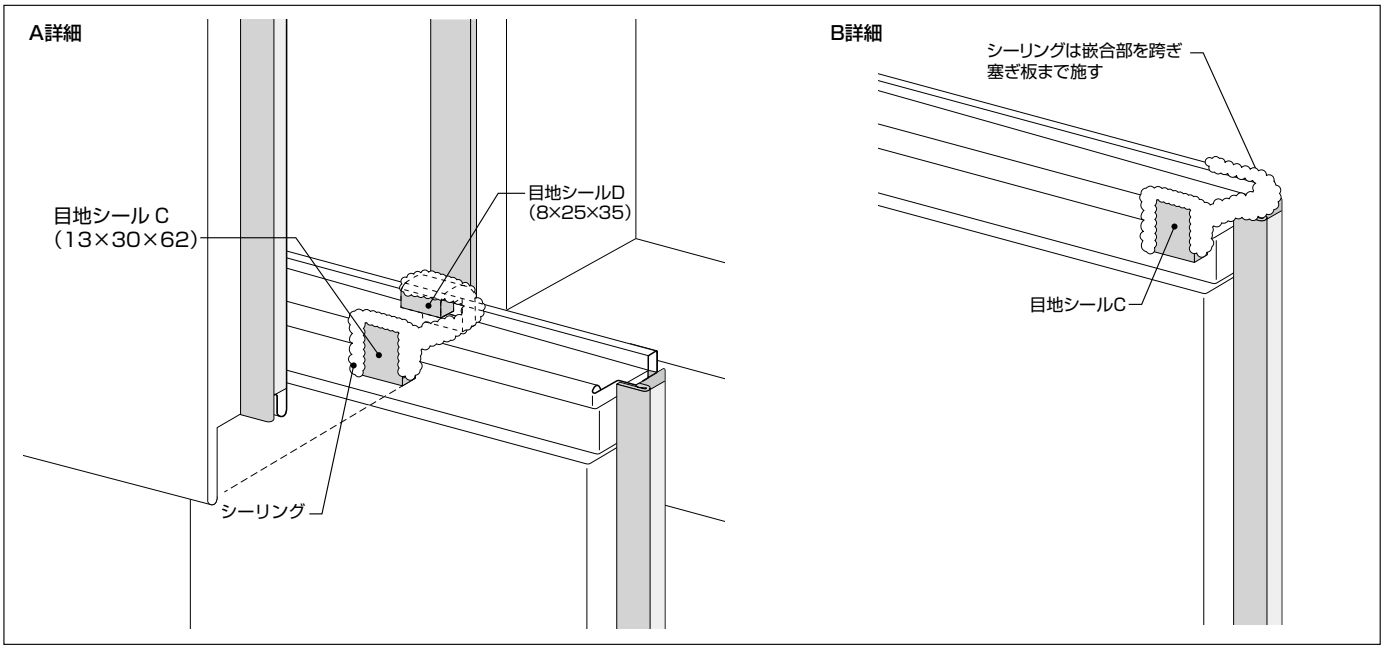
| | |
|---|---|
| コードNo. | PK046 |
| 名　　称 | 目地シールD(8×25×35) |



耐火イソバンド Pro(端部箱折りタイプ)を使用する場合、開口部(下図 A・B)では端部箱折り部を一部カットして下さい。

パネルを取り付ける際は、下のパネルに目地シールCを取り付け、周囲にシーリングを施して下さい。



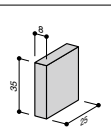
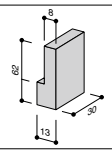

POINT

◆端部箱折り部がカットされているか

◆目地シールを取り付けたか

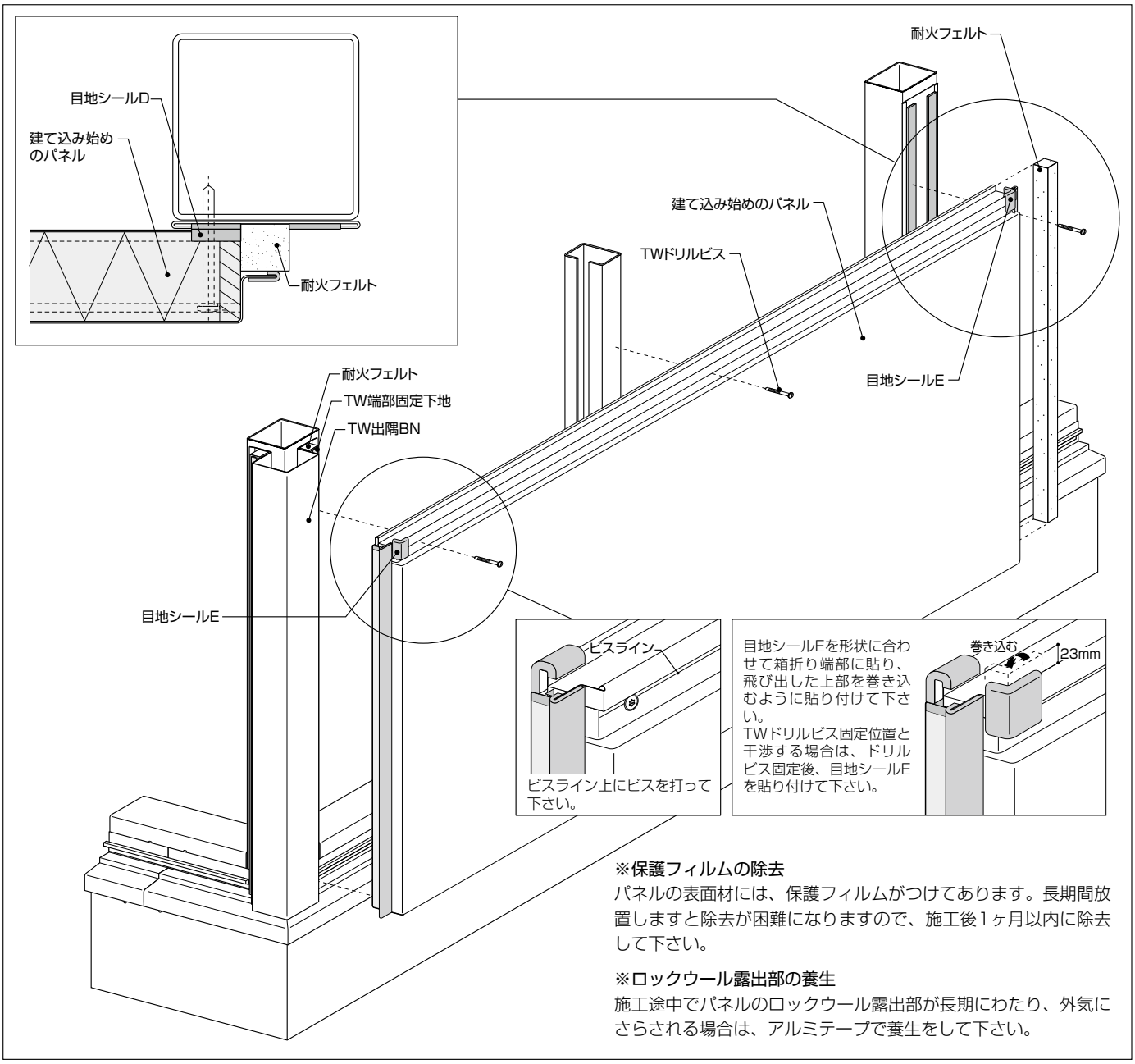
## 純正部材

(単位：mm)

| コードNo. PK046<br>名　称 目地シールD(8×25×35) | コードNo. PK044<br>名　称 目地シールC(13×30×62) |
|---|---|
|  |  |

## (3) パネルの建て込み （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

パネルを建て込んでいきます。耐火フェルトはとなりのパネルを建て込む前にパネルのつばの内側に順次挿入して下さい。




※保護フィルムの除去
パネルの表面材には、保護フィルムがつけてあります。長期間放置しますと除去が困難になりますので、施工後1ヶ月以内に除去して下さい。

※ロックウール露出部の養生
施工途中でパネルのロックウール露出部が長期にわたり、外気にさらされる場合は、アルミテープで養生をして下さい。

POINT

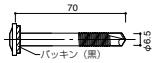
◆割付図通りのパネルか
◆建て込み時の養生は十分か

POINT

◆TWドリルビスの確認 ※当社指定のビスをご使用下さい。
・固定し忘れはないか、固定する位置は正しいか
・TWドリルビスのサイズは正しいか
パネル厚50mm用：φ6.5× 70L（FS306）
パネル厚75mm用：φ6.5× 100L（FS302）
・ビスパッキンの色が正しいか（黒）
◆切粉や石膏ボードの切り屑は清掃したか

### 純正部材

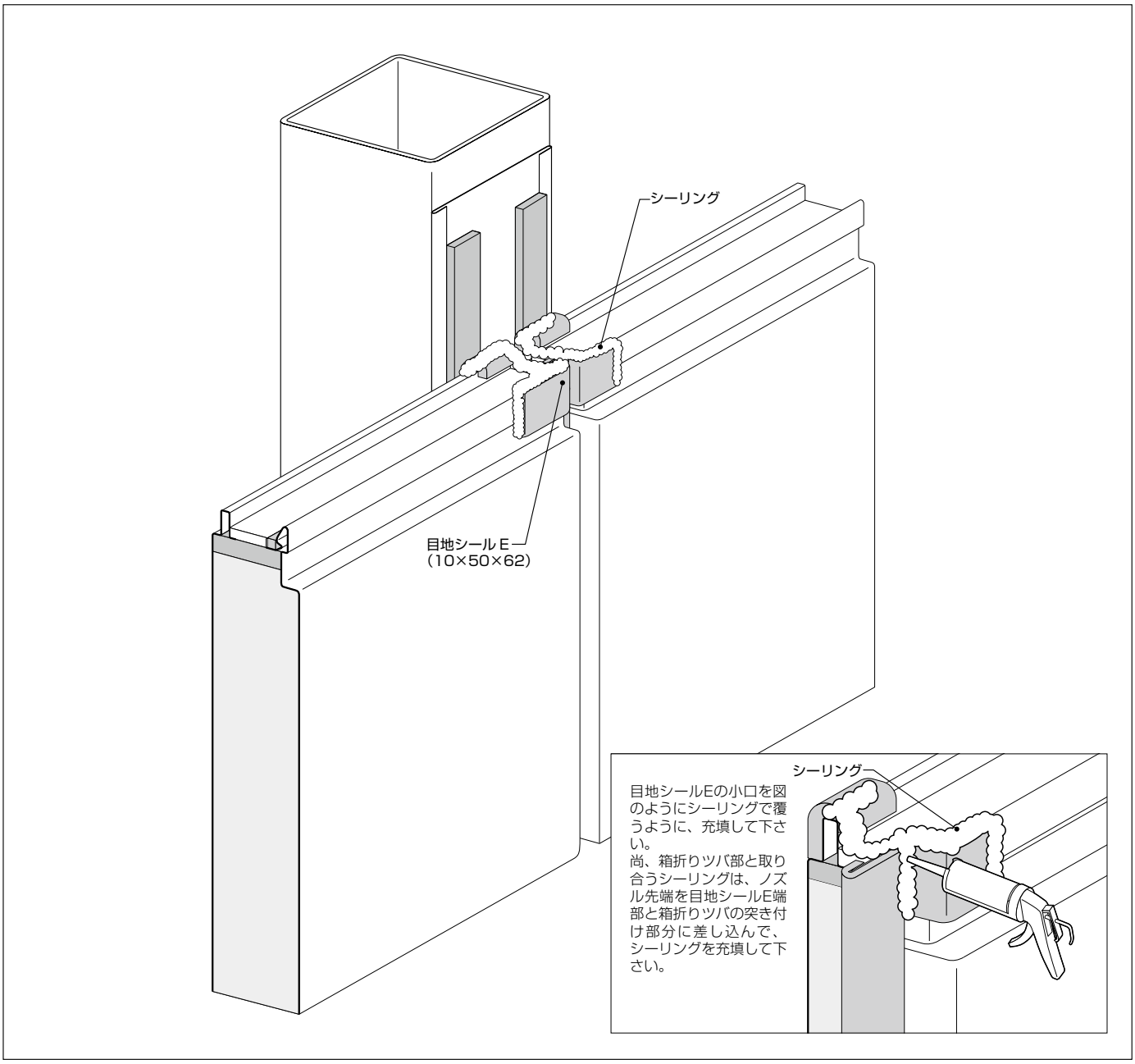
（単位：mm）

| コードNo. HJ002<br>名　称 アルミテープ | コードNo. FS306<br>名　称 TWドリルビス(嵌合・平面用) |
|---|---|
| |  |
| 長さ：20m | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （4）縦ジョイント部の施工

目地シールEをパネルの端部箱折り部形状に合わせて貼り付けます。目地シールEは適切な位置に貼り付けて下さい。

目地シールEを取り付け後、シーリングを下図のように行って下さい。



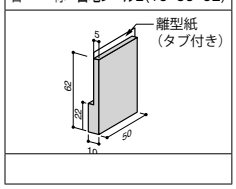

POINT

◆目地シールの確認
- 貼り付け位置は正しいか
- 貼り付け忘れはないか

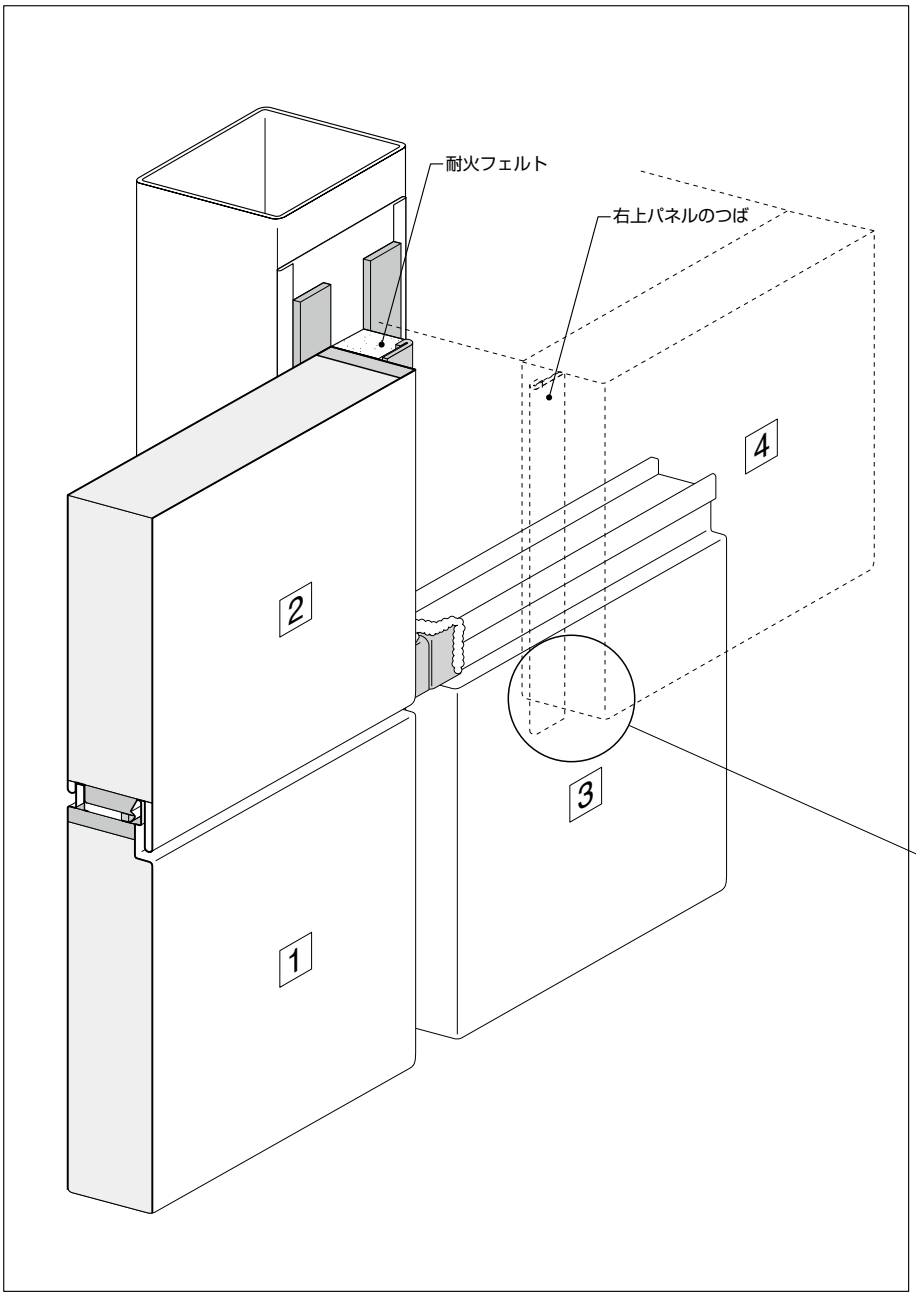
◆シーリングの確認
- 位置は正しいか
- 充填忘れはないか

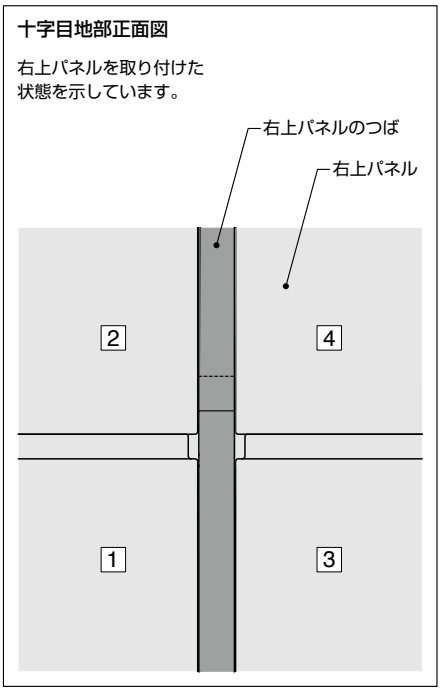
**純正部材**　（単位：mm）

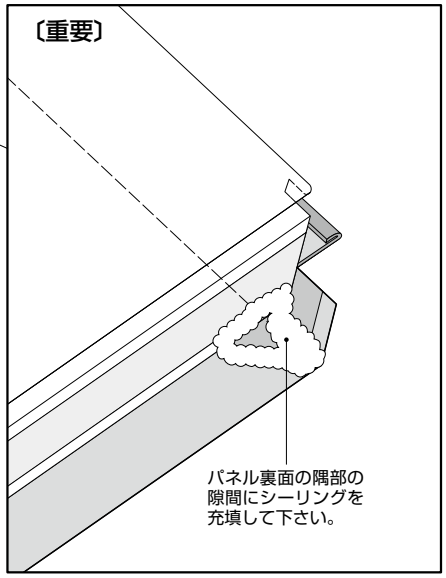
| | |
|---|---|
| コードNo. | PK047 |
| 名　　称 | 目地シールE(10×50×62) |



耐火イソバンドProの施工は壁に向かって左から右へ1→2→3→4の順に、
縦ジョイント部の重ね逃げに注意し施工して下さい。

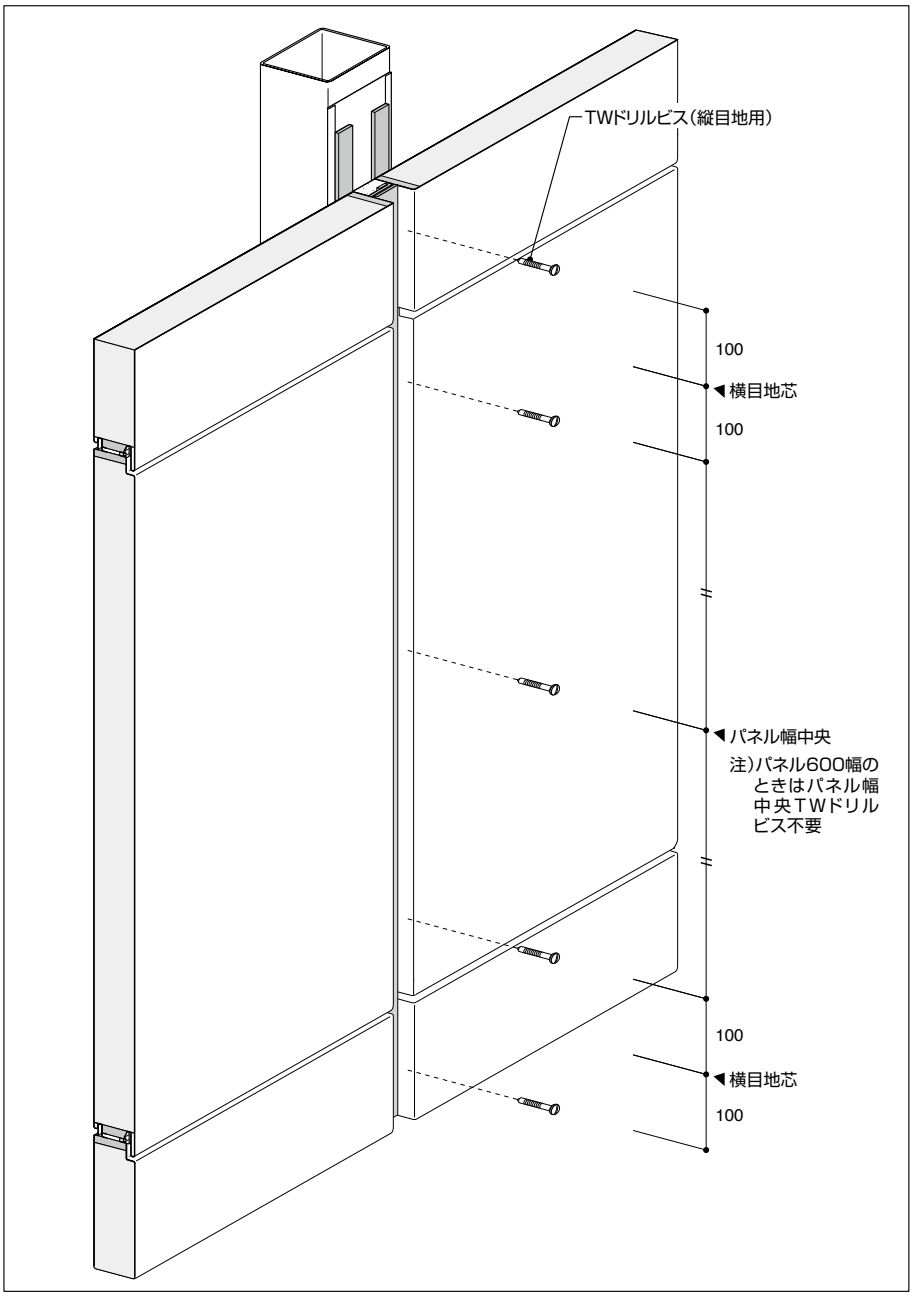


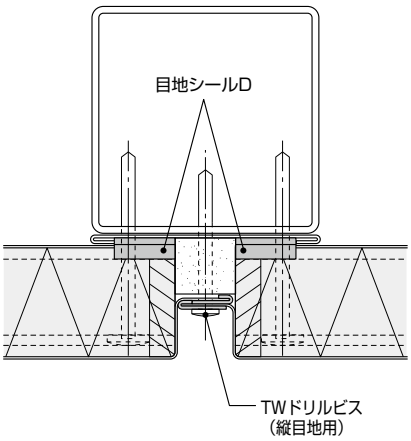



（※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

左右のパネルがセットされた後に、縦目地のつばをTWドリルビス（縦目地用）で固定します。




縦ジョイント部断面図




POINT

◆TWドリルビスの確認　※当社指定のビスをご使用下さい。

・固定し忘れはないか、固定する位置は正しいか

・TWドリルビスのサイズは正しいか

パネル厚50mm用：φ6×45L（FS307）

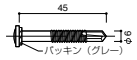
パネル厚75mm用：φ6×75L（FS304）

・ビスパッキンの色が正しいか（グレー）

◆切粉や石膏ボードの切り屑は清掃したか

**純正部材**　（単位：mm）

| | |
|---|---|
| コードNo. | FS307 |
| 名　　称 | TWドリルビス（縦目地用） |



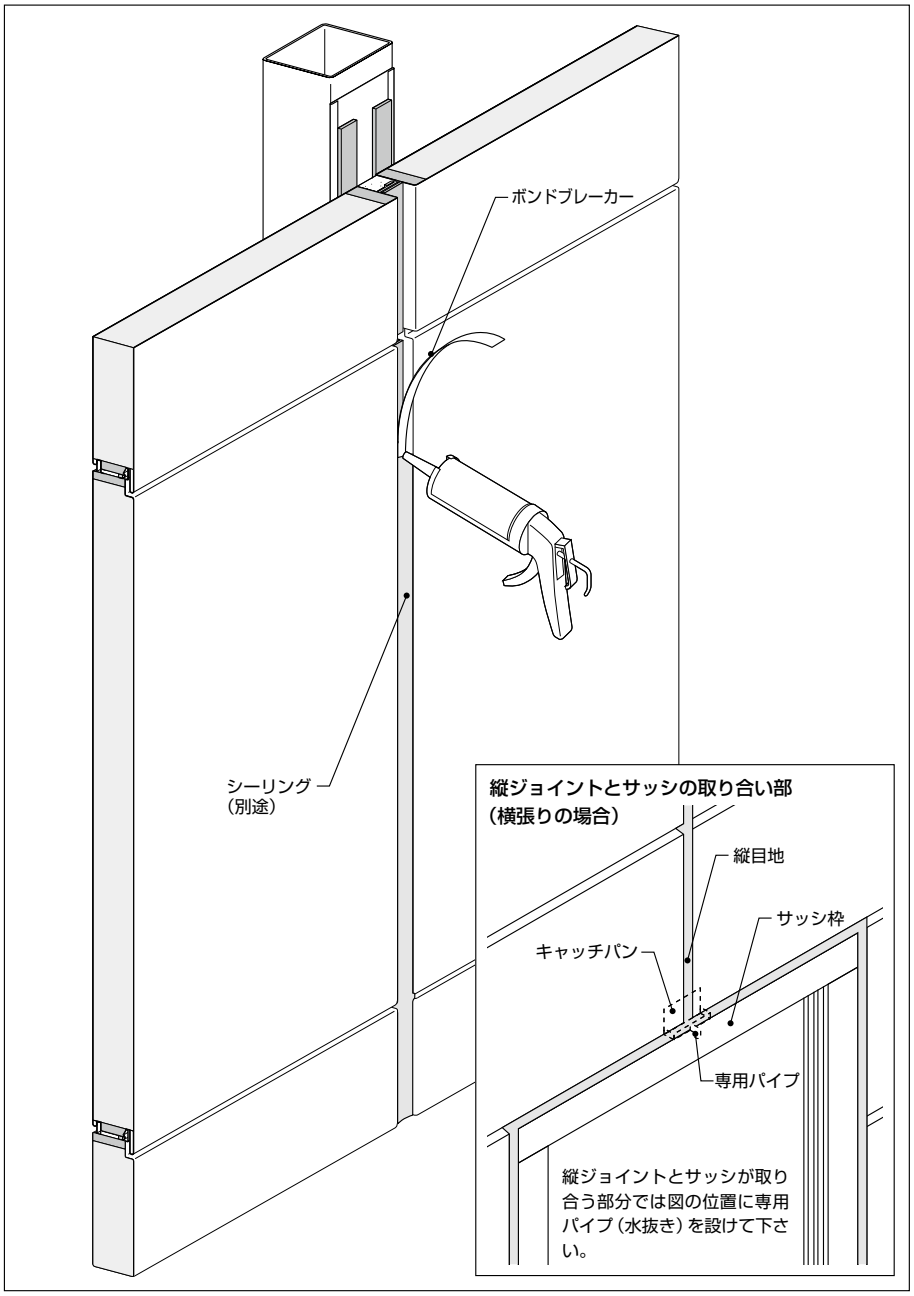

材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理

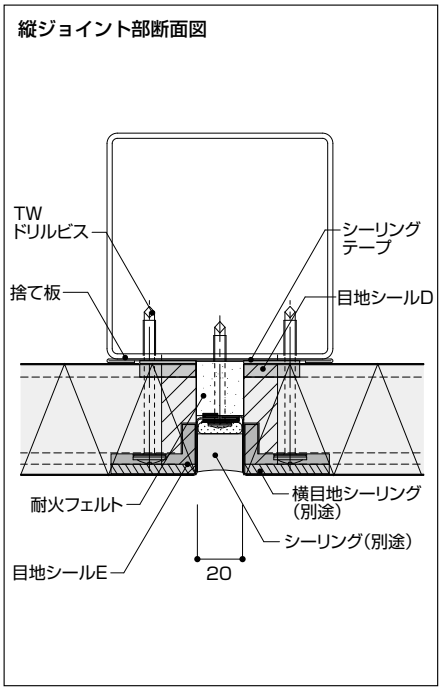
# 4.各部の仕舞

## （1）縦ジョイント部の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

ボンドブレーカーを充填して、シーリングを行います。






POINT

◆シーリング部の確認
・付着物、汚れはないか

◆シーリングの確認
・シーリングの切れ、充填不足はないか

⚠シーリングについて

◆ボンドブレーカーは 5mm 以下の薄手のものを使用して下さい。

◆プライマーは使用するシーリングに適応したものを選定して下さい。

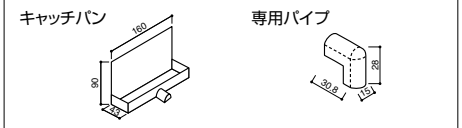
◆特にフッ素塗装鋼板外皮の場合、接着性をより確実にするため、バフがけの実施を推奨します。

◆シーリング材・プライマーの選定に際しては別途『設計・技術資料』をご参照下さい。

### 純正部材

（単位：mm）

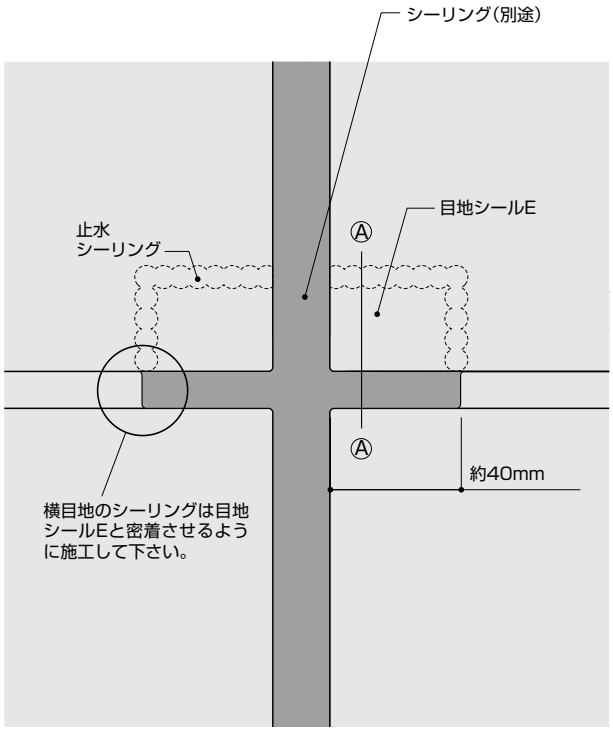
コードNo. PK203・PK204
名　称 キャッチパン




材質：樹脂

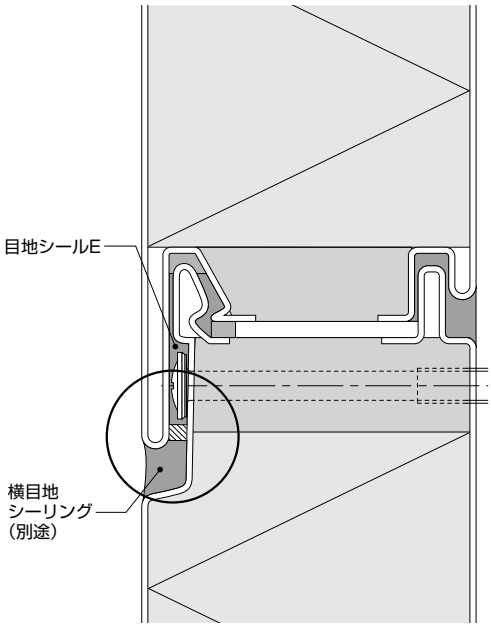
## ※横目地シーリングの注意点

**十字目地部正面図**




**横目地シーリングの打ち方**

横目地シーリングは目地シールEへ密着させるように奥まで詰めるよう施工して下さい。



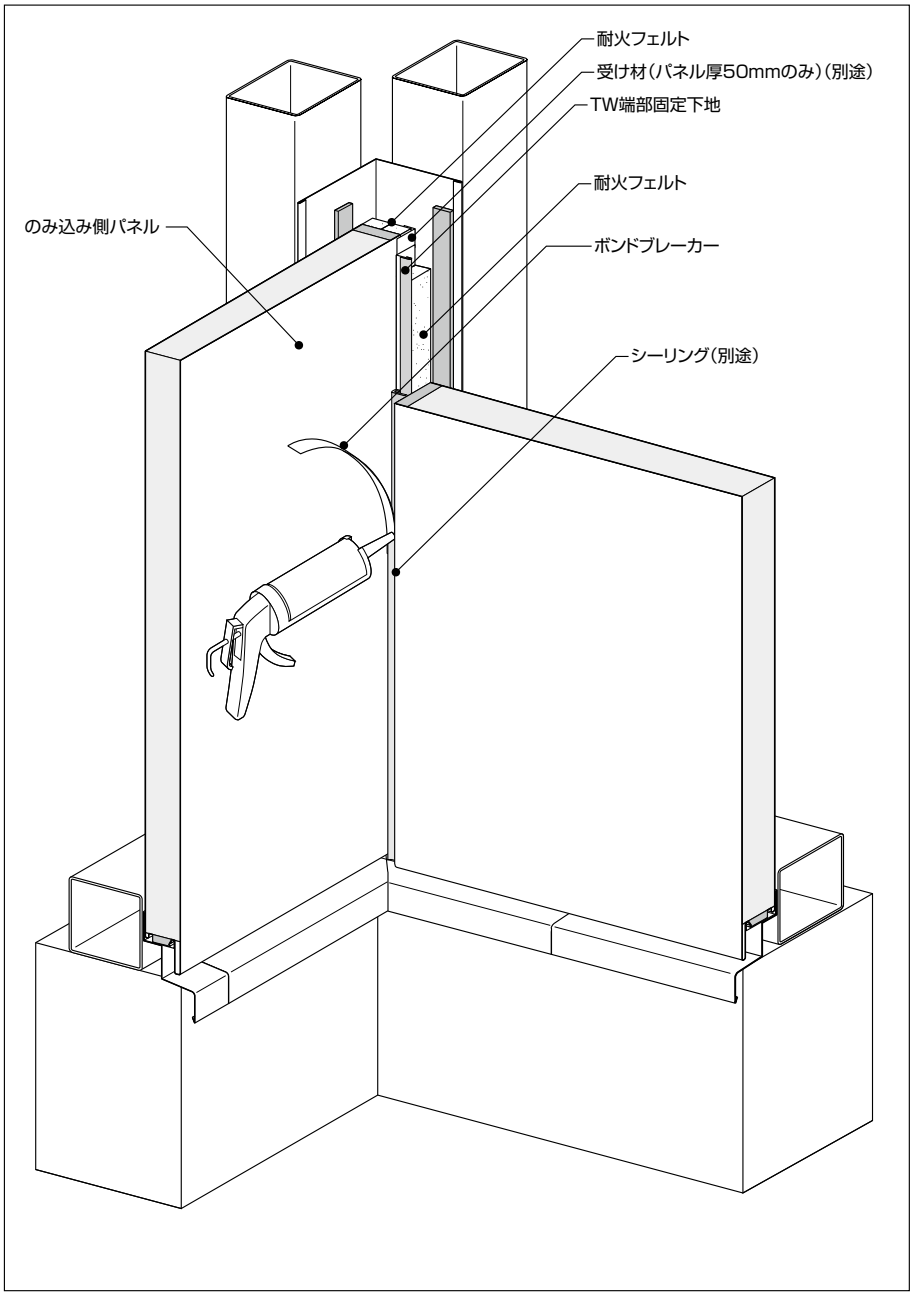

※○の部分に空隙ができないように注意

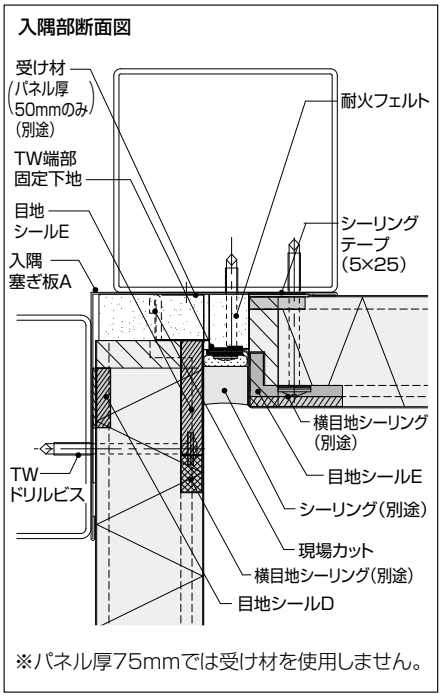
**【Ⓐ－Ⓐ断面図】**

## （2）入隅の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

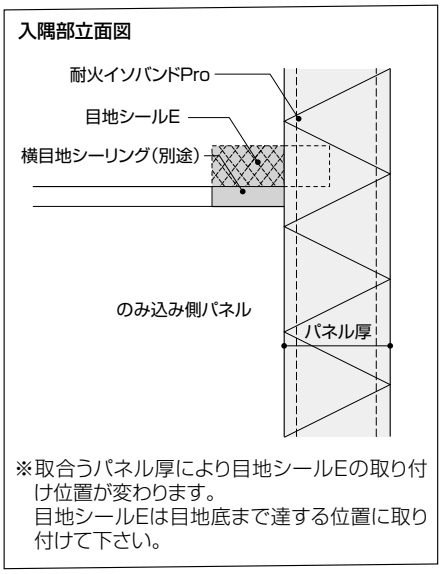
のみ込み側のパネルの箱折り部分を事前にカットし先に建て込みます。耐火フェルトを挿入し、TW端部固定下地を取り付け更に耐火フェルトを挿入し、もう一方のパネルを建て込みます。

パネル厚50mmでは、TW端部固定下地の取り付け用に受け材の準備が必要です。次に縦目地を固定した後、ボンドブレーカーを充填しシーリングを行います。




※パネル厚75mmでは受け材を使用しません。




※取合うパネル厚により目地シールEの取り付け位置が変わります。
目地シールEは目地底まで達する位置に取り付けて下さい。

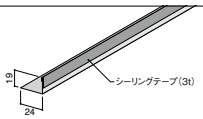
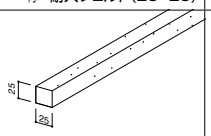
### POINT

◆シーリング部の確認
・付着物、汚れはないか

◆シーリングの確認
・シーリングの切れ、充填不足はないか

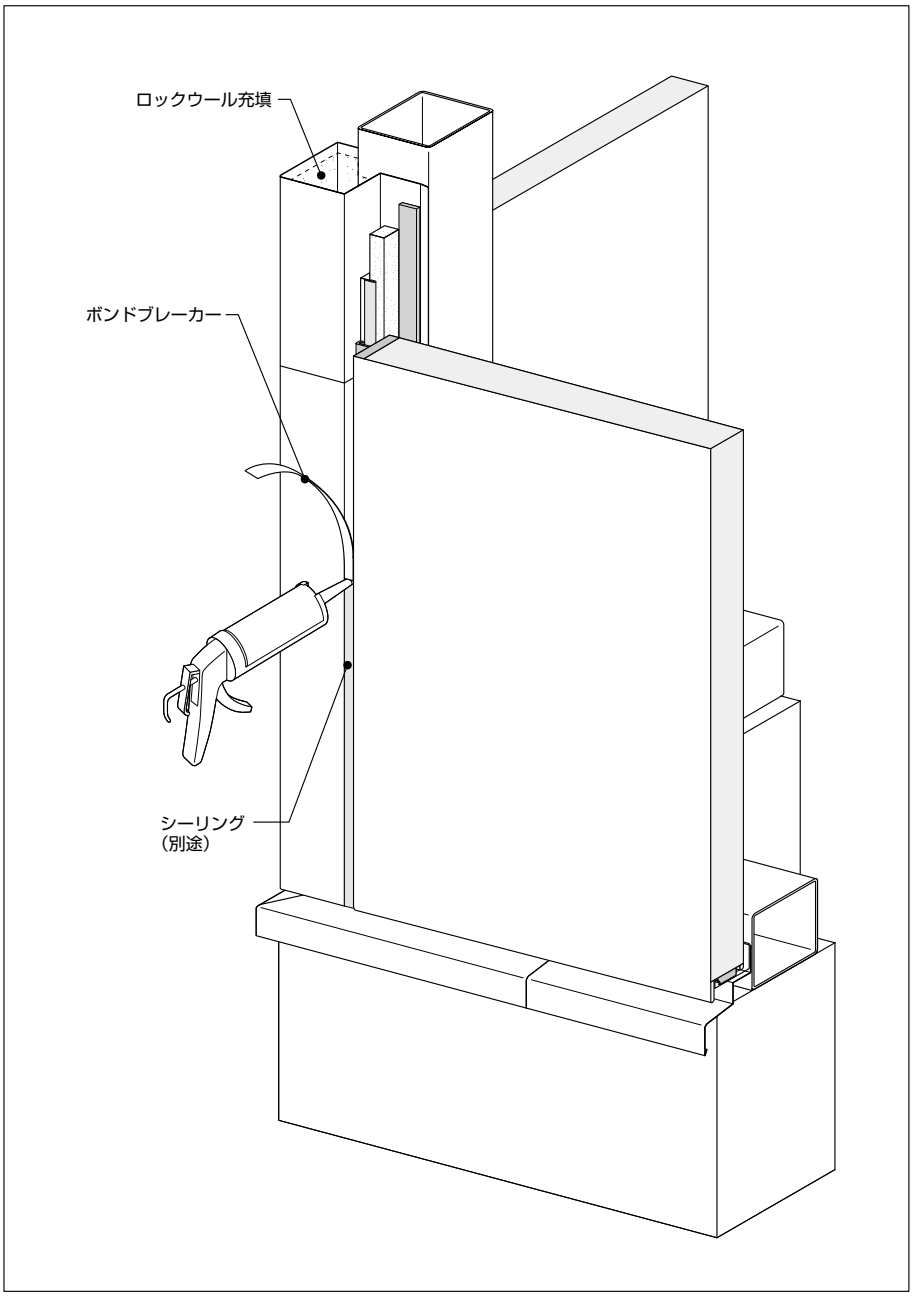
### 純正部材

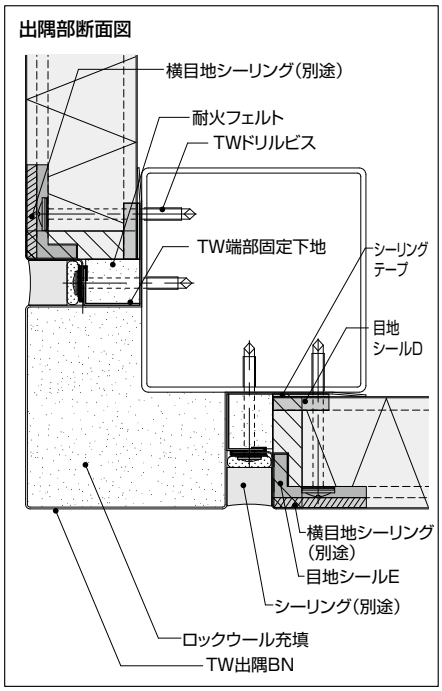
（単位：mm）

| コードNo. TA090<br>名　称 TW端部固定下地 | コードNo. CF511<br>名　称 耐火フェルト(25×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|
|  |  | |
| 板厚：0.8mm　長さ：4000mm | 長さ：7320mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （3）出隅の仕舞

縦目地をTWドリルビス（縦目地用）で固定した後、ボンドブレーカーを充填しシーリングを行います。




POINT

◆シーリング部の確認

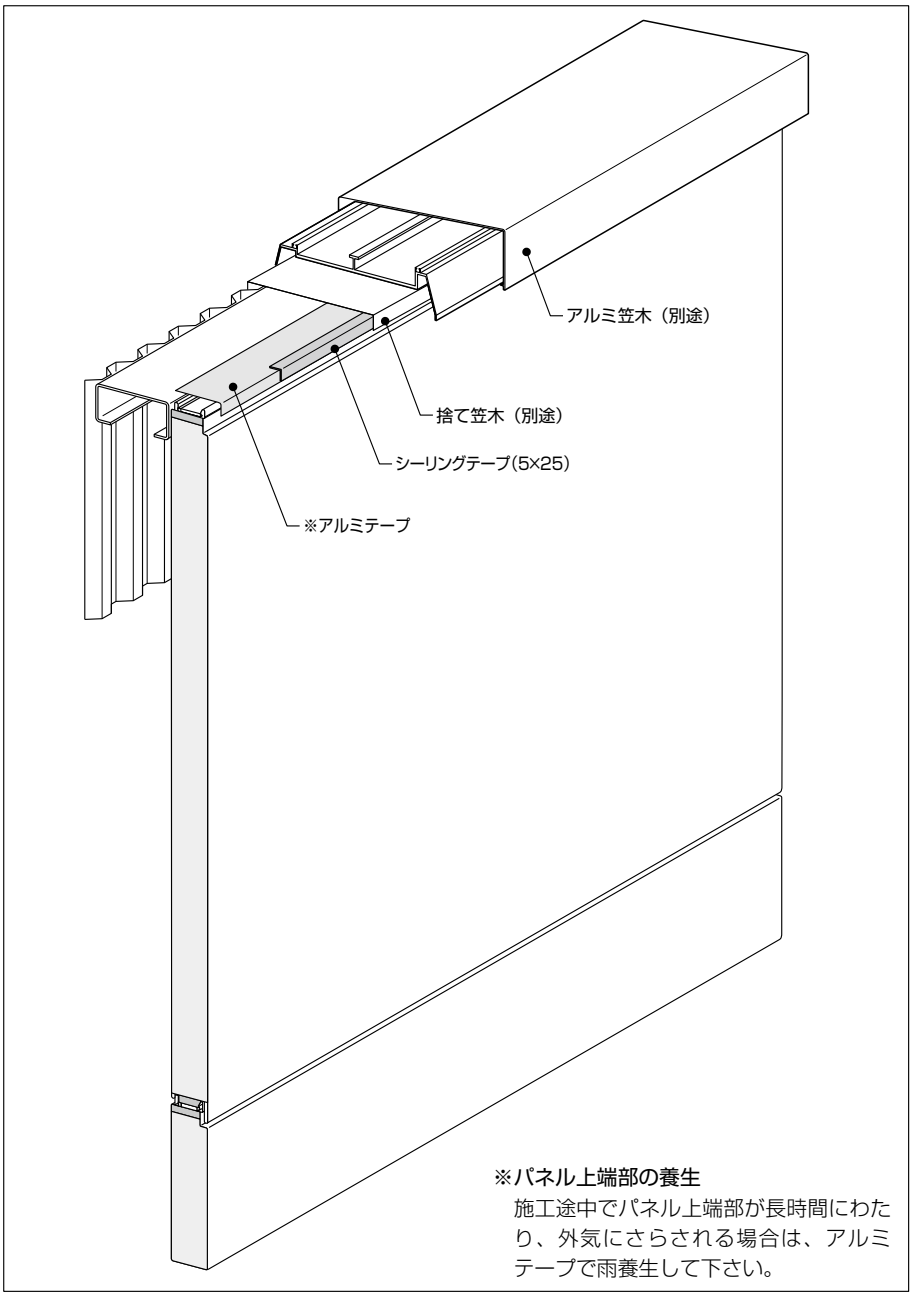
・付着物、汚れはないか

◆シーリングの確認

・シーリングの切れ、充填不足はないか

## （4）笠木の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.18～P.23をご参照下さい。）

アルミ笠木（別途工事）を使用する場合は、パネル上部側面にシーリングテープを貼ってから捨て笠木（別途工事）をビス止めします。




※パネル上端部の養生
施工途中でパネル上端部が長時間にわたり、外気にさらされる場合は、アルミテープで雨養生して下さい。

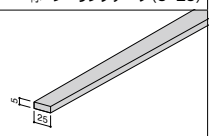
POINT

◆捨て笠木の確認

・シーリングテープを取り付けたか

### 純正部材

（単位：mm）

| コードNo. HJ002<br>名　称 アルミテープ | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) |
|---|---|
| |  |
| 長さ：20m | 長さ：10m |

# 4

# 施工・縦張り

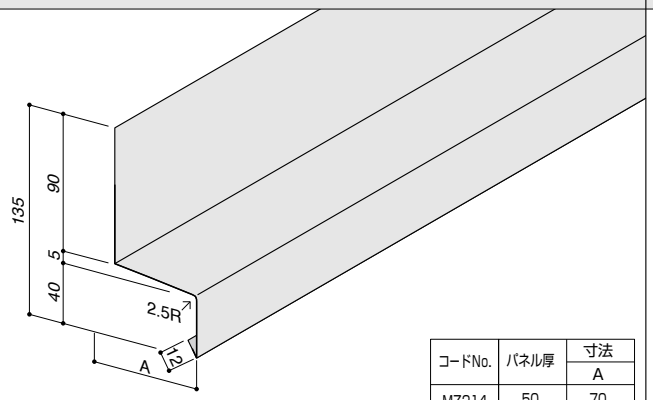
# 1.純正部材

（⚠ 当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。）

## （1）縦張り用

（単位：mm）

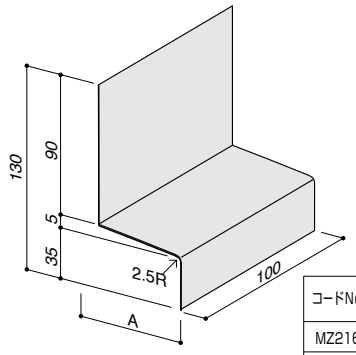
コードNo.　MZ214・MZ215
名　称　TW水切B




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| MZ214 | 50 | 70 |
| MZ215 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

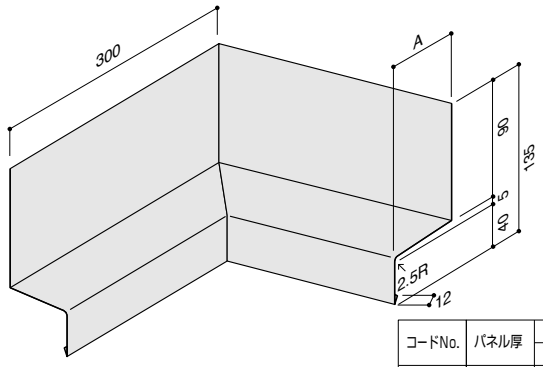
コードNo.　MZ216・MZ217
名　称　TW水切B当板




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| MZ216 | 50 | 70 |
| MZ217 | 75 | 95 |

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

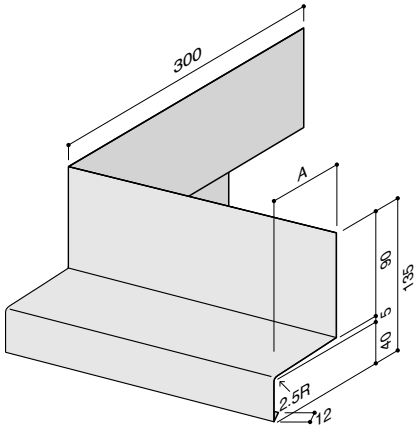
コードNo.　RM064・RM065
名　称　TW入隅コーナー水切B




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| RM064 | 50 | 70 |
| RM065 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

コードNo.　RM066・RM067
名　称　TW出隅コーナー水切B

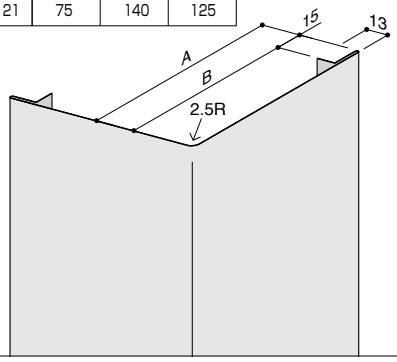



| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| RM066 | 50 | 70 |
| RM067 | 75 | 95 |

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm

コードNo.　DE120・DE121
名　称　TW出隅A

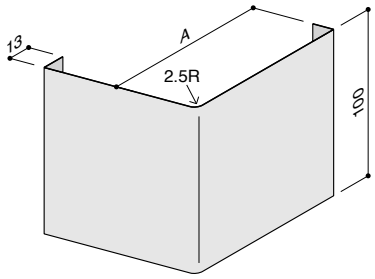
| コードNo. | パネル厚 | 寸法 | |
|---|---|---|---|
| | | A | B |
| DE120 | 50 | 115 | 100 |
| DE121 | 75 | 140 | 125 |




原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

コードNo.　DE122・DE123
名　称　TW出隅A当板

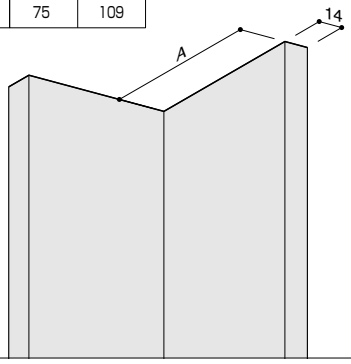
| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| DE122 | 50 | 99 |
| DE123 | 75 | 124 |




板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　DE124・DE125
名　称　TW出隅A固定下地

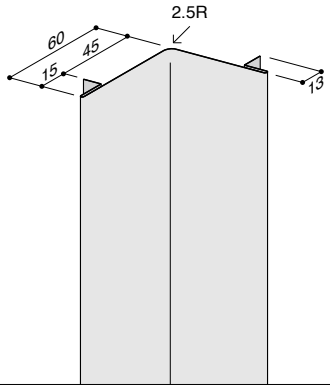
| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| DE124 | 50 | 84 |
| DE125 | 75 | 109 |




板厚：0.8mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

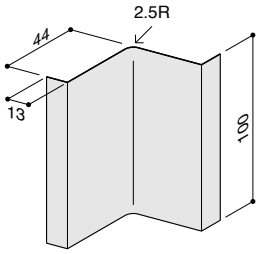
（単位：mm）

コードNo.　IR010
名　称　TW入隅A



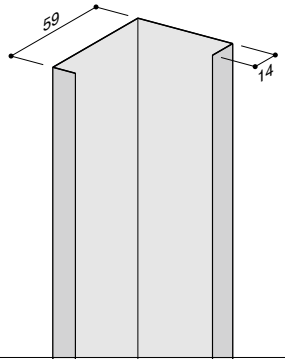

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

コードNo.　IR011
名　称　TW入隅A当板



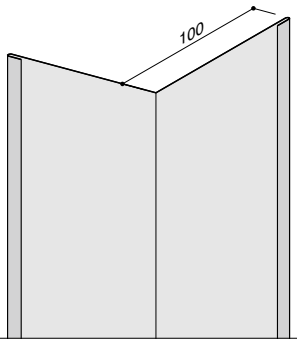

板厚：0.5mm
長さ：100mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

コードNo.　IR012
名　称　TW入隅A固定下地




板厚：0.8mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

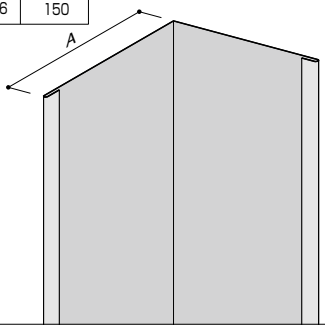
コードNo.　TA038
名　称　出隅塞ぎ板




板厚：0.5mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

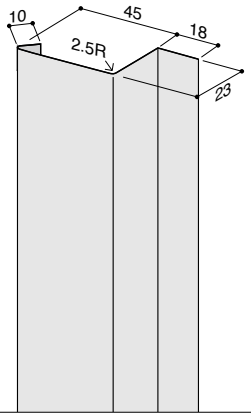
コードNo.　TA084・TA085・TA086
名　称　入隅塞ぎ板A

| コードNo. | 寸法 |
|---|---|
| | A |
| TA084 | 110 |
| TA085 | 135 |
| TA086 | 150 |



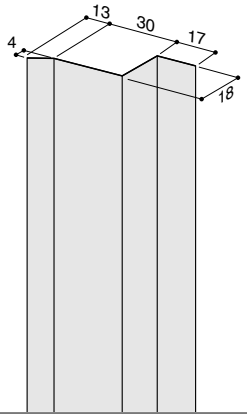

原板：ポリエステル系塗装GL
板厚：0.5mm　長さ：4000mm
注）色相はパネル内皮色と同色をご指定下さい。

コードNo.　MK020
名　称　TW見切り



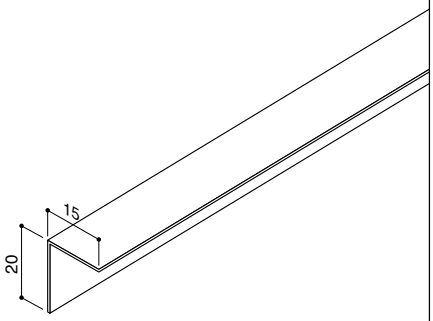

原板：フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL
板厚：0.5mm
長さ：4000mm

コードNo.　MK021
名　称　TW見切り固定下地




板厚：0.8mm
長さ：4000mm
注）原板、色相については当社にて任意に選定します。

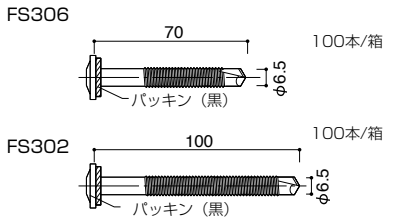
コードNo.　TA093
名　称　自重受けB




材質：ガルバリウム鋼板またはSGL鋼板
板厚：1.2mm
長さ：3700mm

## (2) ビス・パッキン類

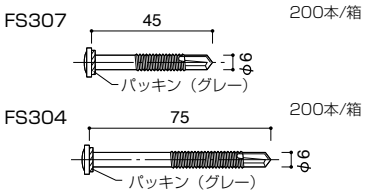
コードNo.　FS306・FS302
名　称　TWドリルビス（嵌合・平面用）




| コードNo. | パネル厚 |
|---|---|
| FS306 | 50 |
| FS302 | 75 |

材質：スチール　表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
注）取り付け用ビットは1箱に1本入っています。
※イソバンドBL-H/BL用のビットは流用できません。

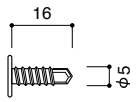
コードNo.　FS307・FS304
名　称　TWドリルビス（縦目地用）




| コードNo. | パネル厚 |
|---|---|
| FS307 | 50 |
| FS304 | 75 |

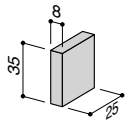
材質：スチール　表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
注）取り付け用ビットは1箱に1本入っています。
※イソバンドBL-H/BL用のビットは流用できません。

コードNo.　FS135
名　称　フラットビス



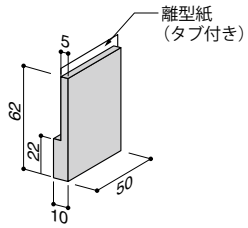

500本/箱
材質：スチール
表面処理：亜鉛浸漬被覆処理

コードNo.　PK046
名　称　目地シールD（8×25×35）



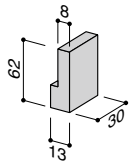

90個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK047
名　称　目地シールE（10×50×62）



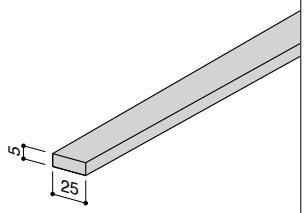

100個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK044
名　称　目地シールC（13×30×62）



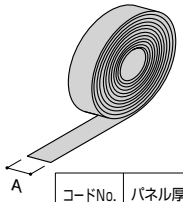

100個/ロット
材質：発泡ポリウレタン

コードNo.　PK040
名　称　シーリングテープ（5×25）




長さ：10m
材質：発泡ポリウレタン

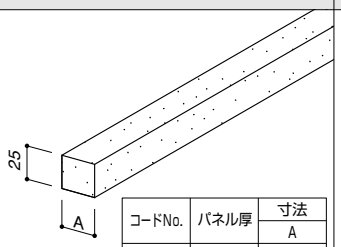
コードNo.　HJ002・HJ003
名　称　アルミテープ




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| HJ002 | 50 | 75 |
| HJ003 | 75 | 100 |

長さ：20m巻

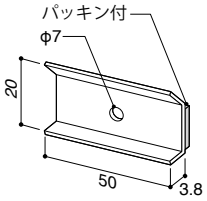
コードNo.　CF511・CF512
名　称　耐火フェルト




| コードNo. | パネル厚 | 寸法 |
|---|---|---|
| | | A |
| CF511 | 50 | 25 |
| CF512 | 75 | 50 |

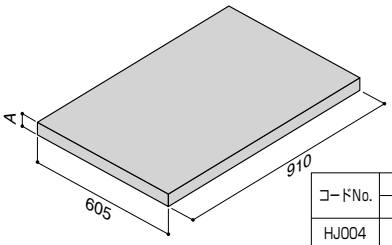
材質：人造非晶質繊維
長さ：7320mm

コードNo.　FS305
名　称　TW補強座金




材質：スチール
表面処理：亜鉛浸漬被覆処理
板厚：1.2mm

コードNo.　HJ004・HJ005
名　称　ロックウールボード



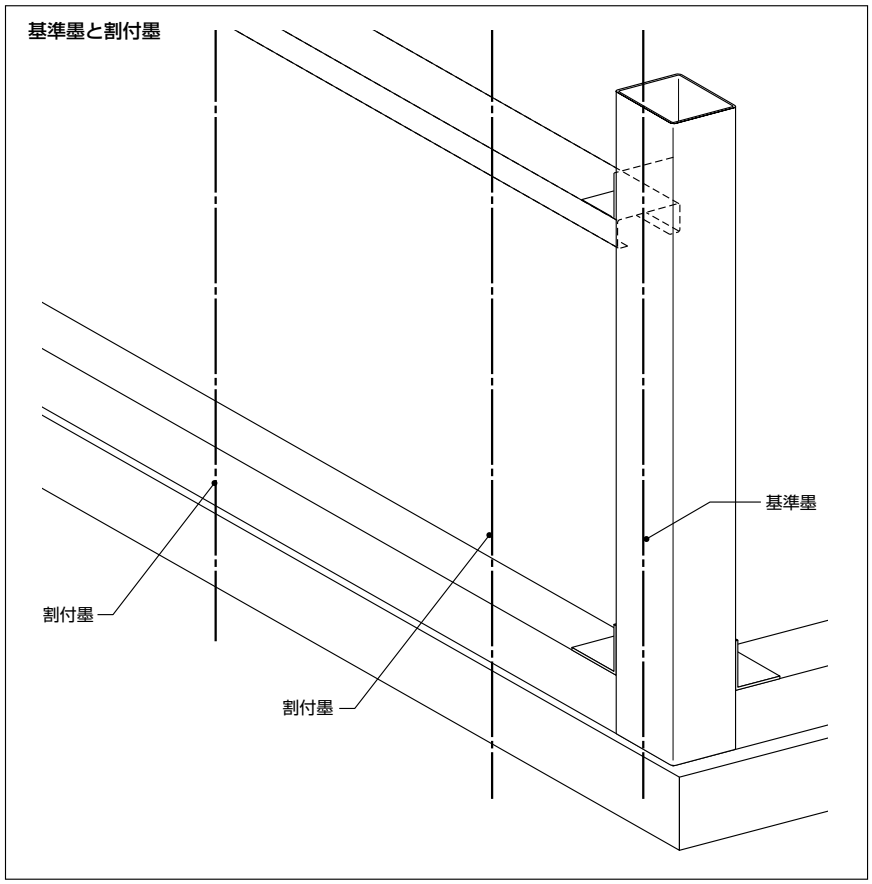

| コードNo. | 寸法 |
|---|---|
| | A |
| HJ004 | 50 |
| HJ005 | 75 |

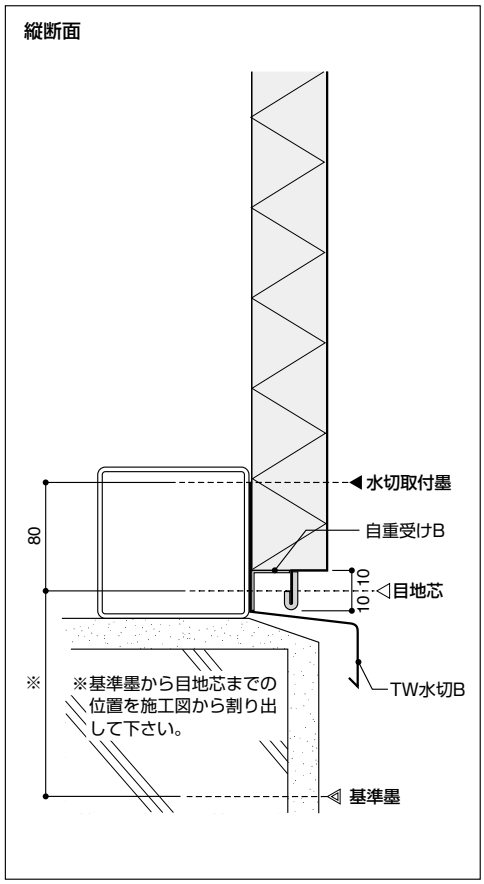
50mm　6枚/梱包
75mm　4枚/梱包

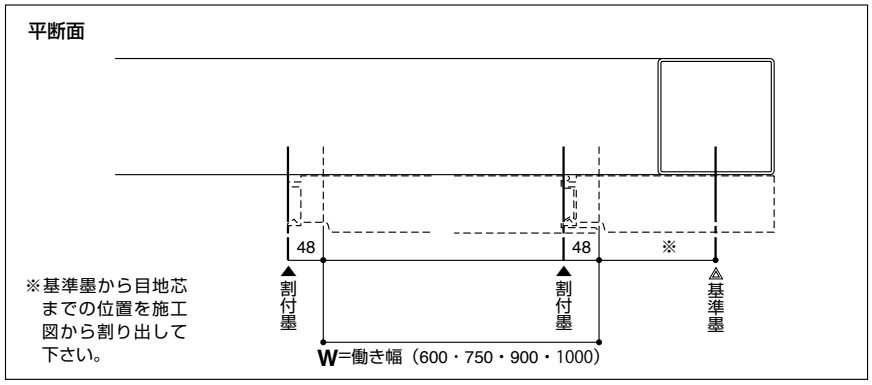
# 2.縦張りの施工

## （1）墨出し

基準墨に従って、パネルの割付墨を下地胴縁等に正確に打って下さい。
基準墨はゼネコン担当者に依頼して下さい。




POINT

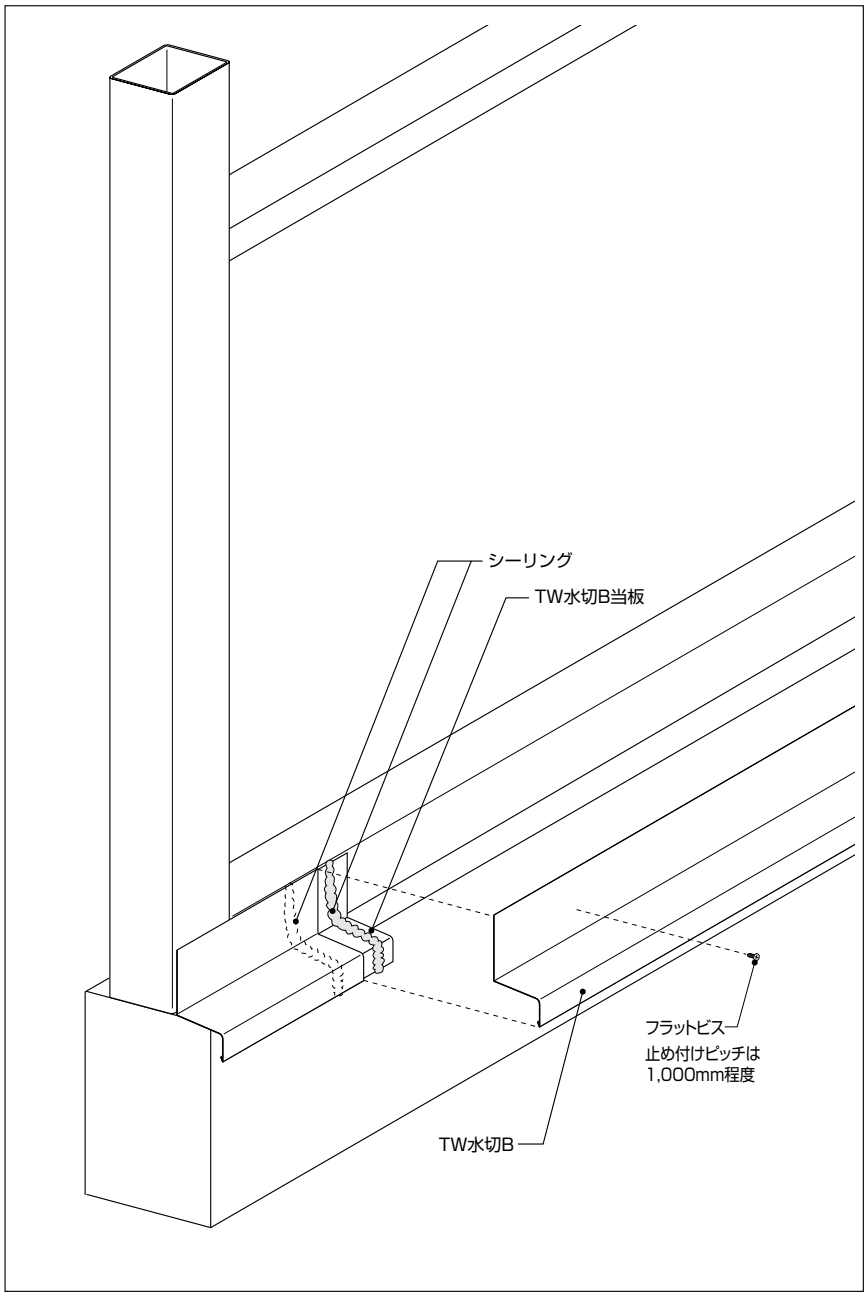
◆現場割付の確認

・施工図通りに施工できるか

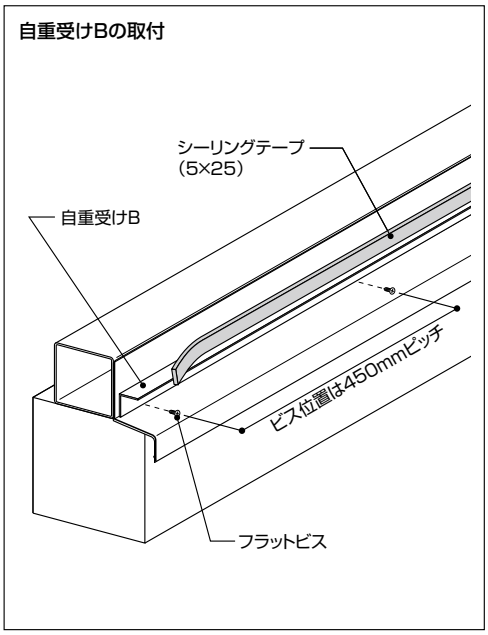
（施工図に変更の必要がある場合には、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ます。）

## （2）水切の取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

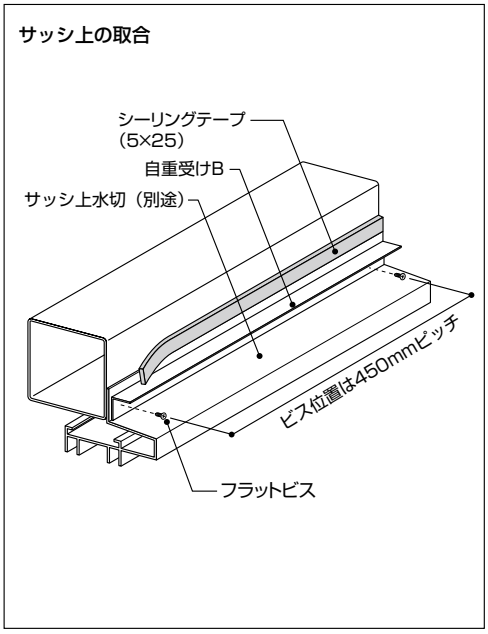
打たれた墨に従って、水切を取り付けます。ジョイント部は当板にシーリングをしてジョイントして下さい。
次に、水切に自重受けとシーリングテープを下図のように取り付けて下さい。




自重受けBの取付




サッシ上の取合



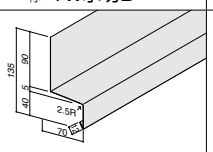
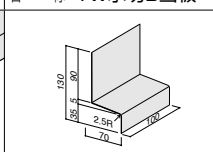
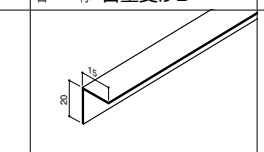
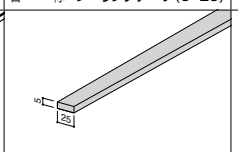
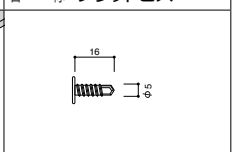

**POINT**

◆シーリングの確認
・当板にシーリングを施したか

◆自重受けの確認
・ビスピッチは450mm以下か

### 純正部材

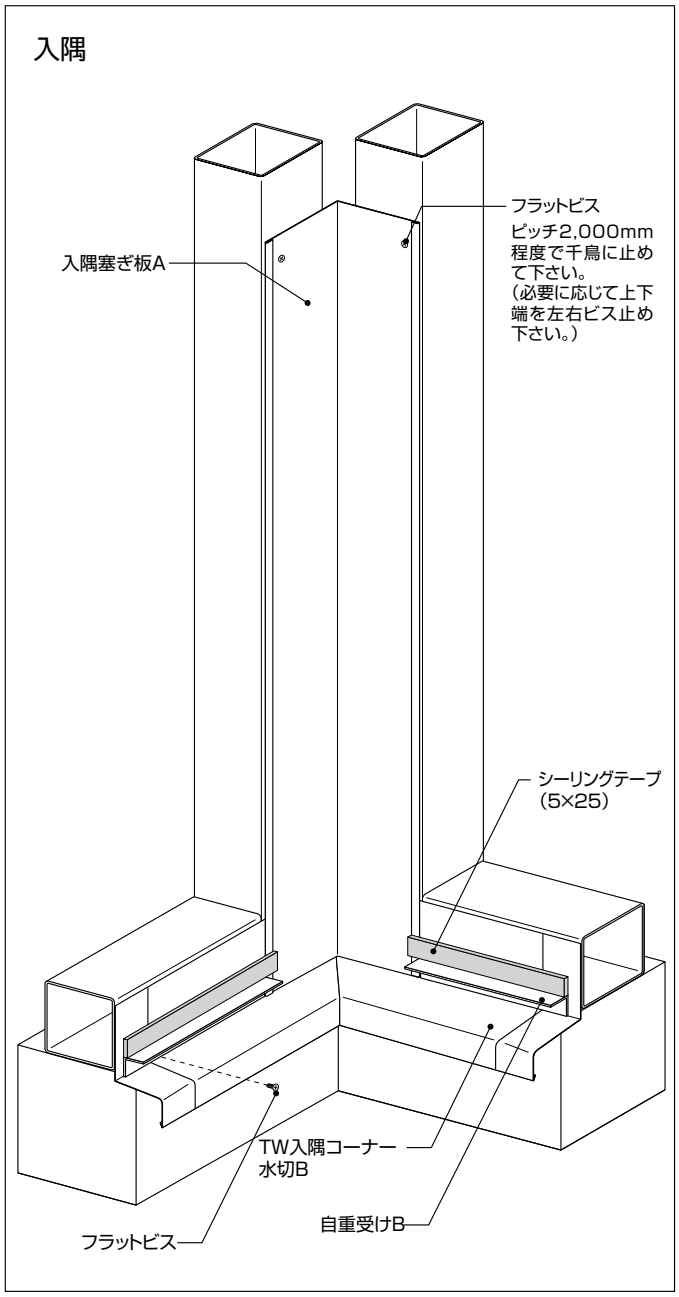
（単位：mm）

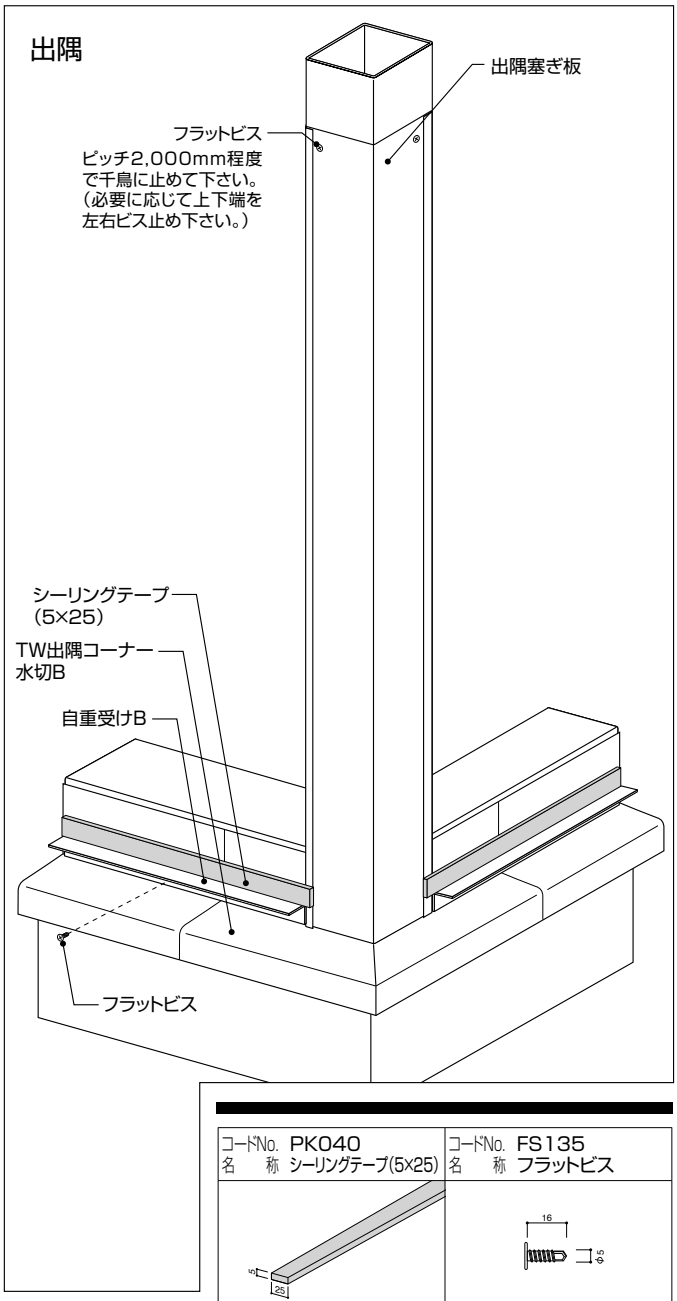
| コードNo. MZ214<br>名　称 TW水切B | コードNo. MZ216<br>名　称 TW水切B当板 | コードNo. TA093<br>名　称 自重受けB | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 板厚：1.2mm　長さ：3700mm | 長さ：10mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

## （3）塞ぎ板の取付 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

入隅コーナー水切の上に入隅塞ぎ板を取り付けます。

出隅コーナー水切の上に出隅塞ぎ板を取り付けます。



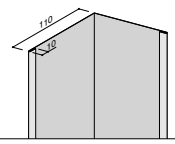
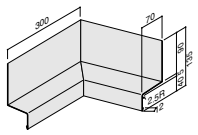
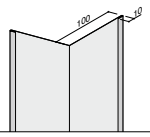
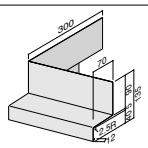
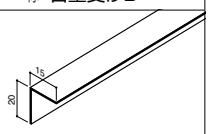

| コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|
|  |  |
| 長さ：10m | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

POINT

◆入隅･出隅塞ぎ板の確認
- ・塞ぎ板が水切の上に重なっているか
- ・シーリングテープの取り付け忘れはないか

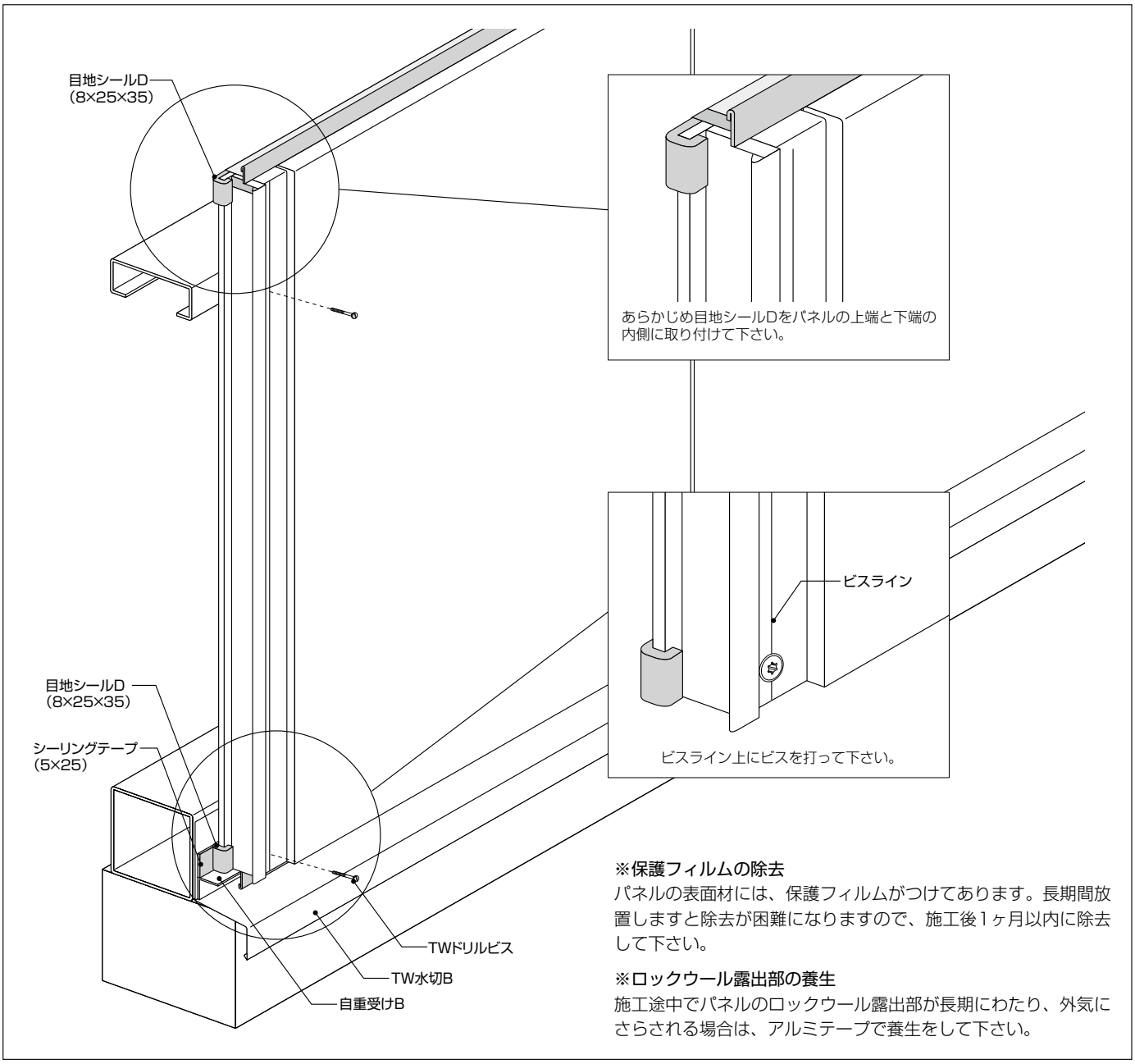
### 純正部材

（単位：mm）

| コードNo. TA084<br>名　称 入隅塞ぎ板A | コードNo. RM064<br>名　称 TW入隅コーナー水切B | コードNo. TA038<br>名　称 出隅塞ぎ板 | コードNo. RM066<br>名　称 TW出隅コーナー水切B | コードNo. TA093<br>名　称 自重受けB |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm | 板厚：1.2mm　長さ：3700mm |

## （4）パネルの建て込み （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

パネルを建て込んでいきます。
パネルの切り欠きについてはP.34をご参照下さい。
目地シールDは事前に取り付けて下さい。




※保護フィルムの除去
パネルの表面材には、保護フィルムがつけてあります。長期間放置しますと除去が困難になりますので、施工後1ヶ月以内に除去して下さい。

※ロックウール露出部の養生
施工途中でパネルのロックウール露出部が長期にわたり、外気にさらされる場合は、アルミテープで養生をして下さい。

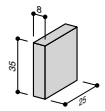
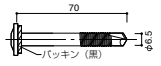
### POINT

◆割付図通りのパネルか
◆建て込み時の養生は十分か

◆TWドリルビスの確認 ※当社指定のビスをご使用下さい。
·固定し忘れはないか、固定する位置は正しいか
·TWドリルビスのサイズは正しいか
パネル厚50mm用:φ6.5× 70L(FS306)
パネル厚75mm用:φ6.5×100L(FS302)
·ビスパッキンの色が正しいか(黒)
◆切粉や石膏ボードの切り屑は清掃したか

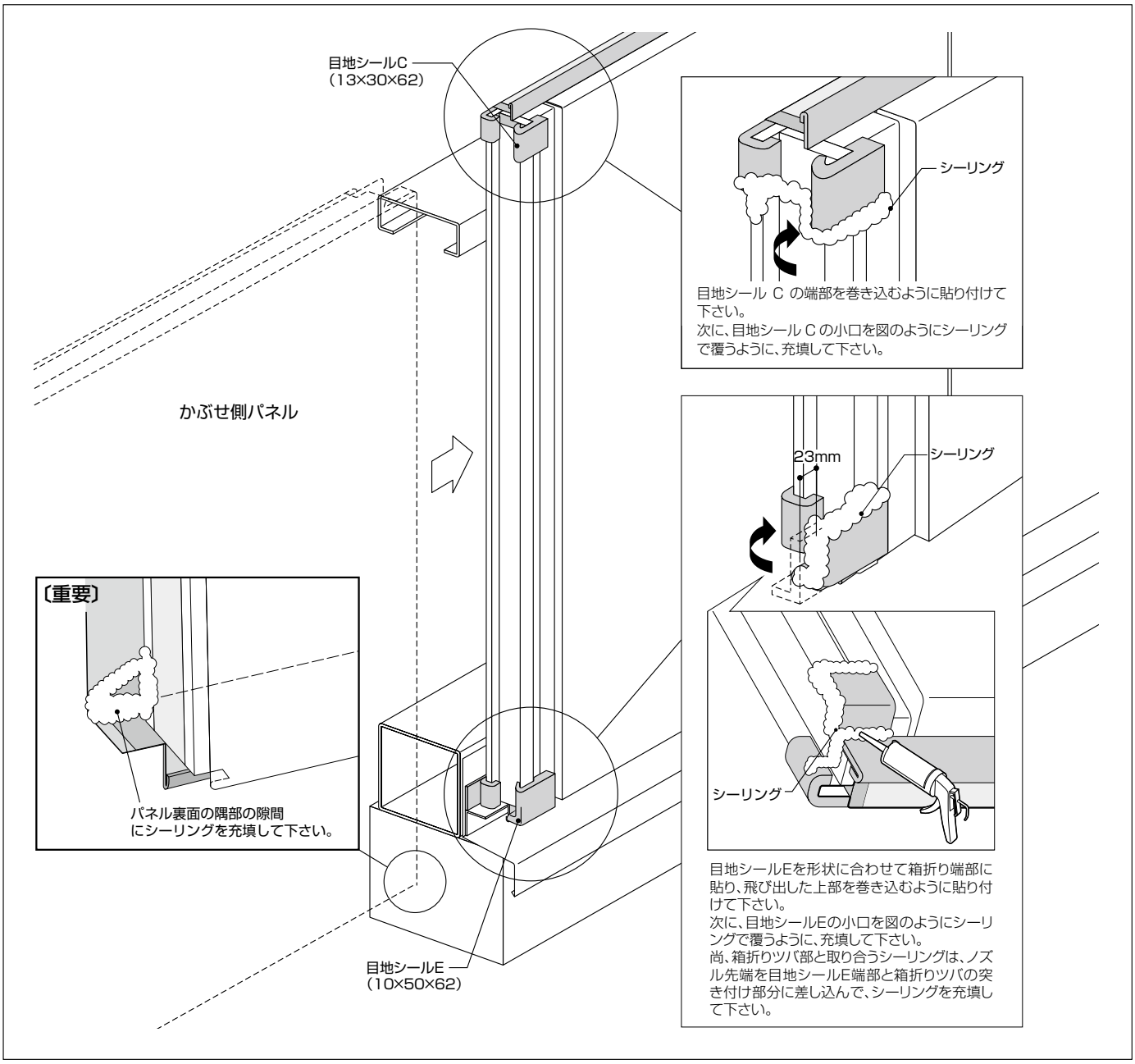
### 純正部材

(単位：mm)

| コードNo. PK046<br>名　称 目地シールD(8×25×35) | コードNo. FS306<br>名　称 TWドリルビス(嵌合·平面用) | コードNo. HJ002<br>名　称 アルミテープ |
|---|---|---|
|  |  | |
| | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 | 長さ：20m |

目地シールEをパネル下端に、目地シールCをパネル上端にそれぞれパネルの端部箱折り部形状に合わせて貼り付けます。
目地シールは適切な位置に貼り付けて下さい。

目地シールを取り付け後、シーリングを下図のように行って下さい。



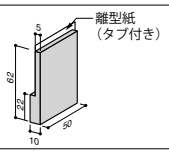
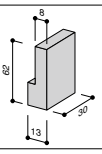

POINT

◆目地シールの確認
- 貼り付け位置は正しいか
- 貼り付け忘れはないか

◆シーリングの確認
- 位置は正しいか
- 充填忘れはないか

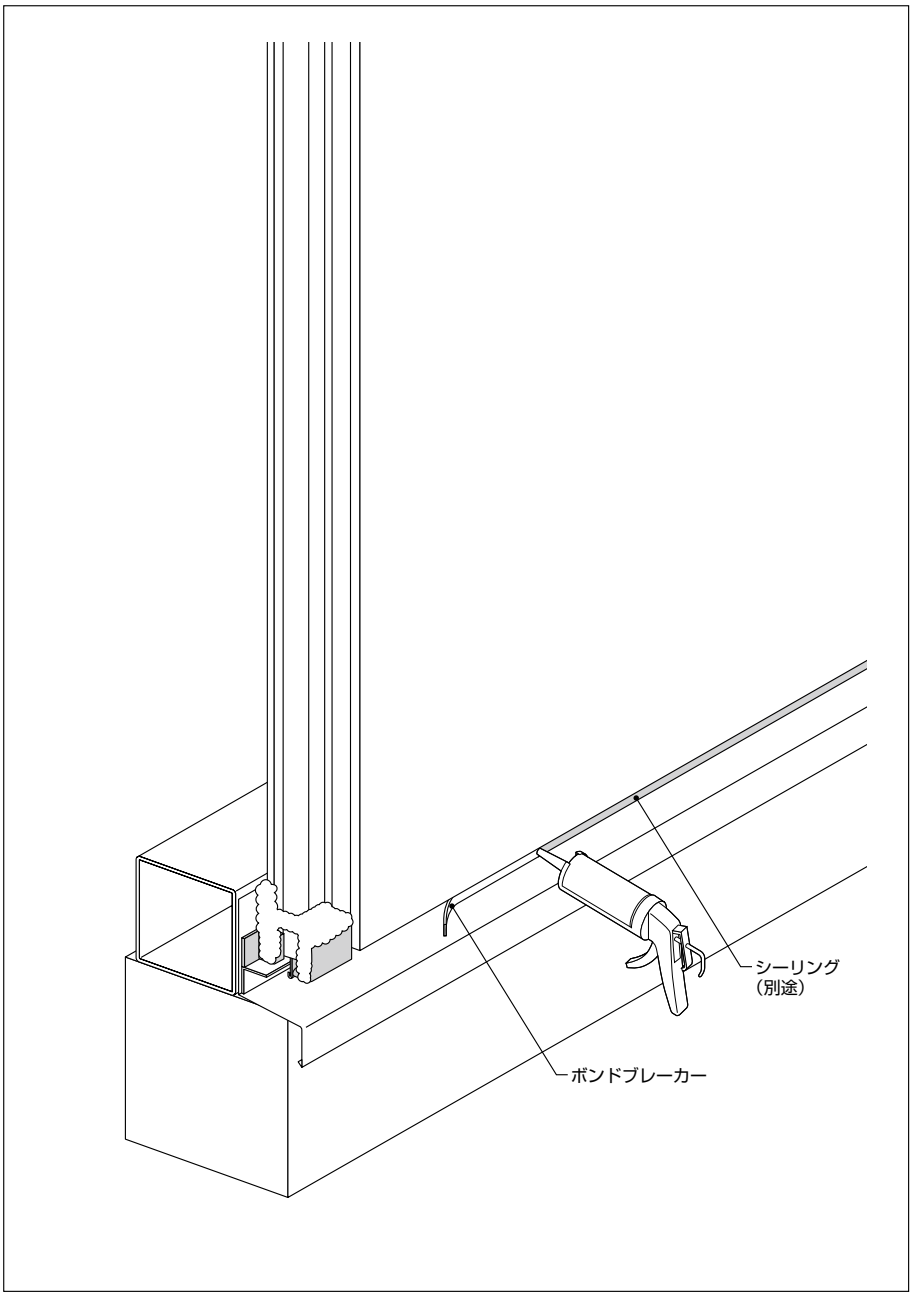
## 純正部材

(単位：mm)

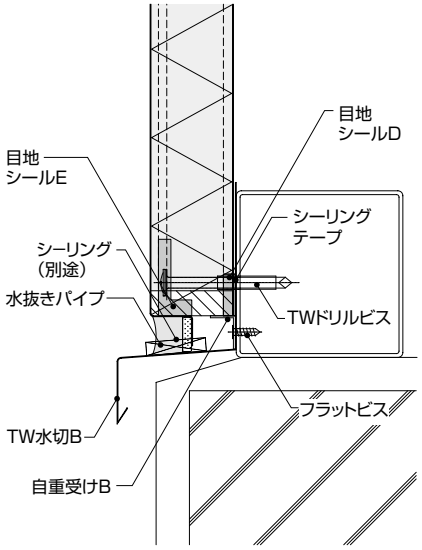
| コードNo. PK047<br>名　称 目地シールE(10×50×62) | コードNo. PK044<br>名　称 目地シールC(13×30×62) |
|---|---|
|  |  |
| | |

## （5）足元部の仕舞

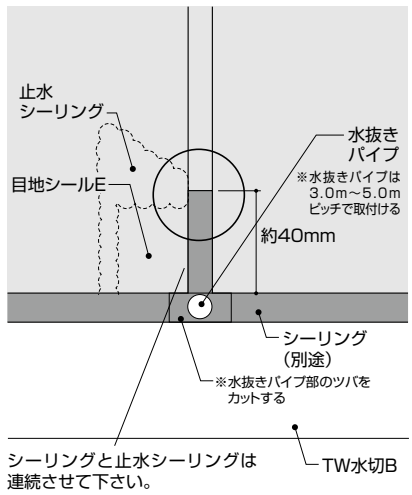
パネル下端にシーリングを下図のように行って下さい。




足元部断面図




足元嵌合正面図




POINT

◆シーリング部の確認

・付着物、汚れはないか

◆シーリングの確認

・シーリングの切れ、充填不足はないか

⚠ シーリングについて

◆バックアップ材は5mm以下の薄手のものを使用して下さい。

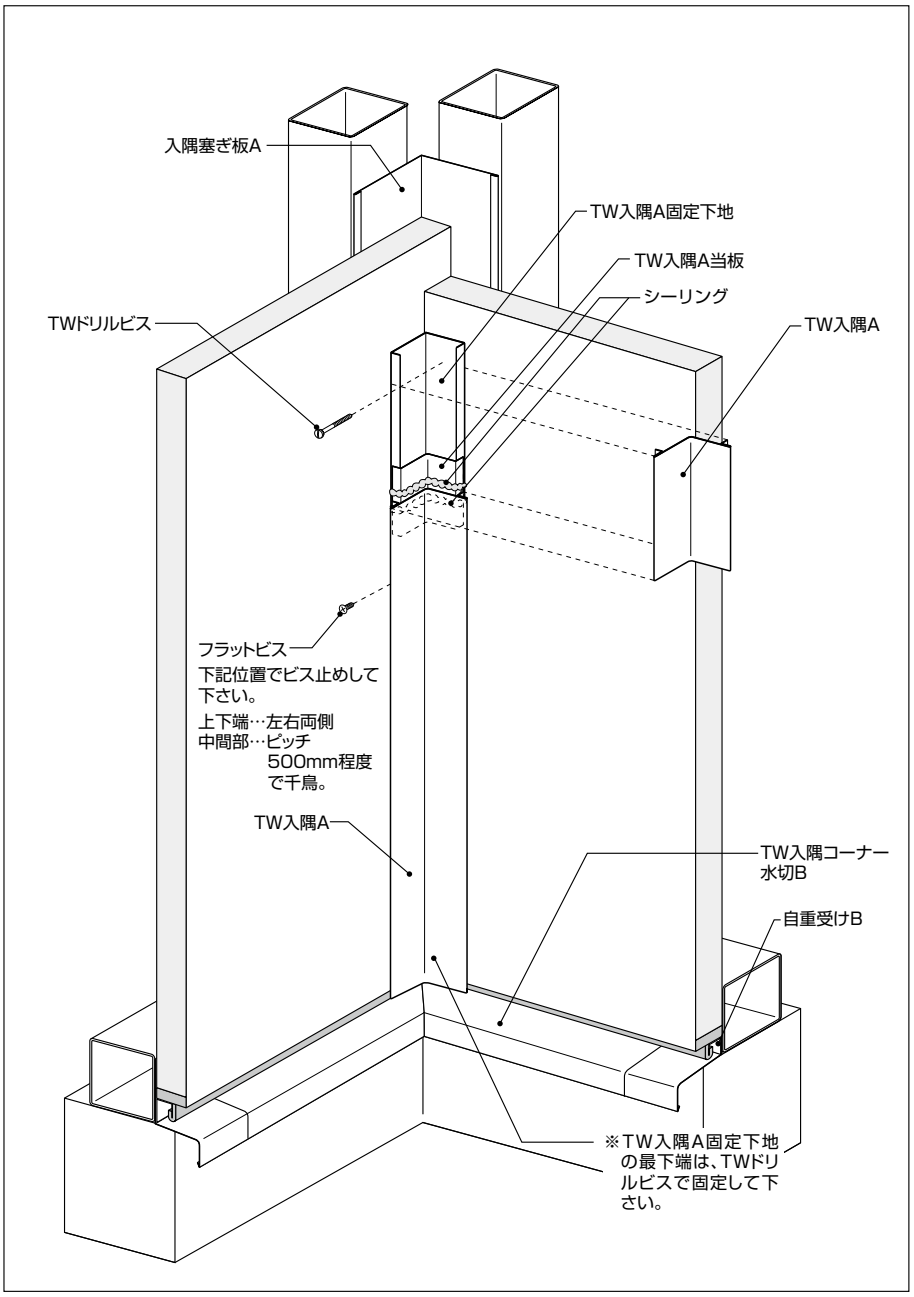
◆プライマーは使用するシーリングに適応したものを選定して下さい。

◆特にフッ素塗装鋼板外皮の場合、接着性をより確実にするため、バフがけの実施を推奨します。

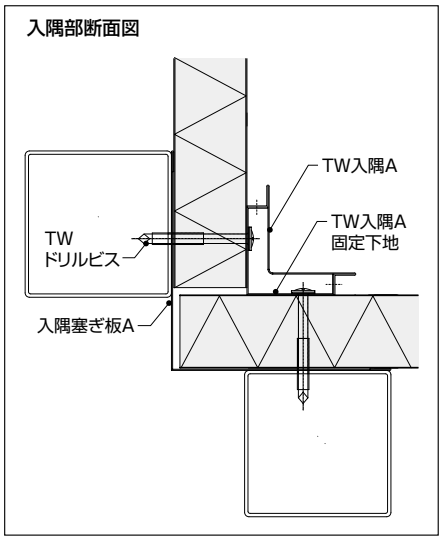
◆シーリング材・プライマーの選定に際しては別途『設計・技術資料』をご参照下さい。

## （6）入隅の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

TW入隅A固定下地をビス止めし、その上からTW入隅Aを取り付けます。
TW入隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。




入隅部断面図

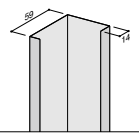
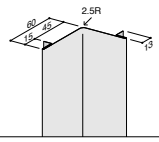
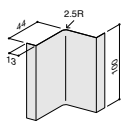
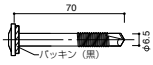



POINT

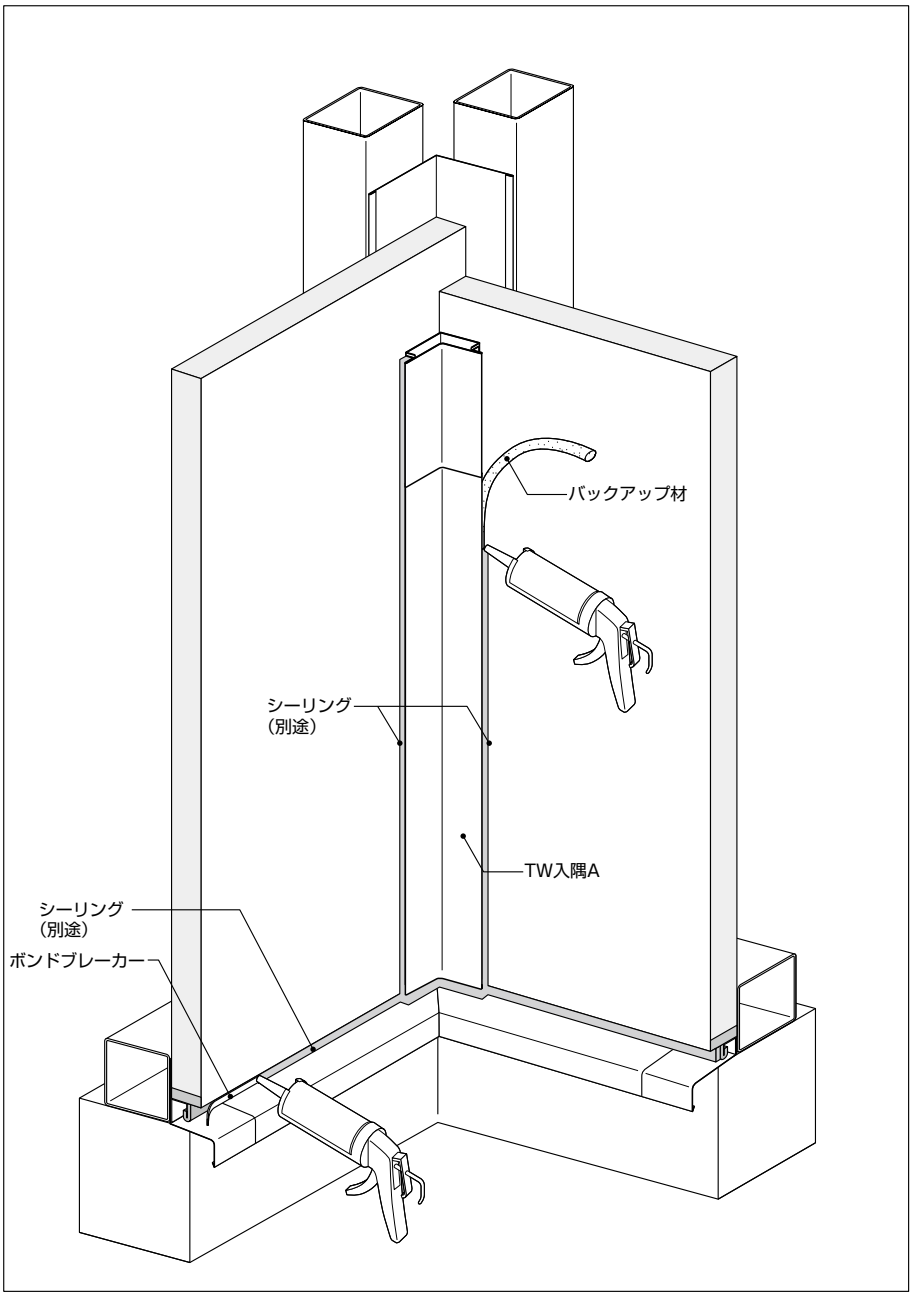
◆入隅Aの確認
・当板にシーリングを施したか

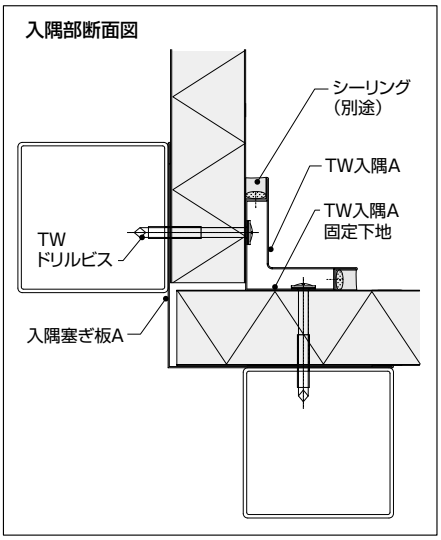
### 純正部材

（単位：mm）

| コードNo. IR012<br>名　称 TW入隅A固定下地 | コードNo. IR010<br>名　称 TW入隅A | コードNo. IR011<br>名　称 TW入隅A当板 | コードNo. FS306<br>名　称 TWドリルビス(嵌合・平面用) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  | |
| 板厚：0.8mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

次に、TW入隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行って下さい。




POINT

◆シーリング部の確認

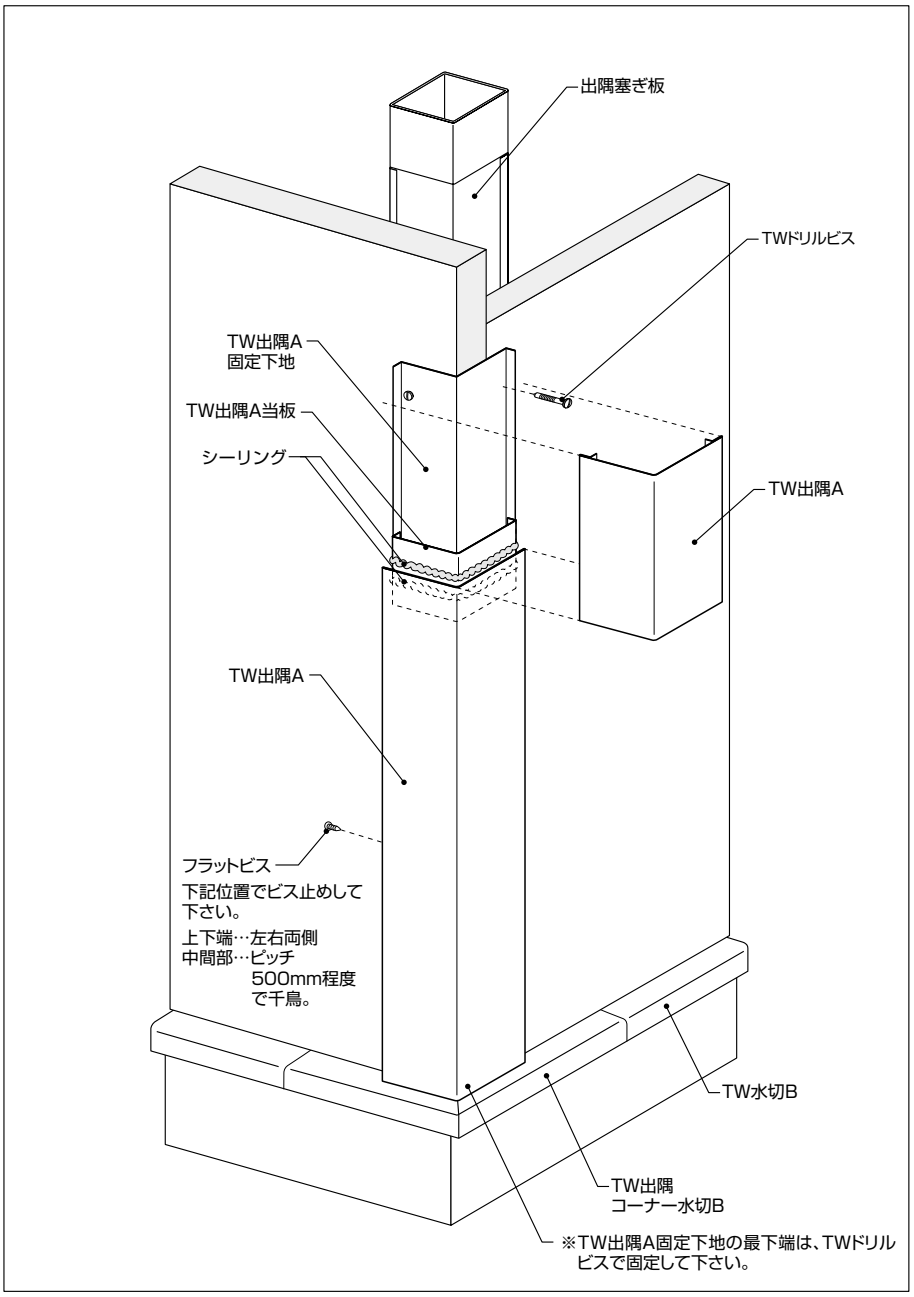
・付着物、汚れはないか

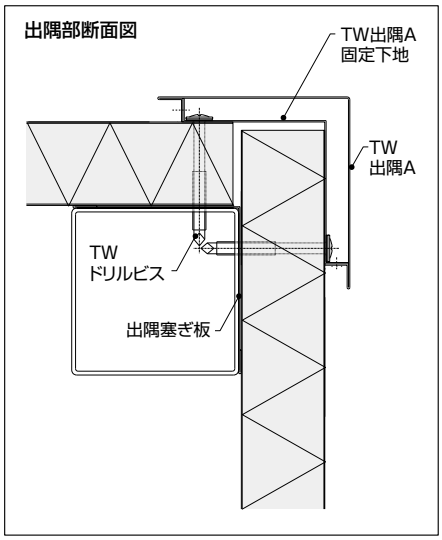
◆シーリングの確認

・シーリングの切れ、充填不足はないか

## （7）出隅の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

TW出隅A固定下地をパネルにビス止めし、その上からTW出隅Aを取り付けます。
TW出隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。



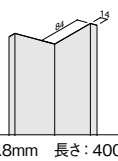
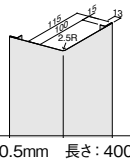
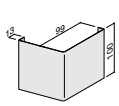
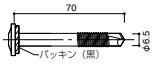




POINT

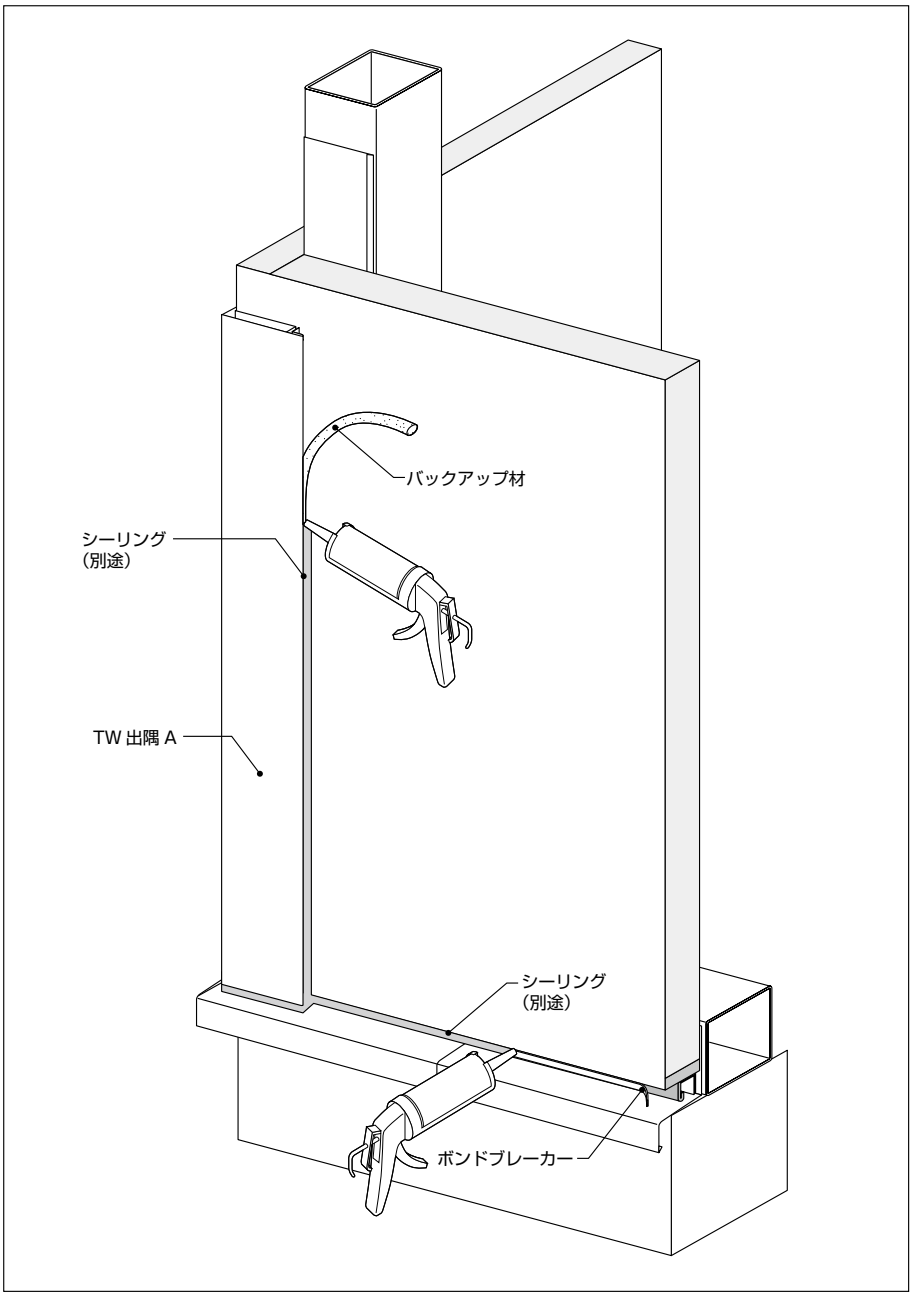
◆出隅Aの確認
・当板にシーリングを施したか

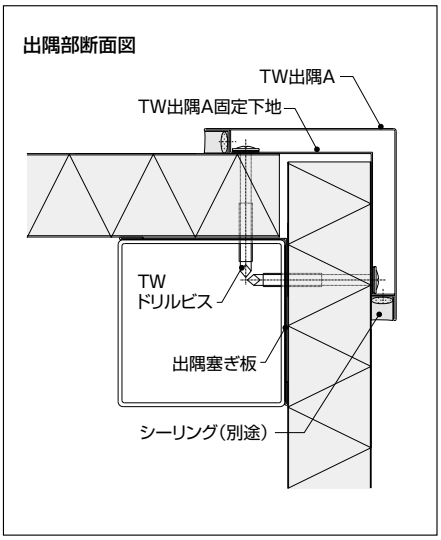
### 純正部材

（単位：mm）

| コードNo. DE124<br>名　称 TW出隅A固定下地 | コードNo. DE120<br>名　称 TW出隅A | コードNo. DE122<br>名　称 TW出隅A当板 | コードNo. FS306<br>名　称 TWドリルビス(嵌合・平面用) | コードNo. FS135<br>名　称 フラットビス |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  | |
| 板厚：0.8mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：4000mm | 板厚：0.5mm　長さ：100mm | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 | 材質：スチール　亜鉛浸漬被覆処理 |

次に、TW出隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行って下さい。



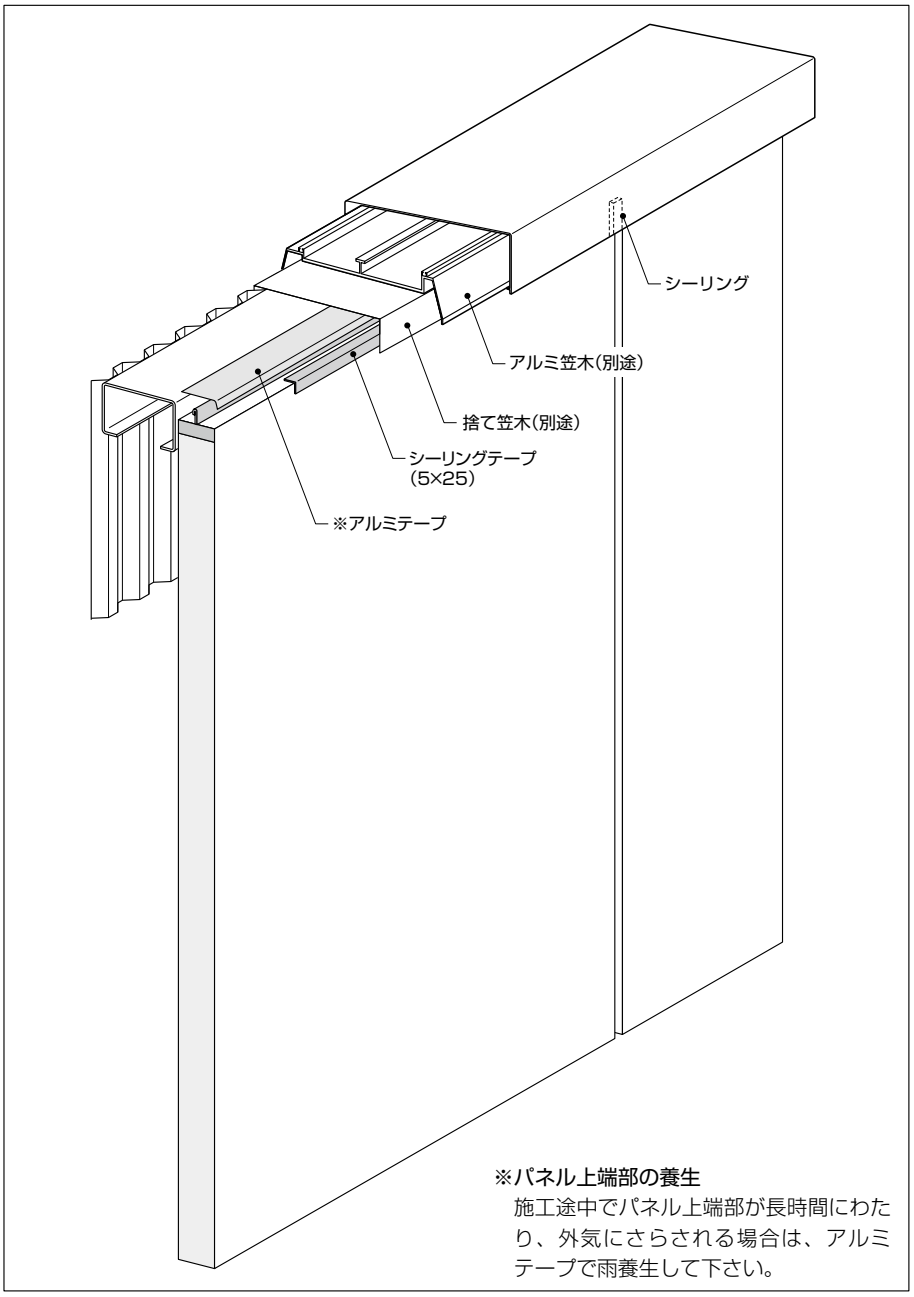

POINT

◆シーリング部の確認
・付着物、汚れはないか

◆シーリングの確認
・シーリングの切れ、充填不足はないか

## （8）笠木の仕舞 （※部材はパネル厚50mmの純正部材を記載しています。75mmはP.46～P.48をご参照下さい。）

アルミ笠木（別途工事）を使用する場合は、パネル上部側面に下図のようにシーリングテープを貼ってから捨て笠木（別途工事）をビス止めします。




※パネル上端部の養生
施工途中でパネル上端部が長時間にわたり、外気にさらされる場合は、アルミテープで雨養生して下さい。

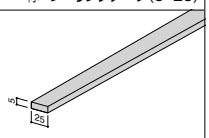
POINT

◆捨て笠木の確認

・シーリングテープを取り付けたか

### 純正部材

（単位：mm）

| コードNo. HJ002<br>名　称 アルミテープ | コードNo. PK040<br>名　称 シーリングテープ(5×25) |
|---|---|
| |  |
| 長さ：20m | 長さ：10m |

# 5 施工後の注意

## キズの補修について

パネルの表面材は耐久性の高い仕様になっていますが、施工中に生じたキズが原因となって経年で塗膜の剥離や赤錆につながります。引き渡し後でもキズが発見されたら必ず補修して下さい。補修方法については以下のように考えて下さい。

●塗装の表面にキズがついた場合、布などで油、ゴミなどを完全に除去し、表面材と同色の補修塗料でタッチアップ補修を行って下さい。
●パネルは焼付塗装ですが、補修塗料は常温乾燥のため、色相及び性能が異なります。そのため、補修は筆先で最小範囲に行って下さい。スプレーによる補修は不適当です。

## 保護フィルムの除去について

外壁パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。
長時間放置しますと除去が困難になりますので、施工後1ヶ月以内に除去して下さい。
保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意下さい。

## 汚れの清掃方法について

清掃は汚れの種類によって方法が異なります。以下のように考えて下さい。

●埃、土埃の清掃には、家庭用中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取って下さい。汚れ除去後は、必ず水洗いをして下さい。
●油汚れやペイント系の汚れ及びもらい錆については当社までご相談下さい。なお、シンナー、ベンジンなどの溶剤による清掃は絶対に行わないで下さい。

## ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、一度に多量のウレタンを吹き付けますとウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象を生じる場合があります。ウレタン吹き付け施工業者と相談の上、注意して施工して下さい。

# お願いとご注意

1）お願い

- このカタログの内容は、2025年5月現在のものです。
- 本カタログに記載された商品各種データは、商品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。
  これらの情報は今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報につきましてはHPまたは各支店・営業所までお問い合わせ下さい。
- 本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮下さい。
- 色・形状・厚さ・幅等、豊富なバリエーションを取り揃えていますが、数量によっては納期がかかる場合がありますので、ご採用時に営業担当者とご相談下さい。
- 別途カタログ、設計・技術資料も取り揃えていますのでご参照下さい。
- ***耐火イソバンドPro***®は、商標登録並びに製造特許も数多く取得しています。類似品にご注意下さい。

2)使用上のご注意

正しく施工していただくために、下記のようにお守りいただく内容の種類を絵表示で区分して説明いたします。

| | |
|---|---|
| 禁止 | ●安全上行ってはいけない「禁止」の内容です。 |
| 注意 | ●誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。 |

⚠ 1. 商品の納入

商品は車上渡しです。荷下ろしについてはお客様にてお手配下さい。

⃠ 2. 運搬

商品の運搬や施工現場での搬入の際には、ナイロンスリングを直接商品にかけないで下さい。

⚠ 3. 保管

商品は梱包したままの状態で保管して下さい。直ちに作業しない場合で建築現場に野積みの状態にする場合は、地面に直接置かずにシートを敷き、台木に乗せ、防水シートを掛けて長期間（7 日以上）にならないようご注意下さい。
雨水にぬれた場合は速やかに開梱して乾燥させて下さい。

⚠ 4. 取り扱い方法

商品を地面や商品の上で引きずったりすると塗膜面に目に見えない擦りキズが発生します。美観を損なうだけでなく、耐久性にも影響しますので十分取り扱いにはご注意下さい。

⚠ 5. 保護フィルムの除去について

外壁パネル・内装パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。長期間放置しますと除去が困難になりますので施工後 1 ヶ月以内に除去して下さい。
保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意下さい。

⚠ 6. 塗膜面の補修

塗膜面に擦りキズなどがついた場合、専用の補修塗料により補修して下さい。但し、補修塗料で補修した場合は元の塗膜面と全く同一にはなりませんので最小範囲でご使用下さい。広範囲にわたる補修は専門業者へご相談下さい。なお、海岸など腐食のおそれのある地域では、露出切断端面の補修をお勧めいたします。

⚠ 7. 加工

パネルの切断及び穴あけ時に出る切粉は、錆の発生原因となりますので必ず除去して下さい。

⚠ 8. 取り付け部材・金具

当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。

⚠ 9. 施工

高所作業においては特に踏み抜きや滑落がないように注意して下さい。
労働安全関連法規を厳守するとともに安全作業の徹底に努めて下さい。

（1）安全装備
正しい服装と保護具（ヘルメット・安全帯など）の着装。

（2）安全規則
毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理及び安全についての注意事項の確認。

（3）施工計画
施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況について緊密な連絡を取って下さい。

（4）高所作業の安全対策
敷板（足場板）及び滑落防止用ストッパーなどの設置による屋上での作業や材料置き場の安全確保をして下さい。
安全ネットを設置して下さい。

（5）安全操作と落下防止
電動工具や一般工具の取り扱いに際しては漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。またそれらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

（6）災害防止対策
整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

（7）気象条件の対策
降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

⚠10. シーリング材

塗装鋼板の種類に適合するシーリング材をお選び下さい。
シーリングは別途工事となります。
通常の場合、変成シリコーン系の製品をお薦めいたします。
また、ご使用に際してはプライマー（下塗り材）の必要な物もありますので、塗装鋼板の樹脂名を提示の上、シーリング材メーカーにお問い合わせ下さい。なお、設計・技術資料に推奨のシーリング材名を記載しております。

⚠11. ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、ウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象が生ずる場合がありますので、ウレタン吹き付け施工業者と事前によくご相談下さい。

⚠12. 切粉・鉄釘などの除去

壁･屋根面に鉄材の切粉･切り屑や鉄釘などを放置しますと塗装鋼板の塗膜上で赤錆が発生し、もらい錆の原因になり腐食を早めますので、発見後、直ちに除去し水洗いして下さい。

⚠13. 化学・電食作用

コンクリートからのアルカリ溶液や常時湿った木材との接触は避けて下さい。ステンレス・銅・鉛等の異種金属との接触による電食にご注意下さい。接触せざるをえない場合はシーリング、ゴムシート等で絶縁して下さい。

⚠14. 雨がかりのしない部位

雨のかからない庇や軒先の裏面などの部位は、長時間に海塩粒子や腐食生成物が付着し、その複合物質により早期に腐食するおそれがありますが、定期的な水洗いにより劣化を防ぐことができます。

memo

memo

memo

日鉄鋼板株式会社
無断転載を禁ず
2025年5月

NIPPON STEEL

日鉄鋼板株式会社


| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 本社・パネル建材営業部 | 〒103-0023 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 日本橋本町二丁目ビル | TEL 03-6848-3800 | FAX 03-6848-3838 |
| 北海道支店 | 〒060-0001 | 北海道札幌市中央区北一条西5丁目2番地 札幌興銀ビル5階 | TEL 011-803-6602 | FAX 011-803-6615 |
| 東北支店 | 〒980-0811 | 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル | TEL 022-264-9861 | FAX 022-264-9866 |
| 名古屋支店 | 〒450-0003 | 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18 NSビル | TEL 052-564-7258 | FAX 052-564-4759 |
| 大阪支店 | 〒541-0041 | 大阪府大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル | TEL 06-6228-8381 | FAX 06-6228-8531 |
| 九州支店 | 〒812-0025 | 福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル | TEL 092-281-0051 | FAX 092-281-0230 |
| 北陸営業所 | 〒930-0004 | 富山県富山市桜橋通1-18 北日本桜橋ビル | TEL 076-432-9898 | FAX 076-442-2924 |


©2024 NIPPON STEEL COATED SHEET CORPORATION. All Rights Reserved.

製品サイトが新しくなりました。
https://panel.niscs.nipponsteel.com/ NISC PANEL 検索

本資料に記載された内容の無断転載や模写はご遠慮下さい。

2025・10-0510